Hidamari Sketch
ひだまりスケッチ
album
アルバム
TV Animation
Official Guide Book
アニメ「ひだまりスケッチ」&
「ひだまりスケッチ×365」
の全てを見せます!!
私たちの毎日が
ガイドブックに
なりました!
きっと読んで
下さいね♥
★全28話のストーリー徹底解説 ★キャラクター設定集 ★提供バックイラスト集
★メインキャストインタビュー(阿澄佳奈・水橋かおり・後藤邑子・新谷良子・松来未祐・蒼樹うめ)
★メインスタッフインタビュー(新房昭之・長谷川菜穂子・与口奈津江・伊藤良明・飯島寿治ほか)
★「まんがタイムきららキャラット」に掲載されたアフレコレポート漫画も掲載

Hidamari Sketch

ひだまりスケッチ album アルバム

TV Animation Official Guide Book

MANGA TIME KR COMICS

蒼樹うめ 原作

まんがタイムきらら 編

eternal★Seventeen
吉野屋先生写真集
永遠の17歳
お帰りなさいませ
ご主人様

深夜にやっていたアニメがすっごく面白くて、つい
つい夜更かししちゃうんです。
登場人物の中に若くてキレイな女の先生がいるん
ですけど、顔の長い校長先生にいつも怒られてい
て、すっごく可哀想なの。だけど彼女はけなげに
毎日がんばって、ステキな衣装で生徒たちに元気
を与えているんです。
あ～今日はどんな衣装が見られるのかな～。
早く放送始まらないかな～。
眠いけど始まるまでは起きてようっと。

Hidamari Sketch

ひだまりスケッチ album アルバム

ひだまりスケッチ

ひだまりスケッチ×365

TVアニメ公式ガイドブック

ともにキービジュアル　原画：伊藤良明　仕上げ：シャフト　背景：竜美堂

Hidamari Sketch

ひだまりスケッチ アルバム

album

TVアニメ公式ガイドブック

お品書

CONTENTS!

ALBUM いち

ひだまり荘＆やまぶき高校の人々＋α －キャラクター紹介－ 003

「ひだまりスケッチ」オープニングテーマ「スケッチスイッチ」 014

ALBUM にー

ひだまり荘の12か月 －「ひだまりスケッチ」ストーリー解説－ 017

「ひだまりスケッチ」エンディングテーマ「芽生えドライブ」 070

「ひだまりスケッチ」提供バックイラスト集 071

ひだまり荘の屋根裏 01 アイテムセレクション 074

ALBUM さん

ひだまり荘のくすくすおしゃべり会 －キャストインタビュー－ 075

（阿澄佳奈・水橋かおり・後藤邑子・新谷良子・松来未祐・蒼樹うめ）

ひだまりスケッチ アフレコレポート漫画 083

ひだまり荘の屋根裏 02 イベントレポート 086

ひだまりスケッチ 特別編 アフレコレポート漫画 087

ひだまり荘の屋根裏 03 ひだまりカレンダー 090

ALBUM よん

ひだまり荘の縁の下 －スタッフインタビュー－ 097

（脚本のお話……蒼樹うめ・新房昭之・長谷川菜穂子・与口奈津江）

（演出と作画のお話……新房昭之・伊藤良明・尾石達也・潮月一也）

（美術と背景のお話……新房昭之・飯島寿治）

ひだまり荘の屋根裏 04 キャラクター設定資料 by 蒼樹うめ 112

「ひだまりスケッチ ×365」オープニグテーマ「？でわっしょい」 114

ALBUM ごー

ひだまり荘の365日 －「ひだまりスケッチ ×365」ストーリー解説－ 117

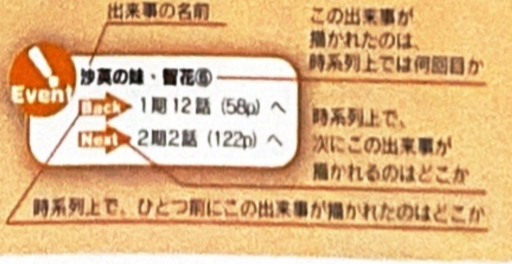
「ひだまりスケッチ ×365」エンディングテーマ「流星レコード」 172

「ひだまりスケッチ ×365」提供バックイラスト集 173

アイコンの見方

Event

ストーリー解説コーナー（17～69 ページ、117～171 ページ）にある EVENT マークは、作品内の主な出来事を時系列順に追っていくためのガイドです。
ひだまりカレンダー（90 ページ）と合わせて、『ひだまりスケッチ』を楽しむ助けにしてください。



ALBUM いち

ひだまり荘＆やまぶき高校の人々 +α

- キャラクター紹介 -

第１期と第２期、両方の設定画像とともに登場人物たちを紹介していきます。キャラクターデザインの伊藤良明さんのコメントと合わせてどうぞ！

初出：コンプヒロインズ Vol.2（角川書店） 原画：伊藤良明 仕上げ：滝沢いづみ・シャフト 背景：酒井基

ひだまり荘の朝と夜

朝の目覚めから始まって、夜はお風呂で終わっていくひだまり荘の一日。ある日のひだまり荘のみんなの、朝と晩をのぞいてみよう。

初出：キャラ☆メル Vol.5（一迅社）
原画：瀧月一也 仕上げ：digital@SHAFT 背景：竜美堂

がんばり屋さんで一生懸命

ゆの YUNO

CV：阿澄佳奈

美術科１年Ａ組生徒で、ひだまり荘201号室住人。おとなしく素直で、感受性豊か。物事を考えすぎて暗くなることもある一方、ちょっと天然な面もある。ノコギリ、でなくトンカチ……もといカナヅチだけど、お風呂は好き。

へちょ絵

ゆのの子供っぽさ、あどけなさがより一層出ている感じ。素朴な印象もよく表われている。

×365

1期

トレードマークはバッテン型の髪留めで、寝ているとき以外はいつも身につけている。お子様体型で背が低く、そのことをちょっと気にしている。

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

全キャラそうですけど、ゆのさんは特に可愛く描ければと気を付けています。お風呂のシーンはお話の締めなので気合を入れて修正してます。乳が何割か増しになるのはご愛嬌ということで（笑）。

ポーズ集

ちょこんと可愛い、女の子らしいポーズが多いゆの。エプロンをしたお絵かきのときの姿では、繊細な印象も感じられる。

多芸多才のハラペコむすめ

宮子MIYAKO

CV：水橋かおり

ゆのと同じクラスでひだまり荘202号室住人。絵はもちろん運動や物まねや歌など、いろんな面で才能を発揮するけど、それは波乱万丈な過去のせい……？　いつもお腹をすかせていて、よく他の人にご飯などをねだっている。

へちょ絵

悩みのなさそうな脳天気な表情が印象的。後ろ髪はこちらの絵では丸くまとめてあるが、普段はしばって下に垂らしている。

×365

1期

宮子はたくさん食べるのに全然太らない。でも出るところは出ていてスタイルがいいという、女の子にとってはうらやましい限りの体質？

ポーズ集

自由奔放な性格を示すようにポーズものびのび。自由すぎて時々はしゃぎすぎ、ヒロなどに怒られてしまうことも。

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

元気に美味しそうにご飯を食べるようにしています。あっけらかんとしてますが優しくゆのさんを気遣う表情などには気を付けてます。２期では歌が聴けないのは少々残念です。りー、りんご、ご～♪

ひだまり荘の頼れるお母さん

へちょ絵

けっこう長い髪の毛は、湿度が高いと触手のようにうねうねと跳ね上がってしまう。アニメでは、よくその毛先だけが動くカットが登場する。

ヒロ HIRO

CV：後藤邑子

美術科2年A組生徒で、ひだまり荘101号室住人。家庭的な女の子で、みんなでいっしょにご飯を食べるときは、たいていヒロの手料理。沙英が小説の締め切り間際で徹夜しているときは、夜食を作ってサポートしている。

1期

x365

太っているようには見えないけど体重の話には敏感で、いつもダイエットのことを気にしている。けれどもついついお菓子などに手を出してしまう……。

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

表情はやわらかく優しい感じで。お団子下のウェーブが原画さんによってまちまちなので、けっこうまめに修正しています。また意外とギャグ担当なので、そこも上手く描けていればよいのですが。

ポーズ集

ゆのとはまた違った感じで女の子っぽく、「女性」という雰囲気も。しっかりして落ち着いた性格が、そう感じさせる理由なのかも。

実は一番のいじられキャラ!?

沙英SAE

CV:新谷良子

ヒロのクラスメイトで、ひだまり荘102号室住人。「橘文」というペンネームで雑誌に連載を持つプロの小説家。恋愛小説を書いているため、恋愛経験豊富だと見栄を張ろうとするが、嘘をつくのが苦手でいつもバレバレ。

へちょ絵

へちょ絵ではトレードマークのメガネが強調される。ちなみに沙英の視力はかなり悪く、メガネを外すとろくにものが識別できないくらい。

身長は高めでスレンダーな体型だけど、本人は胸がないことを気にしている。そのうち大きくなると期待していたけど、もう諦めた？

1期

×365

ポーズ集

スポーツが得意でさばさばした性格でもある、ボーイッシュな沙英。けれども、とても照れ屋ですぐ赤面してしまう一面も。

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

照れる沙英さんがかわゆく描けていれば成功です。智花に優しいお姉さんになる表情は特に気を付けています。1期で頭をナデナデしているところは大好きなので、2期でも優しい感じが出ていれば。

自意識過剰のコスプレクイーン

生徒以上に子供っぽい。年齢不詳の先生だが、実は中の人（声優さん）と同じ年齢。

へちょ絵

吉野屋先生
YOSHINOYA SENSEI

CV：松来未祐

やまぶき高校１年Ａ組担任で、担当教科は美術。元は沙英たちの担任で、沙英からは「よっしー」と呼ばれている。よく自作の衣装でコスプレしているが、本人によるとあくまでファッションらしい。

1期

×365

いつもにこやかで、ほんわかふわふわ。校長先生に怒られたり、生徒たちに呆れられることも多いけど、美術には熱心で生徒思いのいい教師だ。

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

魅せカットが多いので決めはしっかり描いています。ギャグ部分は面白可笑しく楽しい感じになっていれば○。２期９話はサービスカットが多いので必見です。松来さんの吉野屋先生はサイコー○。

ポーズ集

露出度の高い服を着て、抜群のスタイルを披露することがしばしば。歩くとぴこぴこという足音がする。

ひだまり荘みんなの妹

智花CHIKA

CV：釘宮理恵

沙英の妹。よくケンカをするけど、本当はお姉ちゃんのことが好き。ひだまり荘に遊びに来たことをきっかけに、ゆのたちとも仲良くなる。中学３年生で、地元の高校を受験する。

まだ中学生ということで、幼さが出ている？　……でも、ゆののほうが子供っぽいかも。

へちょ絵

制服は中学のもので、中学ではブラスバンドをやっていた。
メガネはしていないが目つきが沙英によく似ているかも。

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

沙英さんとのやりとりが楽しいですね。おねーちゃんが大好きなので、軽く嫌味を言っていても表情は悪くならないように、そして仲の良いところでは智花の優しさも描けていればいいのですが。

屋根の上の緑の住人

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

マスコットキャラと思っているので、けっこう修正乗せていたりします。うめてんてーはかわいくなければ!! ラッシュチェックなんかでも、先生が出てくるだけでニコニコしてしまいます。

元々は原作者・蒼樹うめ先生の自画像。主成分は焼きビーフンらしい……。

うめ先生 UME SENSEI

CV：蒼樹うめ

ひだまり荘の屋根に住んでいる謎の生き物。たまに誰かの部屋に出現することもあるけど、住人には存在を認識されていない？　朝のあいさつや、場面転換時のセリフがお仕事。

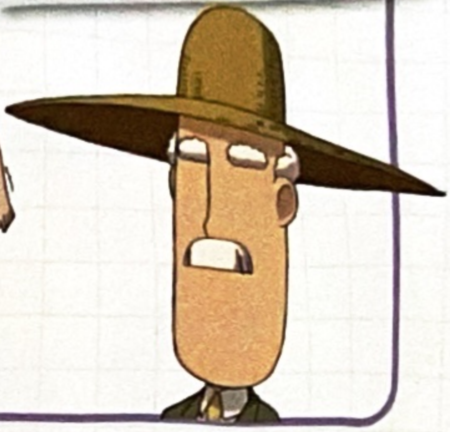
吉野屋先生を叱ることが仕事!?

とにかく顔が長い。いつも声も体もぶるぶる震えていて頼りない感じだが、時々とんでもない身体能力を発揮する。

校長先生 KOUCHOU SENSEI

CV：チョー

吉野屋先生のはちゃめちゃな行動にいつも困らされている。学校の近所に住んでいるが、休みの日もよく学校の敷地を通り道に使っているため、学校に住んでいるという噂も。



SKETCH NOTE

伊藤良明

（キャラクターデザイン）

1期の特別編以来、すっかりスーパー化してしまった校長先生。作画の方でも遊んで描けるキャラクターなので楽しいです。チョーさんの演技にも助けていただいて、非常に助かっております。

ムキになるのは好きな証拠!?

へちょ絵

夏目 NATSUME

CV：福圓美里

やまぶき高校美術科２年Ｂ組生徒。沙英にライバル心を燃やしていて、何かとつっかかる。でも沙英に話しかけられるとうれしがるなど、実はツンデレ？

初登場時は体育祭前日で、ジャージ姿。ちなみに青いジャージは２年生用で、ゆのたち１年生は赤いジャージ。

SKETCH NOTE

伊藤良明

（キャラクターデザイン）

こちらも智花に劣らず、沙英さん大好きっぷりがいいですね。エピソードによっては、単なる負けず嫌いの嫌味な女の子になりかねないので、表情にはデレを入れるようにしています。

やまぶき高校の保健室の先生

桑原先生
KUWAHARA SENSEI

CV：鈴木菜穂子／木川絵理子

やまぶき高校の保健教諭。吉野屋先生が保健室のベッドに寝に来るので、ちょっと困っている？　ほかにも吉野屋先生に付き合わされて大変な目に遭うことが多い。

いつも白衣を羽織っている。その下の私服は、おちついた大人の女性という感じ。吉野屋先生とは違って常識人なのです。

SKETCH NOTE
伊藤良明
（キャラクターデザイン）

２期で出番の増えたキャラなので、修正を入れるときにはなるべく地の絵が出ないよう気を付けています。智花、夏目も同様です。「うめ先生ならこう描くに違い無い！」と思いつつやっています。

へちょ絵

保健室でひと休みといった雰囲気。作中ではあまり見られない姿かも。

夢は映画監督

岸麻衣子
KISHI MAIKO

CV:半場友恵

やまぶき高校の卒業生で、吉野屋先生の元教え子。映画監督になるのが夢で、現在は自主映画の撮影などで活動している。「裏新宿の狼」という作品で賞をとった。

へちょ絵

登場シーンは少なかったが、優しい先輩の目でゆのに声をかけ、その影響は大きかった。

適当さでは右にでるものなし

大家さん
O-YASAN

CV：沢城みゆき

ひだまり荘の近所に住んでいる大家さん。いい加減なように見えるけど、本当は住人思い。でもみんなが帰省するときには、さりげなくお土産を欲しがったりもする。

へちょ絵

いかにも美味しそうに一服中。そう言えば、何度も禁煙を決心しては失敗していたっけ。

すらっとしたきれいなお姉さん。いろいろなアルバイトをしているため、さまざまな姿で登場。趣味で釣りに行こうとしていたときの姿も。

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

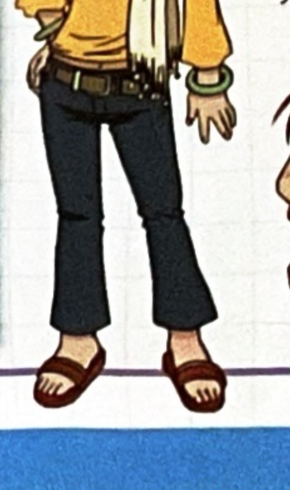
2期から出番が増えた大家さん。なるべくクールな感じになるよう心がけています。バイトばかりしている理由には、うめ先生の考えたいい話があったりします。単なる禁煙キャラではないのでした。

元201号室住人

みさと先輩
MISATO SENPAI

CV：小清水亜美

やまぶき高校美術科卒業生。ヒロや沙英は「みさと先輩」と呼んでいる。元201号室の住人で、彼女の置き土産のタライのトラップに、ゆのはまんまとはまってしまった。



邪気のない笑顔だけどいたずら好き。ヒロたちはお世話になった反面、苦労もしたはず……。

SKETCH NOTE

伊藤良明
（キャラクターデザイン）

いただいたラフスケッチ（113ページ）をもとに描きました。いたずら好きな雰囲気が出ていれば。「口の右端を上げて笑う」が難しかったです。有沢さん、乃莉ちゃん、なずな氏を描く日は来るのか？

ゆのの家族

ニャン太
NYANTA

ゆのの実家で飼われている猫。ルービックキューブで遊ぶのが趣味らしい。

ゆのの母
YUNONOHAHA

CV：根谷美智子

過保護気味のお母さん。ゆのが一人暮らしできるだろうかと非常に心配していた。

ゆのの父
YUNONOCHICHI

CV：水島大宙

過保護気味のお父さん。沙英のことをゆののボーイフレンドと早とちりして怒っていた。

橘文担当編集者

直居さん
NAOISAN

CV：大原さやか

沙英が小説を連載している雑誌の編集者。沙英とは協力的なよい関係で仕事ができている模様。でも締め切り前はちょっと怖い？

実況放送はおまかせ

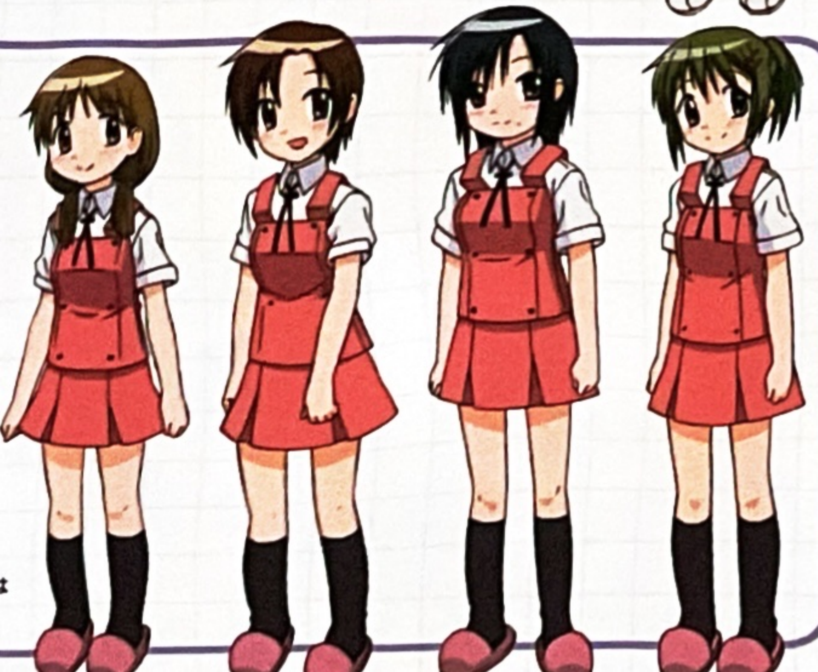
藤堂先輩
TOUDOU SENPAI

CV：井上麻里奈

やまぶき高校放送部部長。体育祭では、放送席を乗っ取って実況放送を担当していた。決まり文句は「発声練習開始！」。

ゆののクラスメイト

女子生徒
JOSHI SEITO



１年Ａ組の中でも、特に多く見かけるみなさんで、右からＡ～Ｄさん。Ａ（真実）さんＢ（中山）さんは１期９話ではアイキャッチとしても登場した。

ッチ　オープニングテーマ

チスイッチ

ていてク　なるような歌詞！　原作ネタもふん
の手拍子　わせて絵でも手拍子が挟まれたり、

↓絵の具を選ぶゆのから始まり、原作からのネタを連続。宮子の天真爛漫さが微笑ましいけれど、その食生活は見ていてちょっと不安かも。

↑スケッチブックを抱えたゆの、ごはんタイムの宮子、買い物帰りのヒロ、お仕事中の沙英などなど。持っているものやポーズから、みんなの特徴がよく伝わります。

←宮子のいたずら、百合ちっくなヒロ＆沙英、それに動転するゆのと続く。その後の、へちょ絵のみんなも可愛いぞ。

↑歌詞に合わせて笑う宮子から、インパクトあるカットが連続。「この象や力士はなに？」と思った人は原作を読み返そう!!

オープニング原作ネタ解説

❷1巻41ページ　❸1巻37ページ「本能」　❹1巻50ページ　❺1巻47ページ「資源は大切に」
❻1巻98ページ「浴衣の災難？」　❼、❽2巻104ページ「ガガガガ」

次ページに続く

前ページより
⑮ 1巻91ページ「上には上が」
⑯ 2巻11ページ「女子として！」
⑰ 2巻36ページ「強いぞ」
⑱ 1巻61ページ「少しホームシック」（やまぶき地蔵）
⑲ 1巻35ページ「羽化」
⑳ 2巻69ページ

ココがポイント！

とにかくにぎやかで聴くと元気が出てくる楽しい曲調。不思議な語感の歌詞と合わせて、頭の中で何度もリピートされるようなオープニングテーマだ。メインキャラを演じる声優さん4人（阿澄佳奈さん・水橋かおりさん・新谷良子さん・後藤邑子さん）の楽しそうな歌声もクセになる。カラオケで歌うならぜひ4人で！

↑映像と同じように手拍子を入れたくなるにぎやかさ！

ひだまりスケッチ

スケッチスイ

テンポのよいメロディに、聴いていてク…なるような歌詞…だんに使われているほか、曲の手拍子…わせて絵でも手…楽しい仕掛けがいっぱいだ。

↑→↓ラストはひだまり荘の表札が一枚ずつ登場。これをみんなで描くお話は、本編の第2話でお楽しみください。

→カラフルな画材をバックに駆けていくゆのたち。そのわきでは、校長先生に吉野屋先生が怒られる、本編でもおなじみの光景が。

↑歌詞に合わ…るカットが連…た人は原作を…

A 1巻85ページ
B 1巻77ページ「公共物は大切に」
C 1巻50ページ
D 2巻43ページ「ナイスパス」
E 2巻65ページ「はばたく」
F 1巻35ページ「シーザー」「ブルータスの像」
G 1巻34ページ「未知との遭遇」「手虫のようになった吉野屋先生」
H 1巻60ページ「書きにかきたてられて」
I 1巻58ページ「破れたり。」

「スケッチスイッチ」（特別編ver.）

歌詞が2番に変わっただけじゃない！　特別編では本来のオープニングとは違うカットがたくさん挟まれている。違いのわかるひだまらーなら、当然気付いていたよね？

←！ブルータスの像など原作ネタの差し替えのほか、宮子の食生活に変化が!?　歌詞にあわせてアフロになった宮子にも注目!!

↑→名前入り一枚絵はサブキャラに変更。吉野屋先生、校長、大家さん、うめ先生はもちろん、夏目や桑原先生まであるのはうれしい限り。

…の画伯の２大名画「チ…リン」と「オナカスイター…フランシスコ・〇ピエ…。どちらも独創性あふ…る作品!?

Interview

オープニングディレクター　大沼 心

オープニング映像を作るにあたっての新房さん（監督）のオーダーは「文房具を出してほしい。そしてデザイン的な形で文房具に引っ掛けたものにしたい」というものでした。それと、実写を使ってくれというのもありましたね。それを受けて、こんな文房具かなと考えながら作っていった感じです。それと最初に曲を聞いたときに、手拍子が印象に残ったんです。楽しい曲という印象もあったので、絵でも手拍子を入れればうまくはまるんじゃないかな、と。でもちょっとしたにぎやかしというくらいの意識だったので、その後にイベントなどでファンのみなさんが映像に合わせて手拍子を入れているのを知って、ちょっと驚きました（笑）。特別編で映像を変えたのは、「歌詞が2番になるから絵も変えて」と新房さんにオーダーされたからですね。でも2期の特別編のときは新房さんは変えるのを忘れてて。自分から「やっぱり変えますよね？」と聞いたら、「あーそう…って（笑）。

ALBUM にー

ひだまり荘の12か月

-『ひだまりスケッチ』ストーリー解説-

特別編を含めた全14話のストーリーを解説。伏線を時系列順に見ていきたい方は、EVENTアイコンを追ってみてね。うめ先生やスタッフさんたちのコメントも必見です！

初出：電撃G'sマガジン2006年12月号（メディアワークス） 原画：伊藤良明 仕上げ：滝沢いづみ（シャフト） 背景：竜美堂

ひだまり荘の四季①

ゆったりと流れていくひだまり荘の四季。12か月の中から、桜の咲く春と、みんなでプールに行った夏の思い出をきりとってみました。

初出：電撃G'sマガジン2007年4月号（メディアワークス）
原画：潮月一也 仕上げ：シャフト 背景：竜美堂

第1話

1月11日 冬のコラージュ

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ・演出：上坪亮樹　作画監督：伊藤良明

STORY

…から新学期。でも休み
…課題を忘れていたゆの
…慌てて昼休みに課題を
…ことに。そして学校に
…ゆのは、雪が降ってき
…とに気付く。

…覚まし時計で起きて身支度を始める、ゆののいつもの朝。そうしてる間に宮子…るのもいつも通り。テレビの占いを見逃しちゃうのもいつものこと？

↑息が真っ白になる冬の朝。新学期を迎えて、またこれまでと同じ、ゆのたちの日常が始まります。

…電話にカラオケに初詣と、生徒…が呆れるほど吉野屋先生は冬休…を満喫。黒板の絵が動いてるのも…しいぞ。

↑宮子の新年のあいさつは、昨日の初詣でも聞かされたらしい。その初詣の様子は、2期13話でどうぞ。

Event ひだまり荘の表札作り②

Back 1期2話(23p)へ

↑「ひだまり荘」の看板を描いたのは、去年の夏のこと。ゆのたちにとっては5ヶ月くらい前の出来事だけど、視聴者にとっては1週先のお話。

みんなの服装（1月11日）

ゆの（パジャマ）

↑緑色の長袖パジャマ。学校に行く前、洗顔や歯磨きもこの格好で。

アルバムメモ

●放送開始日に合わせてか、1月のお話。シリーズ全体を象徴するようなゆったりした日常を描きつつ、『ひだまり』ならではの伏線（ひだまり荘の表札など）が早くもちらほら。まさかの原作者の出演、下の画像のような気付きにくい仕掛けなど、1話からお遊び要素もいっぱいだ。

↑ヒロの部屋の冷蔵庫の写真は、実はすこーしずつ変化しています。

うめ先生の視聴日記

記念すべき第１話！　動いているのも喋っているのも、この話が初めてだったので何もかもが思い出深いです。しみじみ…。わー動いてるよー喋ってるよーって、ぽかんと口あけながら見てました（笑）。特に印象的だったのは、宿題忘れてプルプルあわわしてるゆのと創作活動のために走っていく時の宮子の笑い声です♪　あ、おにぎりのシーンも可愛かったなぁ～♥　おもちがのび～ってのび～って～～もめっちゃ可愛かった～♥　うーん、本当にどこのシーンも思い出深い!!

Event 沙英の妹・智花⑥
Back 1期12話（58p）へ
Next 2期2話（122p）へ

↑災難だけど、ゆののコラージュの宿題はなかなかの出来栄え。だけど右下の影になった写真と「がんばれ私」の年賀状の送り主は誰？　放課後ヒロの部屋に集まったときの、ゆのへのメールの送り主と関係がある……？

↑昼休みに宿題をやれば間に合うかも！　一度帰ったゆのは、２枚の年賀状を見てピーンと何かを思いつく。

→初詣のおみくじは大吉だったのに、冬休みに出されていたコラージュの宿題を忘れてゆのはピンチ！　こんなときだけ吉野屋先生も厳しいなんて……。

→宮子の「今年初創作活動」。つづりの間違いまで含めて、沙英の言う通り宮子らしい作品の出来上がり。

↑宿題を抱えて学校に急いで戻るゆのが、大粒の雪にふと立ち止まる。昨年「雪降るといいな」と願った（１期12話）ことを、思い出したのかも。

吉野屋先生（私服＆着物）

↑冬らしくセーターで厚着。また右の着物姿は写真でのみの登場で、実際に着ていたのは1月10日（2期13話）。

ヒロ＆沙英（私服）

↓制服姿でやってきたゆのと宮子を、先に帰っていた２人は私服で迎えた。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（コート）

↑→ゆのと沙英はファーが付いていて、見るからに暖かそう。ヒロは女の子らしくうすいピンク。宮子は寒がっていたけど、前を締めればよかったのでは？

スタッフコメント

◆脚本／長谷川菜穂子… 女の子同士の他愛ないお喋りが「ひだまりらしさ」だと思っていて、これをいかに自然にリアルに描くかがいつも最大の課題でした。日常を日常らしく、生活を生活らしく、美術高校の女の子たちを等身大に近く描いていく上で、原作者の先生からはずいぶんアドヴァイスをいただきました。思い起こせば私たち制作スタッフ側も会話によって『ひだまり』の世界を手探りしながら作り上げていったのです。『ひだまりスケッチ』のもうひとつのキーワードは「コミュニケーション」の親密さにあるのでは、と感じます。ご覧になったみなさんが「隣のゆのたち」のやりとりを通じて小さな幸せを感じていただければ、と願ってやみません。

↑4人全員に違う年賀状を送っていた吉野屋先生。恐るべしコスプレ魂……。

↓宮子の創作その2、ゴミ箱に雪を被せたモアイ。このほかに、ゆのの雪だるまも写メでバッチリ撮影した。

↑誰かの部屋に集まって、みんなでとりとめのないお喋りをするのは、ひだまり荘のいつもの風景。

→ヒロさんは体重が気になるお年頃。沙英や宮子にからかわれると、過剰に反応してしまう。

←部屋に戻って敷きっ放しの布団に寝転がる宮子……って、去年まではハンモックで寝ていたはずでは？

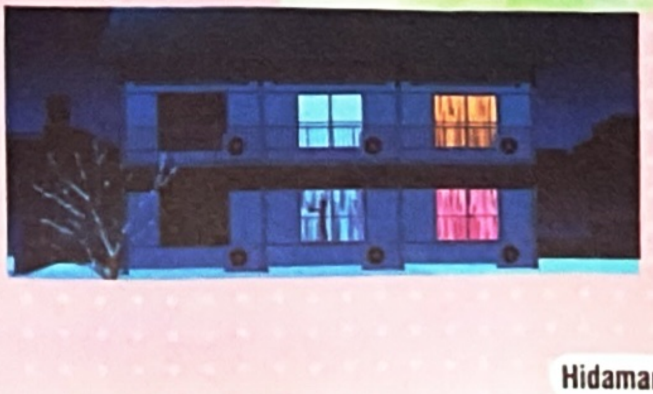
次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

←宮子がクロスワードでねらう景品は「北海の恵みセット」。さてさて景品は当たるのか？ ちなみにこのクロスワードは本当に解けるようになっている。ヒントは、ここのアパートの名前だ。

Event 宮子のクジ運と景品⑤
Back 2期13話(169p)へ
Next 1期8話(45p)へ

→一日の終わりはお風呂。朝ゆのが目覚めるところから始まって、夜ゆののお風呂で終わるのが、『ひだまりスケッチ』の基本形だ。



←夜も更けて、ゆのも宮子もヒロもおやすみなさい。沙英だけまだ寝ないのは、コラージュの宿題の確認をしているから。

アイキャッチミュージアム Ⅰ号館

EYE CATCH MUSEUM　#01-03

うめ先生の身だしなみの朝

↑朝、歯を磨くゆのといっしょにうめ先生も歯磨き中。女の子ですから？

犬とコラージュ

↑ゆのたちの課題だったコラージュ風に、犬の画像を使ったコラージュ。和みますねえ。

「若いっていいわね」

↑ゆのと宮子が雪遊びをする一方で……。ゆのたちとは歳はひとつしか離れてないけど。

「ひだまりスケッチ」の「ひ」

↑タイトルロゴ風の『ひ』。だけど上3カ所に丸がついていて、まるで肉球みたい。

ゆのたちもコスプレ！

↑↖吉野屋先生の衣装をゆのたちが着る。サーカスの絵では、吉野屋先生の水着が……。

羽化までもう少し！

←青虫が成虫になるのはもうすぐだけど、さてどんな虫になるのか。答えは1期6話で！

吉野屋先生、全力で遊ぶ！

↑自分で年賀状を配ったり、雪だるまになったり。雪遊びしようと待ち構えていた原作のひとコマも。

コスプレオンステージ！

↑制服でもネコミミでも、なんでも持っている吉野屋先生。サンバの衣装は、1期10話のやまぶき祭でも披露。

STORY

ゆのたちは宮子の部屋で、大家さんに頼まれたひだまり荘の表札を作ることに。その後夜になると、みんな浴衣姿になってお祭りに行くのだった。

第2話 8月21日 ニッポンの夏

脚本：木滝りま　絵コンテ・演出：尾石達也　作画監督：守岡英行

↑音楽に合わせて、妙に丁寧にラジオ体操第一をするゆの。でもその途中で何かに気付いたみたい。

↑夏休みでもだらけず朝６時に起床。それはいいけど、寝ぼけて潰されるぬいぐるみがちょっと可哀想。

→『おしゃれ探偵ラブリーショコラ』の真似をする沙英。この作品世界の中では有名な、懐かしい番組らしい。

↑宮子の部屋だけなんでみんなよりも家賃が安いのかと、雑談しながら作業。ちなみに敷かれている新聞は、このアニメと同じシャフト制作の『ぱに○にだっしゅ！』の24話に登場したもの。『ぱに○に』キャラの名前が見出しになっているのはそのため。

↑表札作りは宮子の部屋ですることに。さっきまで、足の踏み場もなかったのを片付けたらしい。

←「血だまり荘」はともかく「おだまり荘」とは……。ヒロの話に白けて、3人は見ざる・言わざる・聞かざるのポーズ。

↑「9」の後に「28」に止まると、「9時28分」ということになる。

↑お祭りの人混みは『人○ゲーム』のピン。この違和感が面白い。

アルバムメモ

●冬だった第1話から遡って、2話は夏のお話。1話でゆのと宮子が話題にしていたひだまり荘の表札作りのエピソードが描かれる一方で、「梅雨に雨漏りをしていた」「羽ばたいていった青虫くん」など、意味ありげな会話がさらに幾つも出てくる。こうして時系列を入れ替えて伏線を張ることが、『ひだまり』ならではの楽しみどころだと、このお話でしっかりわかるようになっているわけだ。とりあえず青虫の話は第3話ですぐに出てくるので、ちゃんと覚えておくように！

●たびたび挟まれるルーレットは、そのシーンの時間帯（時間と分数）を表している。お祭りでの人混みもそうだけど、『人○ゲーム』を題材にした仕掛けが多いのが、この回の特徴。

うめ先生の視聴日記

色が綺麗で幻想的で、インパクトのあった回でした。影絵っぽい演出とか、すごく面白かったですよね～。看板作りのシーンの、指で鼻をこすってにっこり笑う宮子がめっちゃ可愛かった！ 花火の音を聞いて振り返るところの宮子も可愛かった！ 宮子可愛かった！（笑）

↑「ひ」は沙英、「だ」は宮子、「ま」はヒロ、「り」はゆの、「荘」はみんなで。書体や文字の配置、色使いも様々な表札ができあがった。

充実した一日って感じでした

Event ひだまり荘の表札作り①
Next 1期1話（18p）へ

↑1期1話でも話題に出ていた「ひだまり荘」の表札は、ここで完成した。この日以降を描いたエピソードでは、「ひだまり荘」の表札はこれになっている。

夏休みだってのに、何で学校に？

Event 吉野屋先生のアサガオ観察④
Back 1期特別編1話（62p）へ

↑ヒロは学校で吉野屋先生に会ったという。夏休みなのにどうして先生は学校に？ しかもコートの下は真っ赤な水着。海かプールに行けばいいのに。

↑ヒロのハーブに触発された2人。ゆのは「優雅な生活」を想像するけど、宮子は「豊かな食生活」を想像。

Event 宮子の部屋の乾燥剤③
Back 1期3話（28p）へ
Next 1期7話（41p）へ

↑→宮子の家賃が安いのは、大家さんが自分で改修したからだった。でもそのせいで、フローリングの下には大量の乾燥剤が。水をこぼしたら発火するかも知れないらしい……。

梅雨にこの部屋雨漏りしてたわよね？

↑「ヒロさんが重いだけなのでは？」と言った宮子は、カーンという音でベランダへ。ヒロに体重話は厳禁。

Event ヒロのハーブ③
Back 2期6話Aパート（136p）へ

←ヒロの入れたハーブティー＆ハーブクッキーで一休み。今まで大事に育ててきたらしい。

Event ゆのの青虫⑥
Back 1期6話（39p）へ

ヒロのハーブの話題から、ゆのが育てていたという青虫についての話が出てくる。ゆのにとってはイヤな思い出みたいだけど、いったい何に育った？

ゆのと大家さんのすれ違い④
Back 1期特別編1話（63p）へ　Next 2期11話（157p）へ

ゆのだけが大家さんに会ったことがない。ゆのが大家さんに会ってちゃんとあいさつができるのは、まだまだ先のこと。

気にまわっています。あとは、悲しい思い出として、オンエア時、大家の張り紙に誤字があったことですね。自分で書いただけにつらい。DVDとオンエアの録画、両方もっている方がいてもわざわざ探さないでくださいね。

わーい祭りだ!

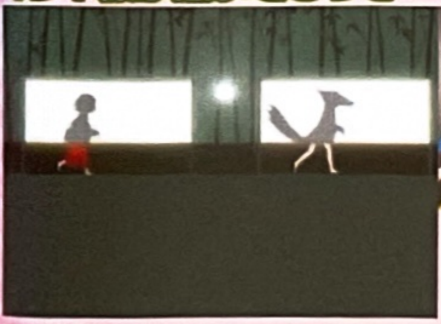
↑お面、ヨーヨー、たこ焼きなど、屋台もいっぱい。実写だとよりいっそう楽しそうに見える？

→宮子はヒロの浴衣を借りることに。でも『魔法少女ミンキー』って（笑）。

↑今日は夏祭り。浴衣で行けばお菓子がもらえると聞いた宮子は、カーテンで浴衣を作ろうとするけど……。

↑ゆのはねずみ花火が苦手で、小さいころはニャン太に側にいてもらったらしい。なんと可愛らしい……。

あの浴衣にはキツネ様が憑いてるって…



←↑「あの浴衣にはキツネ様が憑いている」という話題に合わせ、宮子の影絵がキツネに。幻想的な場面だ。

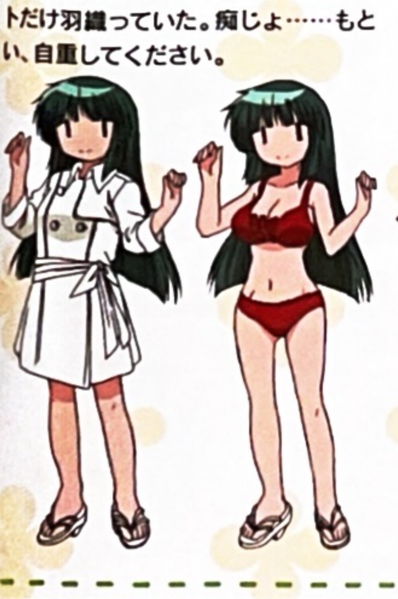
浴衣着ると、気分が変わるよね~

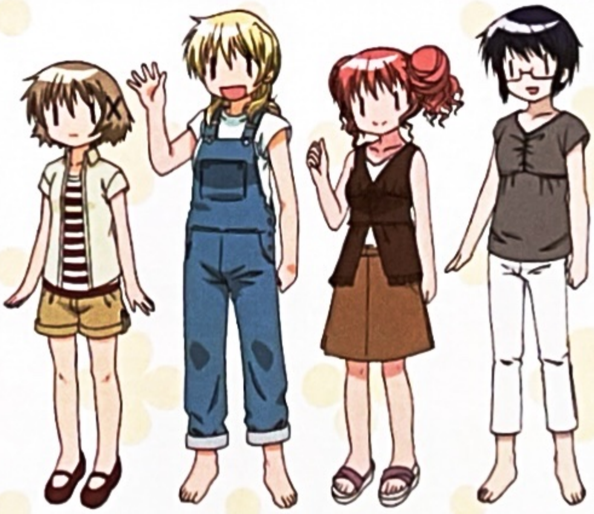
↑お祭りには吉野屋先生も来ていた。記念に先生のカメラで、みんなの浴衣姿を撮影してもらった。

みんなの服装（8月21日）

吉野屋先生（コート＆ビキニ）

↓校門の前で、赤い水着の上にコートだけ羽織っていた。痴じょ……もとい、自重してください。





ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑汚れてもよい格好……と思いきや、普段着ているような部屋着で表札作りをした。

ゆの（パジャマ）

↑夏らしく、袖も裾も短い涼しげなタイプ。胸元のギャザーが可愛い。

スタッフコメント！

◆絵コンテ・演出／尾石達也… 人○ゲームのルーレットを出した一番の理由は、デザイン、そして「色」の美しさです。設定デザイン（※尾石さんの1期での役職）として、ひだまり荘を初めにイメージしたのも、やはり色でした。羅列されたカラフルなドアと、ポストのボードが描きあがった時、ひだまりスケッチの方向性が自分の中で固まったような気がします。この回はとにかく、実写撮影のために色々買い物をしました。とくに、宮子の部屋のサーキュレーター（送風機）。1CUTしかでてこないのに、自腹で7,000円も……（泣）でも、今でも作監の守岡（英行）さんの足元で元

次回予告

やまぶき高校で待ってます。きっと見に来て下さいね！

↑遠くの花火の音に宮子が気付く。もしかして浴衣に憑いたキツネの力……？

↑→宮子の駆けていった先では、本当に花火が打ち上げられていた。これは本当にキツネのせいかも？

あのときの宮ちゃんには確かに何かがのりうつっていたような…

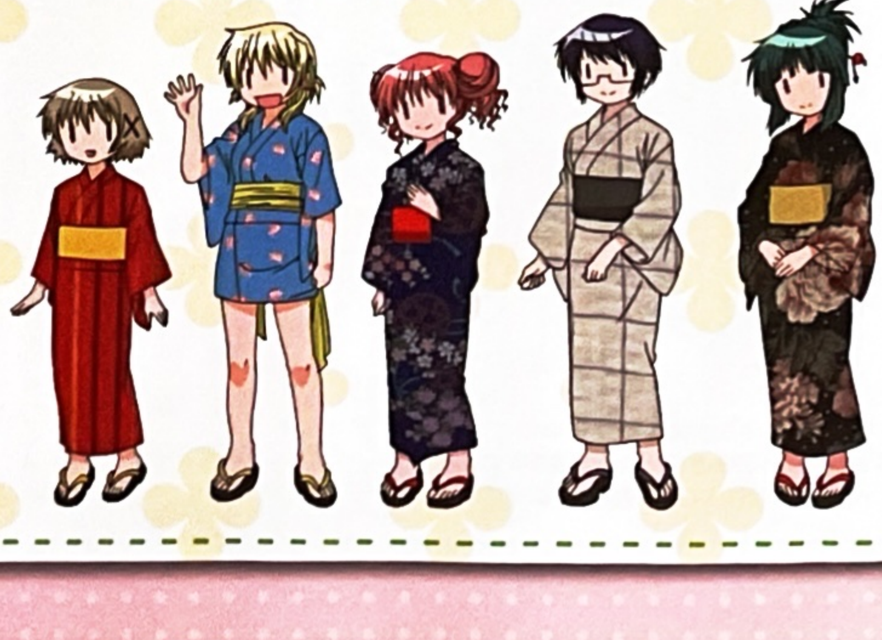
←ただの地獄耳かもしれないけど、今日の宮子には不思議なものを感じるゆのだった。

宮子＆ヒロ（私服）

↑こっちは、お祭りから帰ってきてからの２人の部屋着。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（浴衣）

↓女の子の浴衣は夏の風物詩。それぞれの個性を反映した色や柄で、見ているだけで楽しい（宮子のアニメ柄も含めて）。



第3話

6月17日 またはインド人

脚本：久保田雅史　絵コンテ：佐伯昭志　演出：石倉賢一　作画監督：西尾公伯

STORY

今日は学校でデッサンの授業。ちょっと失敗したけど、ゆのも宮子もどうにか仕上げられた。でも帰宅すると雨が降り出し、宮子の部屋が雨漏りしてしまう。

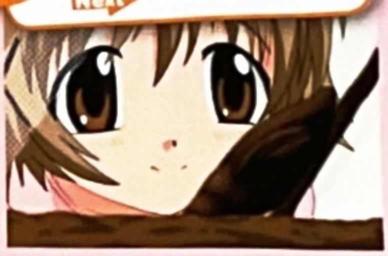
落ち込んだ時に限って ロクでもない事しでかしたり 巻き込まれたりするもんだから

↑妙に予言めいた沙英の言葉。ゆのにとっては、まさにこの言葉通りの一日に……。

↑湿気に弱いヒロの髪。でも実は、特に湿気がなくてもうねることもある。

Event ゆのの青虫③

Back 2期10話（153p）へ
Next 2期12話（162p）へ



↑朝起きて青虫に話しかける。これが前の話で言っていた青虫だと思うけど、いつから育てているんだろ？

思う存分 描いて下さい！

↑→『これが私の御○人様』風吉野屋先生、校長先生に怒られるの図。

→デッサンにコーヒーをこぼしたり、居眠りで顔が真っ黒になったり。今日のゆのはやっぱりついてないみたい。

↑ゆのの心も、校長の万年筆も折れる。でも「校長絶好調」って……。

ブルータス お前もかーっ！

→宮子も好きな『ラブリーショコラ』。ブルータスは悪役だったらしい。

みんなの服装（6月17日）

吉野屋先生（ウェディングドレス）

↑だからステキな衣装は結構ですが、描きにくいんですってば！

吉野屋先生（フリフリ服）

↑モデルのときは、もっと描きやすい服でお願いします。

アルバムメモ

●冒頭で沙英は「小説書いてたら机で寝ちゃって」と話す。沙英が小説を書いていることは視聴者にとっては初めての情報。あまりにもさらっと言うので、初見だと驚かされる。

●ゆのの部屋人形が変化していったり、雨漏りを受け止めるバケツの色が変わっていったり、今回も意外な仕掛けがたくさん。

→準備室の校長先生の像。文化祭（1期10話）でひどいことに……。

うめ先生の視聴日記

原作読んでない方にこのタイトルの意味はわかったのでしょうか…（笑）。この回は先生たちがはじけてましたね～。その後の先生ズの暴走はここから始まっていった気がします（笑）。座布団の上のぬいぐるみの変化には、ストーリーがあるらしいですよ？　是非想像しながらもう一度見てみてくださいませ♪

Event ヒロのダイエットゼリー③

Back ２期３話（127p）へ
Next １期９話（49p）へ

ヒロは通販でダイエットゼリーを買ったけど効果がなかったらしい。この話題は、他の話でもちょくちょく出てきます。

→横で流れるTVの通販番組。『ラブリーショコラ』は、新感覚癒し系魔法少女に似てる？

↑放課後はみんなで集まってまったり。で
もゆのたちが買ってきたものの中には、如
にインパクトのある雑誌が。

↑おにぎりをもらうためなら、宮子ははにかむ校長の顔真似だってする。顔真似と言うより、もはや本人。

→宮子のイメージしているように、お豆腐の足ははやい。青魚や鶏肉、もやしなども、足がはやいから気をつけましょう。

→ヒロと沙英はゆのの部屋が元は「みさと先輩」の部屋だと思い出す。みさと先輩とはいったいどんな人？

→宮子は入試のときは風邪をひいていたらしい。その模様は２期１話で見ることができる。ところでこの場面のサイコロ、次に出てくるときには「・」ではなく数字表記に変わっています。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑この日はこの格好でゆのの部屋に集まって、みんなでのんびりおしゃべり。クセっ毛のヒロさんは、設定画でも髪の毛がうねっていて大変そう。

ゆの＆宮子（私服）

↑２人で買出しに出かけたときの服。雨に濡れてしまったので、帰ってからすぐに着替えたみたい。

スタッフコメント

●演出／石倉賢一… この『ひだまりスケッチ』が、新房監督の作品で初めておつきあいさせていただく作品となりました。元々、他の作品で演出や絵コンテの仕事のとき、ネタをやりすぎたり、パロディをやりすぎたりして怒られることも多かったのですが、ちょうど良いとのこと！ それでこの3話には、ネタとパロをつめこみました（某『ぱに○に』のベホ○ミとか某ご主人とか）。後、作監さんも私もちょっぴりHなので、ちょっとHに見える作品かもしれません。おでん最高！

次回予告

カラオケボックスで待ってます。きっと見に来て下さいね！

Event 宮子の部屋の乾燥剤②

Back 2期7話（142p）へ
Next 1期2話（23p）へ

↑1期2話でヒロが口にしていた、宮子の部屋での雨漏りが発生中。乾燥剤への浸水は、宮子が偶然足で防いでセーフだった。

↑沙英からの謎の言葉にゆのは怯える。部屋にヘビが出るってどういうことなの？

↑小説のお仕事中の沙英に、ヒロが差し入れ。やっぱり話題になっているのはみさと先輩のこと。

Event みさと先輩とトラップ③

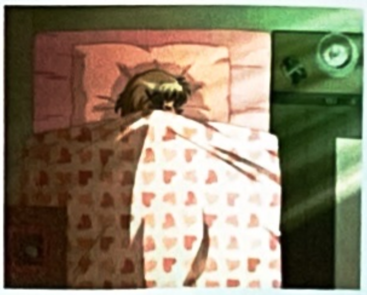
Back 2期10話（154p）へ
Next 1期9話（49p）へ

←みさと先輩はいたずら好きな人だったらしい。その置き土産が、紫のヘビ（紐）を引っぱったゆのの頭上に……。

ひだまり豆知識 ゆのの目覚め

『ひだまりスケッチ』はゆのの目覚めから始まるのが基本パターン。でもパジャマ、布団やカーテンの柄が毎回違っていて、見ていて飽きさせないようになっている。ここでは1期と2期のを通して、特に印象的な朝を幾つか紹介しよう。

→まずは1期1話の朝。ここから毎回、部屋の様子が変わっていきます。



→2期11話は真上のアングル。見慣れたはずの部屋がちょっと違って見える。

→雨降りの1期7話はてるてる坊主。似たケースで1期12話はクリスマス風だ。

→1期10話の文化祭はゆのが学校で目覚めるため、部屋には誰もいない。

第4話

STORY

屋外写生の授業が終わって帰宅後、ゆのは実家からの野菜の差し入れをヒロにお裾分けに行く。するとそこで、カラオケに行こうという話が出た。

5月18日
歌うショートケーキ

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ：椎谷太志、藤本ジ朗　演出：森義博　作画監督：宮崎修治

↓今日の授業は屋外。先生のテンションも普段よりさらに高い？

↑ゆのは布団を、宮子は干物を干す。「アジなだけに味なマネ」と宮子は朝からテンションが高い。

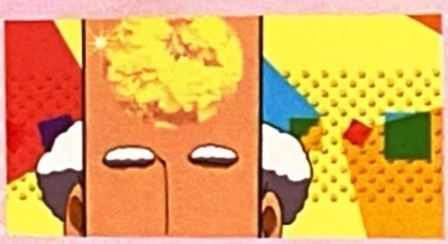
↑セットした6時より前に目覚ましを止めて、いい気分で目覚めたゆの。こんな日は朝のうちに気分よく洗濯や掃除を！

外でスケッチしましょう！

→竹林を見て思わず描いてしまったゆの画伯の「チクリン」。

→実在しそうで実在しない牛乳いろいろ。宮子のお腹の調子が悪いのは、これを全部飲んだせいでは……？

→お地蔵さんを見て、ゆのはお父さんを思い出す。似ているわけでもないのに（13ページ参照）なぜ……？



←花壇の世話をする校長先生。おでこに物が映るのは、古くから続く新房監督作品の伝統芸。

←笠地蔵よろしくパイロンをかぶせる宮子。さてご利益はあるのか？

もはや、沙英さんが男子と言っても過言ではないですな

↑男子も顔負けなくらい沙英はテニスが強いらしい。でもさすがにこれは言い過ぎ。

アルバムメモ

●カラオケボックスの店名「きらら」は、もちろん原作掲載誌より。また店内のメニューは、目を離すと「ハニートースト」が「焦パン」に、「たこ焼き」が「たこさし」に変わったりするので注意。●今回カラオケで歌われた曲は、CD「ひだまりラジオ特別編」に収録されている。気になる人はチェックを。

→女の子の落書きは、（5月なので）鯉のぼりルックのうめ先生。実はうめ先生、ご近所では有名？

うめ先生の視聴日記

青虫くんいらっしゃ～い。ヒロさん歌いまくりの回ですね♪そしてゆのっちの音痴が発覚した回でもあり…（笑）。あの音痴っぷりは可愛くてズルイ!!! 原作で書いてたのと同じ歌詞を使っていただいてて、ビックリしました。うれしかったです♪

↑みんなでカラオケにGO! そんな中、ヒロさんが子供に「ふかふか」と言われてショックを受けているという話題が。

↑歌えば痩せるかも？ ケーキを食べるために、カラオケに行こうというゆのの提案に、ヒロさんが興味をもったようです。

↑家に帰ると、実家から野菜が。ゆのにはお地蔵様のご利益があったけど、宮子は干物をとられてガッカリ。

↑宮子の歌はゲキウマ！ 「小さいころは夜にお店回って歌ってたりしてた」かららしい。宮子の歌声を聴ける機会は、この後にも何度かあるぞ。

↑沙英はやまぶき地蔵のことを知っていた。吉野屋先生が作っただけに、こんなご利益も。

←やまぶき地蔵の作者は吉野屋先生で、元はこんな形だったらしい。変わり過ぎ（笑）。

→当の吉野屋先生は、一人カラオケを熱唱中。マラカスまで振って、すっかり自分の世界。

みんなの服装（5月18日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑放課後、ヒロの部屋に集まったときはこの格好。この後カラオケに行ったときには、宮子以外はみんな着替えたようだ。

ゆの＆宮子（パジャマ）

↑この回はゆのだけでなく、早起きをしたと言う宮子の寝間着姿も。

スタッフコメント

◆**作画監督／宮崎修治**… カラオケのシーンのポスターに貼り込んである素材（たこ焼きなど）にこだわりました。パソコンを使わずに色鉛筆とクレヨンで描いた素材なので、手描きのあたたかさが出ていると思います。

◆**演出／森義博**… アフレコ時、わざとトンチンカンに歌うゆの。さらにそれを完全にコピーして歌う宮子。声優のすごさを改めて感じました。裏話としては、演出打ち合わせ時まで曲ができていなくて、編集時、できた曲を聴きながら、どの部分を歌わせるか長時間、編集しました。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

↓→ヒロの「ふかふか」は髪のことだった。でも今度はゆのが「小さい」と言われ……。

Event ヒロのダイエットゼリー①
Next ▶ 2期3話(127p)へ

ヒロの元にダイエットゼリーが届く。このころは効果に期待をしているみたいだけど……。

↓1期3話でゆのが育てていた青虫は、このときから飼われたものだった。さて立派な蝶になる日はいつ？

Event ゆのの青虫①
Next ▶ 2期10話(153p)へ

いつか2人は るる〜る〜る〜♪

↑ゆのは牛乳を飲んで背を伸ばそうと決意。でも宮子みたいにお腹を壊さないように気をつけようね。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↓みんなでいっしょにカラオケに。お出かけするからか、みんな普段よりもちょっと厚着をしている？

ジャージ

↑これはヒロや沙英たちのジャージ。ゆのたち1年生は実際には赤っぽい色だ。

吉野屋先生（私服）

↓屋外の授業なので普通の格好……と思いきや、ちょっとだけ脱ぎたそうだった。

アイキャッチミュージアムII号館

EYE CATCH MUSEUM #04-07

みんなでカラオケ

→歌と楽器がテーマの絵……だけど沙英のギロは、胸の話をしていただけに、洗濯板に見えたりも（笑）。

いいお天気

↑布団を干したくなるようなお天気のもと、うめ先生もにゃんことといっしょにひなたぼっこ。

夢の中をふらふら

↑風邪を引いて、奇妙な夢の中で一人さまようゆののイメージ。はやく熱が下がるといいけど……。

↑←元ネタはモネの『日傘の女性』と、ダ・ヴィンチの『モナ・リザ』です。

吉野屋先生、名画になる

夏目の挑戦

↑沙英と夏目の因縁の戦い。その結果は第2期第8話をご覧ください！　ゆのが抱いているわんこも出てくるよ！

吉野屋先生も風邪だけど

↑自分の親には無理矢理職場に押し出され、保健室で寝ていたら校長先生に怒られ……。

明日は体育祭

↑女の子の短パン姿は健康的でいいもの。明日は天気になって、この姿で元気に競技したいものです。

秋の味覚シリーズ

↑スーパーでもらったサンマと、沙英に届いた栗。サンマは大家さんに奪われました。

STORY

ゆのが風邪を引いてしまった。ひとり部屋で寝ているうちに、いろいろ奇妙な夢を見るゆの。一方宮子たちは、代わる代わるゆのを見舞いに行く。

LOVE

第5話 2月13日 こころとからだ

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ：椎谷太志　演出：上坪亮樹　作画監督：古川英樹

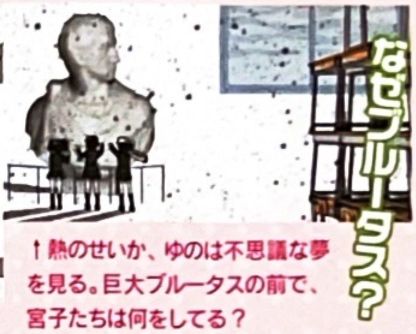
↑熱っぽい体を表すように、この日のゆのの体は、熱が下がるまでずっと真っ赤。文字通り、異色な演出。

→ゆのは、38度2分も熱があった。「故障」と思われるくらい、テンションもどこか普通じゃない。

↑この日の朝、ゆのは雪と氷の中で気がつく。体が重くてなかなか起きられない……。

←体育祭でのランニング姿で、校長先生は遅刻者(ゆの)にご立腹。

↑ゆのは赤いけど宮子たちはモノトーン。彼女たちから、ゆのはなぜか小麦粉を渡されて……。



↑熱のせいか、ゆのは不思議な夢を見る。巨大ブルータスの前で、宮子たちは何をしてる？

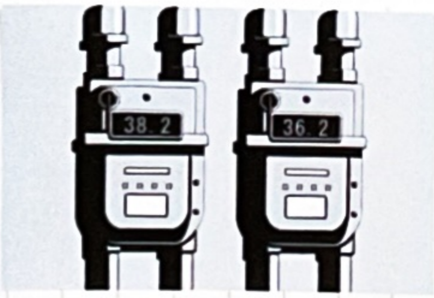
←ドレスに着替えて、小麦粉でブルータスを白くしながら……。ゆのに限らず、夢の中ってこのくらいシュールなものだよね。

←教室をさまようゆの。ロッカーを開けると派手なドレスがずらり。

アルバムメモ

●原作にもゆのが風邪をひく話はあったけど、眠っている間の夢はアニメでのオリジナル。夢にありがちな意味不明で不条理な世界を描いた異色編だ。最後がゆのの入浴で終わらないという、ちょっとしたパターン外しの回でもある。

●1期を通して一番の伏線は智花の存在だけど、今回は「智花」という名前と、彼女が沙英の妹であることが判明。ヒロに「(智花が)本当は可愛いんでしょ」と言われて、沙英が「それはまた別！」と返すが、沙英は智花に複雑な感情を抱いていることがわかる。この姉妹がどんな関係なのかは、1期12話でのお楽しみということで。

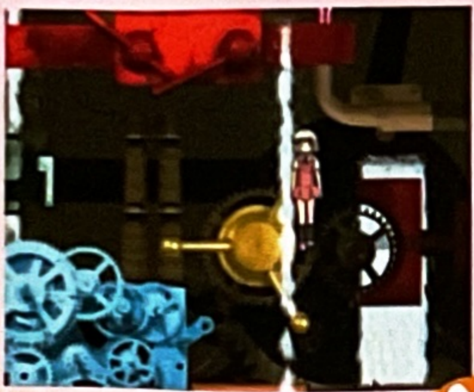


→冒頭のメーターや郵便受けの数字は、みんなの体温。ヒロは35.7、沙英は36.8が平熱だった。

→保健室の桑原先生が初めて登場した回でもある。1期では、今回のほかには特別編2話に登場。

うめ先生の視聴日記

不思議で優しい、大好きな回です。夢のシーンとか、ゆのの体が真っ赤だったりとか宮子がゆののパジャマ着替えさせてるシーンのゆのの手の動きとか、どれも綺麗で面白くて、たまらんですたい！　と、みんながゆのっちの様子を見に来るところ。あーもうゆのの幸せ者ーっ!!! と思いました（笑）。



←夢の世界はどこまでも不思議。歯車、5年生のときの工場見学、やまぶき地蔵、100円セール……。

↑お昼休みに宮子が様子を見に来るけど、まだ熱は下がっていないみたい。汗をかいたゆのを、宮子は新しいパジャマに着替えさせてあげる。

↑ゆのと同じく吉野屋先生も風邪。あなたは大人なんだから、しっかりしてください。

Event
沙英の妹・智花⑧
Back 2期2話（122p）へ
Next 2期特別編（166p）へ

↑夢の中で、智花ちゃんを見かける……。でも智花って誰？　1期1話でメールをもらったのと同じ子？

↑誰かからのメールの着信音で目覚める。まだまだ熱っぽいけど、少し元気になってきたかな。

→原作にもあった宮子作のうさぎを、まさか本物で再現するとは……。スタッフさんの力作らしい。

みんなの服装（2月13日）

宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑宮子と沙英はパンツルックで、ヒロと吉野屋先生はスカート。ちゃんと厚着をして、ゆののように風邪をひかないように！

ゆの（ドレス）

↓まるで吉野屋先生が好きそうな服。さすが夢の中はなんでもアリ。

ゆの（パジャマ）

↑ゆのが汗をかいてしまったので、宮子が着替えさせてあげたパジャマ。

STORY

ゆのが風邪を引いてしまった。ひとり部屋で寝ているうちに、いろいろ奇妙な夢を見るゆの。一方宮子たちは、代わる代わるゆのを見舞いに行く。

LOVE

第5話 2月13日 こころとからだ

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ：椎谷太志　演出：上坪亮樹　作画監督：古川英樹

↑熱っぽい体を表すように、この日のゆのの体は、熱が下がるまでずっと真っ赤。文字通り、異色な演出。

→ゆのは、38度2分も熱があった。「故障」と思われるくらい、テンションもどこか普通じゃない。

↑この日の朝、ゆのは雪と氷の中で気がつく。体が重くてなかなか起きられない……。

←体育祭でのランニング姿で、校長先生は遅刻者（ゆの）にご立腹。

↑ゆのは赤いけど宮子たちはモノトーン。彼女たちから、ゆのはなぜか小麦粉を渡されて……。

↑熱のせいか、ゆのは不思議な夢を見る。巨大ブルータスの前で、宮子たちは何をしてる？

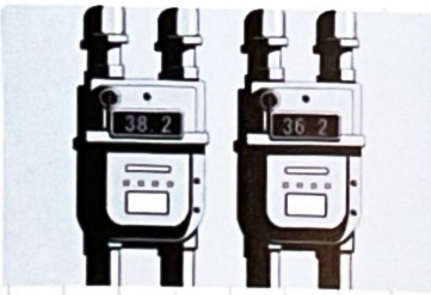
←ドレスに着替えて、小麦粉でブルータスを白くしながら……。ゆのに限らず、夢の中ってこのくらいシュールなものだよね。

←教室をさまようゆの。ロッカーを開けると派手なドレスがずらり。

アルバムメモ

●原作にもゆのが風邪をひく話はあったけど、眠っている間の夢はアニメでのオリジナル。夢にありがちな意味不明で不条理な世界を描いた異色編だ。最後がゆのの入浴で終わらないというパターン外しの回でもある。

●1期を通して一番の伏線は智花の存在だけど、今回は「智花」という名前と、彼女が沙英の妹であることが判明。ヒロに「（智花が）本当は可愛いんでしょ」と言われて、沙英が「それはまた別！」と返すが、沙英は智花に複雑な感情を抱いていることがわかる。この姉妹がどんな関係なのかは、1期12話でのお楽しみということで。

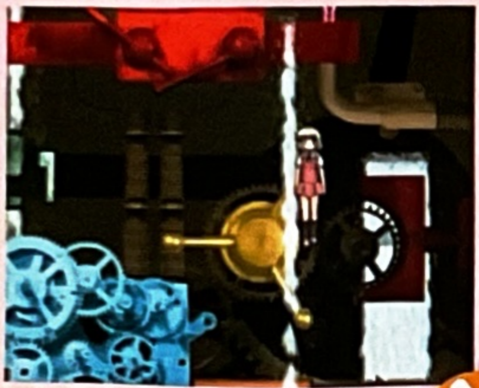


→冒頭のメーターや郵便受けの数字は、みんなの体温。ヒロは35．7、沙英は36．8が平熱だった。

→保健室の桑原先生が初めて登場した回でもある。1期では、今回のほかには特別編2話に登場。

うめ先生の視聴日記

不思議で優しい、大好きな回です。夢のシーンとか、ゆのの体が真っ赤だったりとか宮子がゆののパジャマ着替えさせてるシーンのゆのの手の動きとか、どれも綺麗で面白くて、たまらんですたい！　と、みんながゆのっちの様子を見に来るところ。あーもうゆのの幸せ者ーっ!!! と思いました（笑）。



→夢の世界はどこまでも不思議。歯車、5年生のときの工場見学、やまぶき地蔵、100円セール……。

↑お昼休みに宮子が様子を見に来るけど、まだ熱は下がっていないみたい。汗をかいたゆのを、宮子は新しいパジャマに着替えさせてあげる。

↑ゆのと同じく吉野屋先生も風邪。あなたは大人なんだから、しっかりしてください。

Event
沙英の妹・智花⑧
Back 2期2話（122p）へ
Next 2期特別編（166p）へ

↑夢の中で、智花ちゃんを見かける……。でも智花って誰？　1期1話でメールをもらったのと同じ子？

↑誰かからのメールの着信音で目覚める。まだまだ熱っぽいけど、少し元気になってきたかな。

→原作にもあった宮子作のうさぎを、まさか本物で再現するとは……。スタッフさんの力作らしい。

みんなの服装（2月13日）

宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑宮子と沙英はパンツルックで、ヒロと吉野屋先生はスカート。ちゃんと厚着をして、ゆののように風邪をひかないように！

ゆの（ドレス）

↓まるで吉野屋先生が好きそうな服。さすが夢の中はなんでもアリ。

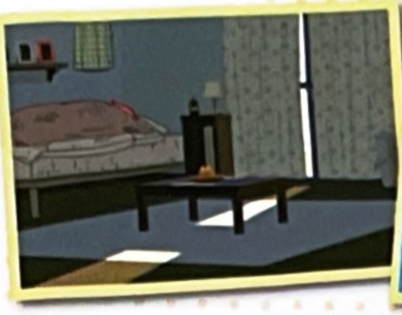
ゆの（パジャマ）

↑ゆのが汗をかいてしまったので、宮子が着替えさせてあげたパジャマ。

スタッフコメント

◆1期・2期ともに色彩設計／滝沢いづみ…

枕、シーツは季節に合わせて作っています。予告の絵は原作とは、少しずつ色、BGなど変えてあります。本編に出てくる色変えのカットは長く見ていても耐えられるように作ってあるので、ぜひ一時停止して見て欲しいです。



次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

Event 自転車少年シンヤくん②

Back 1期12話(60p)へ
Next 1期8話(44p)へ

テレビからは、東京から福岡までを自転車で旅しようとする少年の話題が聴こえてくる。長い道のりのスタートをきったようだけど、さてさてその結末は？　続報を待て！

ナントカは…使いよう…？

↑お見舞いにきてくれた宮子が言うには、ゆの……ではなく、宮子の周りはみんなお休みだったらしい。

↑夢の中の話をするゆの。なぜか髪留めが回転したり、○になったり。

←ヒロが熱を出したときは沙英が看病をしてくれた。沙英の重さでうなされたのもよい思い出。

なんか私、むちゃくちゃ幸せなんだけど、いいのかな

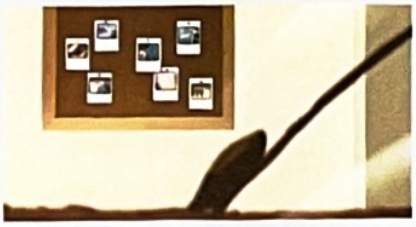
←宮子は布団をかけ直しに、ヒロと沙英はそれぞれケーキとノートを持ってきてくれた。具合は悪いけど、そんなみんなの優しさがうれしいゆのでした。

ひだまり豆知識

ゆののコルクボード

ゆのの部屋のコルクボードには、ひだまり荘のみんなとの思い出の写真がいっぱい（ポスターやチラシもいっぱい）。月日を経ると思い出も増えていくので、貼られている写真も当然変わっていく。ここに紹介する以外にもボードの写真が映るシーンはたくさんあるので、ボードからゆのたちの思い出をたどってみるのも楽しいぞ。

↑1期9話より。みんな大好き『ラブリーショコラ』のポスターが貼られてたりも。



↑1期6話。これら動物園での写真の出来事は、放送順で言えば後（11話）のお話。

↑1期12話では、2期で描かれるエピソード（体育祭など）の写真もあった。

↑これは2期2話。1期での思い出のシーンが写真でたくさん。時の流れを感じる。

STORY

夜遅くまで勉強した期末試験をなんとか終えたゆのたち。帰宅後、暑い一日をやり過ごすため、みんなはビニールプールを引っ張り出して水遊び。

第6話

7月14日 ひんやり、まったり

脚本：久保田雅史　絵コンテ：水野和則　演出・作画監督：吉田秀之

Event ヒロのハーブ①

Next ２期６話Aパート（136p）へ

↑ヒロがプランターでハーブを育て始めた。ここから大事に世話をしたハーブが、やがてハーブティーやハーブクッキーになるのです。

←↑謎の赤い布がゆのに迫ってくる！夢で良かったけど、朝からちょっとついてない……。

↓試験中、つい落書きをしたくなるのは学生のサガ。ゆのもご多分に漏れずついつい。

↑試験中、マークシートの答えにAばかり続くことに不安になる。吉野屋先生の試験問題だし……。

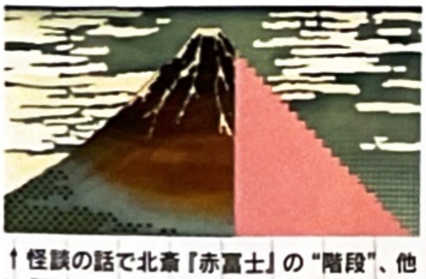
↑またとんでもないことを言い出す吉野屋先生。この発言のせいで校長先生に怒られるけど、自業自得というやつです。

←試験終わった！宮子はアパートの屋根でひなたぼっこにゴーゴー！

アルバムメモ

●夏だ！　プールだ（小さいけど）！と言うことでいわゆる〝水着回〟。お色気控えめの『ひだまり』も、さすがに今回はちょっとだけドキドキ。

●試験中、ゆのの後ろを流れていく絵画や彫刻は、どれも実在する有名な作品ばかり。登場順に、ミレー『落穂拾い』、モネ『日傘の女性』、葛飾北斎『神奈川沖浪裏』、ルノワール『ふたり姉妹（テラスにて）』、ゴッホ『ひまわり』、ロダン『考える人』、安藤照『西郷隆盛』（東京・上野公園の西郷隆盛像）、ミケランジェロ『サン・ピエトロのピエタ』、遮光器土偶、ドナテッロ『ダヴィデ像』となっている。



↑怪談の話で北斎『赤富士』の"階段"、他に『百物語』より「さらやしき」も。

↑部屋にブルータスのデッサンが。そう言えばつい一か月前に描いたばかりだっけ。

↑試験中、ゆのの隣の席は、Aさん、Bさん、Dさんと変わっていく。これはAさん。

うめ先生の視聴日記

無農薬栽培のニンジン〜がすっごい可愛くって意味不明で笑っちゃいました（笑）。放送時期は冬だったので、実写のお鍋にムラムラしたりもしたなぁ〜（笑）。お鍋のシーンの頭に入ってた絵はみんなやたらとセクシーでしたね♥　水着の静止絵もムッチリ色っぽかった〜♥　あのゆのっちのお尻は反則。

↑宮子は履歴書に書けるほどポンプが得意……ってそんな資格ないから！

↑言葉の意味はよくわからんが、とにかくゆのは泳げないらしい。

Event 沙英の恋愛小説①
Next 2期6話Aパート（136p）へ

→宮子が見つけた沙英の原稿は、沙英本人が恥ずかしがるような内容。これから書く小説の準備稿かも……？

→この暑い中、ヒロは鍋でダイエット。あの、結局食べてるんじゃ、効果はあやしいのでは。

←水にたゆたうゆのたち。空を見上げる宮子は、遠いベーリング海に思いを馳せる。……なぜベーリング？

←「ていてい」と水のかけ合いをしては、減った水をビニールプールに足す。7月の午後がまったりゆったり過ぎていく。

みんなの服装（7月14日）

←↑本格的にプールに行く前に、みんなで庭で水遊び。宮子のTシャツとビキニパンツは、沙英から借りたもの。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑いよいよ夏も本番！　みんな涼しそうな格好だと言うのに、ヒロだけは一人我慢大会中。

スタッフコメント

◆演出・作画監督／吉田秀之… この作品ではいろいろな場面で実写画像を使っていますが、CUTにあわせて品物を用意していきます。1 CUTのためだけに、高1美術の教科書を買いに行ったものですよ。

◆撮影監督／江藤慎一郎… この話は冒頭の夢からたくさんの画像が登場し、作る、探す、選ぶなどいろいろと苦労しました。画像を背景などに合わせて貼りこむ作業も大変でした。撮影での画面作りでは、夏の日射し、暑さ、水の冷たさ、そして入道雲の発達具合に注力しています。終盤の青虫くんは、その門出が祝福されず少しかわいそうな気もしますね。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

←↑まだ7月半ばだと言うのに、夏の暑さはもう本番。今はビニールプールだけど、夏休みは海に行くぞー！

Event ゆのの青虫⑤

Back 2期12話（162p）へ

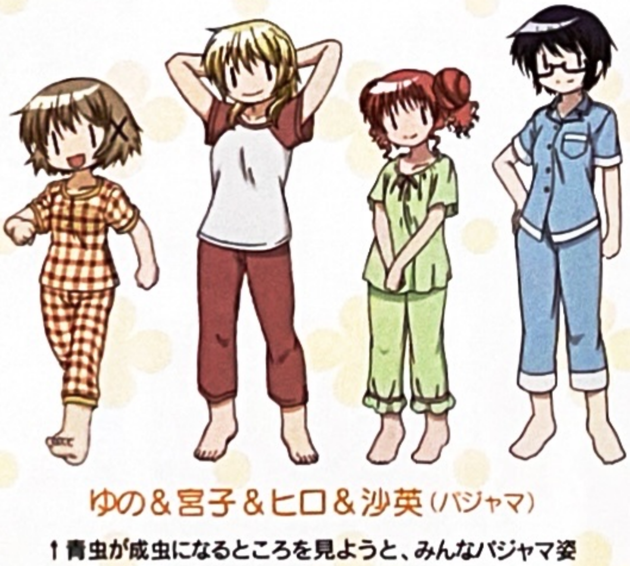
Next 1期2話（23p）へ

→↑羽化して羽ばたいたのは、なんと蛾だった。これはゆのでなくてもショッキングな結末。

↑ゆのは朝の赤いカーテンの意味に気付く。本当に赤点じゃなければいいけど。

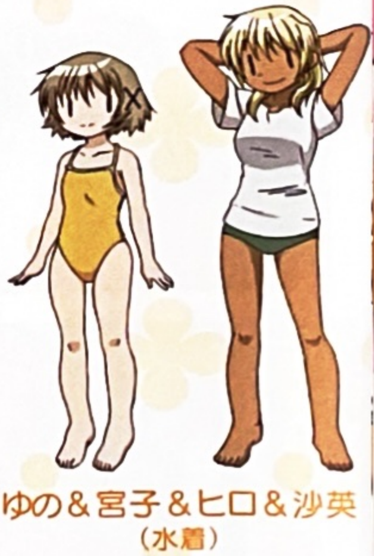
吉野屋先生（私服）

↓長袖だけど涼しげに見えるのは、寒色系の色や質感のせいかも。



ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（パジャマ）

↑青虫が成虫になるところを見ようと、みんなパジャマ姿でゆのの部屋に集まった。



ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（水着）

STORY

体育祭前日だが、台風の接近で雨が降り出し、予行演習もままならない。帰宅後、雨漏りする宮子の部屋で、ゆの達は明日の心配をするのだった。

第7話

10月12日 嵐ノ乾燥剤

脚本：与口奈津江　絵コンテ：高村和宏　演出：飯村正之　作画監督：宮崎修治、瀬月一也

↑沙英に異様な対抗心を燃やす夏目が登場！　いつも沙英につっかかってくる。

↑予行演習中断でみんな手持ち無沙汰。それはさておき「空耳アワー」はなんの貼紙？

→窓を開けると、空は重苦しい曇天。今日は体育祭の予行練習で、明日は本番なのに、大丈夫かな……。

→強風のためにテントがバタンと倒れる！　吉野屋先生は無事？

→沙英はおたふく風邪で去年の体育祭は出れなかった。ちょっと恥ずかしい思い出みたい。

Event
宮子のハンモック③
Back 2期11話（156p）へ
Next 1期12話（58p）へ

←宮子の部屋に、今まで見なかったハンモックがある？　いつから使ってるのか？

←選手宣誓をするのは宮子。今日の練習では「スポーツマンシップを乗っ取り！」と間違えちゃったけど、本番では大丈夫!?

→この回でもヒロの冷蔵庫の絵は、カットが変わることに変化。

→吉野屋先生が持っているこの旗掛けは、1期では結局ナゾのまま。

→後ろの絵の太陽、実は少しずつ昇っている。これはなかなか気付けない。

→ダダマートの商品にはお遊びが幾つか。例えばメソメソしているウサギとか。

アルバムメモ

●体育祭！　ではなくその前日という、裏をかくような回。体育祭当日がどうなったのか気になるけど、それは2期8話までお待ちを。

●夏目は今回が初登場。1期で出てくるのは今回と特別編2話のみだけど、「おほほほ」という高笑いが印象に残る顔見せだった。

うめ先生の視聴日記

ヒロさんの髪が大変なことになった回ですね。この話以降、湿度と関係無しにヒロさんの髪がどんどん意思を持ち始めていきましたね～（笑）。宮子がフローリングをガバってやって、みんながウワってなるところの絵が思い切り良くって好きでした～♥

Event 宮子の部屋の乾燥剤④
Back 1期2話（23p）へ

↑宮子は乾燥剤を撤去することに。でも雨が降る外に放り投げるのは、さすがに暴挙だよ！

↑ワイルドな宮子は、水道の蛇口から直接水を飲みます。さすがにどうかと思いますよ。

↑例によって宮子の部屋は雨漏り中。乾燥剤に水がかかったら……。

Event ゆのと大家さんのすれ違い⑥
Back 2期11話（157p）へ
Next 2期8話（145p）へ

→大家さんがひだまり荘を訪ねてきた。でも大家さんに会ったことのなかったゆのは、そうと気付かずにあいさつができずじまい。

Event 宮子のクジ運と景品②
Back 1期9話（49p）へ
Next 1期12話（61p）へ

↑ダダマートのくじ引きで、宮子はサンマをゲットする。くじ運は強い方みたい。

←ヒロは明日のお弁当作りのためにダダマートへ。ゆのと宮子もお付き合いして、「白を食べつくせ」弁当の材料を選ぶ。

Event 沙英の妹・智花③
Back 1期9話（49p）へ
Next 1期10話（51p）へ

↑沙英の実家から送られてきた荷物の中身は、栗と手紙。手紙には、なにか気になることが書かれていたみたいだけど……？

みんなの服装（10月12日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑みんなもうすっかり秋の装い。沙英以外の3人は、この服装でダダマートへも行った。

スタッフコメント

◆絵コンテ／高村和宏… コンテのお話をいただいたときはまだ１話も完成していなかったので作品の雰囲気や、新房監督の独特のスタイルを掴むのに苦労しました。あれで良かったか不安ですが、楽しく描かせていただきましたので機会があればまたやりたいと思います。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

↑栗をひだまり荘に残すために、宮子のサンマは大家さんに持っていかれてしまった。くじ運は良くても、結局はついてない宮子だった。

↑沙英にバットを持たせ、宮子はピッチングフォーム。こういう栗の割り方は危険なのでマネしないように！

↑空は月もはっきり見える星空。これならグラウンドも乾いて、きっと体育祭もできるはず。明日はがんばるぞ、と誓うゆのたちだった。

↑思わぬごちそうになった夕食。明日の体育祭に備えて、今日は栗ご飯をしっかり食べて力を蓄えよう。

ひだまり豆知識 ゆのの部屋の隅で……

ゆのの部屋には、日によっていろいろな人形が現れては消えたりする。ここに挙げたほかにも、1期5話では繭やサナギ、さらにはヤカンやぬいぐるみから謎の成虫が生まれてきたりもしていた。ゆのたちのおしゃべりだけでなく、部屋の隅々に注意をしておくと、他にも思わぬ発見があるかも。文字通り隅から隅までお楽しみ下さい。

↑１期８話の冒頭では、このほかに黒猫の人形が。女の子の部屋という感じ。

↑１期９話では踏まれちゃった。この回は消えたり窓の外に現れたりもする。

↑他作品で見かけたようなキャラの人形も。これは２期６話で登場。

↑これは２期11話。不思議な泣き声に怖くなったゆのが逃げ出すのと同じポーズ。

STORY

沙英は小説の〆切りに追われていた。ゆのと宮子は沙英のために買い物に行ったり、ヒロは料理を作ったりして、みんなで沙英をバックアップする。

第8話 3月13日 3%の希望

脚本：与口奈津江　絵コンテ：藤本ジ朗　演出：飯村正之　作画監督：宮崎修治

←そんなゆのを、宮子が訪ねてきた。いっしょに絵を描こうということになるけど。

←↑早起きして何か描こうと思っていたけど、寝坊はしちゃうし筆は進まないしで、ゆのは少し気落ちする。

→宮子作の猫は、牙があって「すっごい強い」らしい。言いようのない才能を感じる一枚。

←沙英の「庭側から来て」というメールに、宮子はジャンプ！　でもゆのは……。

←宮子のストーリー作成カードからは、とんでもないお話が生まれちゃった。これは沙英でも無理！

→沙英は恋愛小説を執筆中。だけどなかなか進まず、大変そう。

→うめ先生は「謎の生物」らしい。ご近所でウワサのUMAといったところ？

→RPG風画面の中には、うめ先生の姿も。あと一応、校長先生は学校に住んでません。

アルバムメモ

●ゆのがうらやむほど、ヒロと沙英の関係は理想的。と言うか、もはや夫婦と言っても過言ではないのでは（笑）。沙英がヒロに支えられながら小説を書き上げたように、ゆのも宮子のおかげで絵を完成させる。時系列の上では1期で最後のエピソードなせいか、ゆのと宮子の仲の良さも、この回が一番かも？

→ゆののメールの履歴には「うめ先生」や「新房さん」。すごい交友関係（笑）。

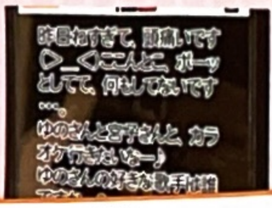
うめ先生の視聴日記

坊主が一野原でーサバを一蒸すっ！　ヒロ沙英ラブラブ回ですね（笑）。アフレコ現場で見たときに、宮子がゆのにゴハン作ってくれる人大歓迎～て言う場面の絵も相当ラブラブで、あ、ここはラブ分控えめで…！　ってお願いした記憶があるようなないような（笑）。

↓→ヒロが言うには、沙英は自分の小説の挿絵を自分で描くために、美術科を選んだとのこと。自分のイメージを大切にしたいみたい。

→沙英に頼まれてゆのと宮子は買い物へ。立ち寄った本屋で、沙英が書いている雑誌を見つけた。

→ゆのに「智花ちゃん」からのメールが届く。だから、その智花ちゃんっていったい誰なの？



Event 自転車少年シンヤくん③
Back 1期5話（36p）へ
Next 2期4話Aパート（129p）へ

テレビで話題になっていた自転車少年だけど、ズルをしたために、旅をやり直しているらしい。こんな調子でゴールできるのか？

Event 沙英の妹・智花⑩
Back 2期特別編(166p)へ
Next 2期4話Aパート(129p)へ

↑通りがかった吉野屋先生がモデルになりたがる。この人はいつもいつも……。

↑校長先生が買い物袋を持って校舎へ。まさか学校に住んでいるの？

↑沙英も、沙英を支えるヒロもがんばってる。ゆのも気合を入れて、今日は絵を描こうと決意。

みんなの服装（3月13日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑季節はもう春だけど、ずっと外にいるには少し寒い季節。ゆのと宮子は上着を用意して写生＆勉強をしていた。

スタッフコメント

◆脚本／与口奈津江… ゆのは一年の締めくくりに、どんな絵を描くのかなと考えましたが、一年を過ごしたひだまり荘の絵にしました。宮子なりに、ゆのをサポートしてます。膝掛けにとバスタオルを持ってきたり…。ヒロの完璧なサポートと比べると何とも…ですが、ゆのが迷ってしまったときに、背中を押してくれるのは宮子なんだろうと思ってます。ゆのと宮子が本屋で立ち読みした沙英の小説は、姉妹の話です。クリスマスに智花と会って、それで沙英が書こうと思ったんじゃないかというイメージです。ちなみに、ゆのの方が宮子より読むスピードが遅いです。

↓バルコニーから落ちた状況を思い出して赤面。見ていた宮子には忘れてほしい……。

↑→ひと眠りする沙英を、ヒロが優しく膝枕。ゆのでなくてもうらやましく思える、ステキな関係の２人。

→ゆのの絵も完成。思わずガッツポーズ！

←↑沙英の小説が書き上がったので乾杯！ラストの告白シーンには、沙英の実体験が活かされている……かもしれない、かもしれない。

次回予告

やまぶき高校で待ってます。きっと見に来て下さいね！

↑この絵が完成したのは、宮子のおかげ。自分たちも、ヒロと沙英と同じくらいいい関係だと思うゆのでした。

Event 宮子のクジ運と景品⑥

Back 1期1話(20p)へ
Next 2期4話Aパート(128p) へ

↑1期1話（1月11日）で宮子が応募した「北海の恵み」が、なんと当選！さあ、どうやって食べようかな。

アイキャッチミュージアムⅢ号館

EYE CATCH MUSEUM #08-10

校長先生の休日

↑←校長室でくつろぐ校長先生？ でも本当は学校に住んでいるわけではなかった。

連想してみました

↑沙英が逃げる相手は借金取り……シャッキン鳥……シャッキーン!! な鳥？

いかくん

↑売ってたのは「イカのくん製」だから「いかくん」で、「イカ君」ではありません。

スポーツの秋

→野球をするヒロ？ スポーツはダイエットにもいいだろうけど……。

ちょっとお休み

←ヒロに膝枕されて仮眠する沙英を見て、ゆのたちもちょっとお昼寝？

富士山

↑銭湯の壁に書かれていた富士山。ＴＶ放送時にはこの富士山は色々とありまして……。

クラスメイト

↑第８話に登場して岸さんと話していた、ゆのと宮子のクラスメイト、ＡさんとＢさんです。

トラップ

↑天井から落ちてくるタライには気をつけましょう。沙英の部屋の天井にも……。

第9話

9月4日 裏新宿の狼

STORY

やまぶき高校卒業生の岸麻衣子が学校にやってきた。映画監督になろうとがんばっている岸の話を聞き、ゆのたちも自分の将来の夢の話をする。

脚本：久保田雅史　絵コンテ・演出：石倉賢一　作画監督：西尾公伯

→↓落とし物の宝くじを落とし主に返すと、お礼に一部を分けてもらった。

↑さわやかな朝は絶望的な叫び声から……。ものすごく趣味の悪い宮子の目覚ましでした。ちなみに時計の針の裏の絵は、３種類画面に出ています。

↓→宝くじの話から「カレー何食分？」とか「庭に迷路を造ろう」とか。

↑→代わりの先生→産休→いかがわしい想像。吉野屋先生は今日もヘン。

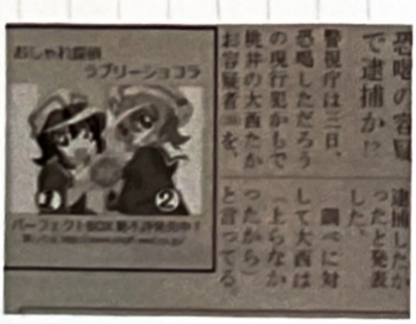
→「スポーツの秋！」なだけでなく、「芸術の秋！」なうえに「独唱の秋！」（それは読書）。とにかく秋到来で、校長先生はテンション高め。

アルバムメモ

●ゆのにとって励まされる存在となる岸麻衣子が登場。ゆのはこの後、たびたび、彼女の言葉を思い出すようになる……。ところで気になる岸さんの映像作品の内容は、２期９話Ｂパートをどうぞ。

●ゆのの部屋にある人形が、消えたり窓の外に現れたりで、いつも以上にせわしない。ちょっと気を払って追ってみよう。

→ヒロさんは漫画雑誌の懸賞で色紙を当てたことがある。しかもこのアニメの原作者さんじゃないですか！



→宝くじの結果を調べた夕刊には、謎の記事がたくさん。中には「絶不評発売中」のこんなＤＶＤの広告も。

→練り物の画像の中には、ちくわの「竹林」なんてお遊びが挟まれている。

うめ先生の視聴日記

岸ちゃん。岸ちゃんファイっ❤
そして宮子がゆのっち励ます回。１期は宮子の美味しい場面が多いな～♪

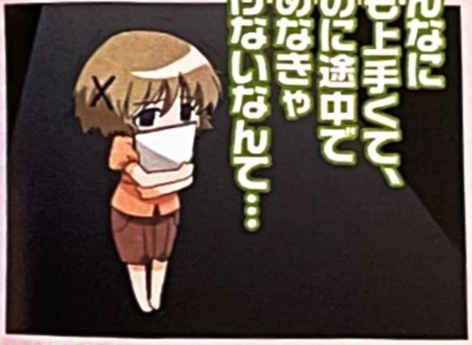
出会うもの全てがきっかけになりうると思うの

↑自分の夢が見つかるか心配するゆのを、岸さんは励ましてくれた。隣で吉野屋先生も思わず感動～。

↑夢は何かと聞かれたゆのだけど、答えることができない。改めて、自分の夢は何だろうと自問するきっかけになる。

↑学生時代の岸さん。クラスの劇（吉野屋先生のかぐや姫）を記録する係になったことがきっかけで、映像の世界にひかれ始めたという。

こんなに絵も上手くて、なのに途中でやめなきゃいけないなんて…



↑菜の花の絵を描いた人は、事情により学校を辞めていた。こんなに上手なのに……。

↑→掃除中に、ゆのは上手な菜の花の絵を見つけて、拾っていた。

↑お昼はみんなで学食へ。あれ、外にはどこかで見たウサギが……？

みんなの服装（9月4日）

ゆの（白衣）

↑ゆのが掃除の時に着ていた白衣。元々は沙英のお古。

宮子（中学時代の制服）

↓掃除での格好。なぜ制服なのかの理由は、２期２話で。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑もう夏も終わりということで、そろそろみんな秋の装い。よく見ると沙英はヘソ出しルック。

スタッフコメント

◆絵コンテ・演出／石倉賢一… ポイントは、やはりゲストの岸麻衣子でしょうか。両親の恥ずかしい映像や「裏新宿の狼」などといっしょに、可愛らしい彼女をめでてください。そして最大の見どころはゆのと宮子の入浴シーンでしょうか!! 特に宮子が頭からお湯をかぶるシーンはギリギリを見せるのが大変でした（佐藤さんありがとう！）。そしてお約束ですが、無理を言ってDVDでは湯気をすっきりにしてもらいました（新房監督ありがとう！）。人形ネタやおでんにも注目してほしいそんな話数です。

P.S. パロディはちょっとやりすぎたかも……。

Event 宮子のクジ運と景品① Next 1期7話（41p）へ

宮子のクジ運の良さは練り物限定。でも知っての通り、後に練り物じゃない懸賞に当たる。

沙英の妹・智花② Back 2期6話Aパート（137p）へ

Next 1期7話（41p）へ

沙英がかかってきた電話に「ダメったらダメ」と繰り返していたけど、相手は誰？

↓ヒロのダイエットには役に立たず、「在庫処分」ということで、みんなにゼリーをお裾分け。

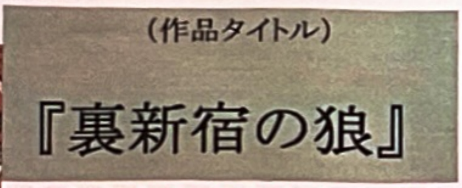
Event 宮子のハンモック① Next 2期11話（156p）へ

↑宮子がハンモックを買ってきた。でもこれから寒くなるし、ちゃんと使うのかはあやしい……。

←朝もらった宝くじは残念ながら当たらず。残念だけど、ドキドキできてちょっと楽しい出来事だった。

Event ヒロのダイエットゼリー④ Back 1期3話（27p）へ

Next 2期6話Bパート（138p）へ


（作品タイトル）

『裏新宿の狼』

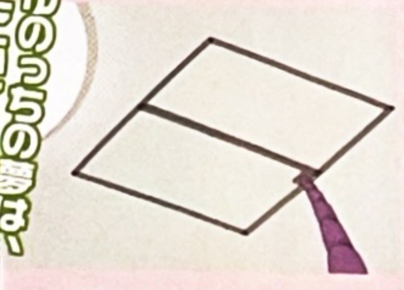
←↑新聞に岸さんが賞をとった映画が載っていた！ 恋愛もののはずなのに、それっぽくないタイトルなのはなぜ？

次回予告

やまぶき高校で待ってます。きっと見に来て下さいね！

↑→シャンプーが切れたからと、宮子はゆのとお風呂に入る。そのまま泊まると言い出したのは、宮子なりの励ましかも。

Event みさと先輩とトラップ④ Back 1期3話（28p）へ



←↑ゆのと宮子のいい話……では終わらず、最後は沙英の頭にタライが二連発。やっぱりみさと先輩の仕業？

第10話

11月3日 ゆのさま

STORY

今日は学園祭。未完成になってしまったけど、ゆのの個人展示も幸い好評。にぎやかな一日が終わったあとは、みんなで銭湯へ行くことに。

脚本：与口奈津江　絵コンテ：椎谷太志　演出：尾石達也　作画監督：守岡英行

→絵を見に行きたいけど劇の時間が……。モネ（画家）とシェイクスピア（戯曲家）の間で板挟みになる。

↓→朝……だけど、ここはゆのの部屋ではなく教室。学校に泊まり込んで展示の絵を仕上げようとして、そのまま眠っちゃった。

↑どうせなら、糸車の針で眠り続けてしまえば良かったと自虐的になるゆの。それは「シンデレラ」ではなく「眠れる森の美女」です。

→未完成のまま展示された自分の絵が気になり手が震え……演出ではありません。

↑ヒロと沙英の演劇は大好評だったとのこと。２期４話では、２人の練習風景も見られるので、合わせてご覧ください。

アルバムメモ

●体育祭は当日ではなく前日だったが、やまぶき祭はちゃんと当日が描かれた（笑）。ちなみにやまぶき祭当日に至るまでの経緯は2期4話Bパートで描かれている。
●後半の銭湯は、いわゆるお風呂回なのに、サービス過剰にならないところが『ひだまり』っぽい？

→展示物の中には実在の名画もいくつか。この画面では、左からルノアール、ドガ、マネ、モネの絵となっている。

→ゆのが吉野屋先生に相談をしようとしたシーンは、見ての通り原作からの引用。2巻103ページ「発見」より。

→吉野屋先生作『折れて欲しかった』。ステージ開催で折れてくれなかった分、こういう形で折れてもらった……という恨みがましい一品。

うめ先生の視聴日記

色々と物議を醸した回ですが（笑）。最終的にはすごく大好きな回です♥ 可愛かった♥ お風呂での恥じらいのない全裸宮子をアニメでやって頂けたことが非常にうれしかったですねー（笑）。

↓宮子が展示用に描いたのは、なにを描こうかと悩むゆのの姿だった。ゆの本人にも気づかれないうちにこれだけの絵を描くとは見事。

↑→ただ間に合わなかっただけなのに、深読みされてしまって高評価。でもゆのにとってはやっぱり未完成。「この経験が自分を大きくしてくれると信じて……」とつい涙ぐむ。

←↑沙英もヒロも、ゆのが個人展示に励むのを見守っていた（2期4話Bパート）。でも今はすべてが終わってのんびり。まさに「祭りの後」だ。

Event 沙英の妹・智花④

Back 1期7話(41p)へ
Next 1期12話(58p)へ

↑沙英に届いたFAXは「なんで返事くれないの!?　行くっていったでしょ!!!」。沙英はとぼけていたけど、いったい誰から？

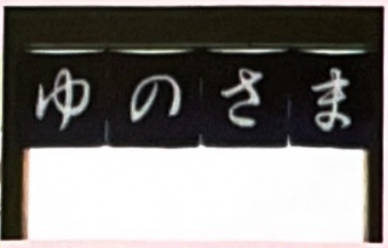
↑でも、吉野屋先生が着替えている更衣室の外には校長先生がやってきて……。この後何が起こったかは、想像にお任せします。

吉野屋オンステージ♪

←↑校長にダメ出しされたけど、ゲリラステージにすればバレないで済む！ということで「吉野屋オンステージ」を始めてしまった吉野屋先生だけど、生徒たちはポカーン……。ちなみにサンバの衣装は、1期3話のアイキャッチでも着てました。

スタッフコメント

◆演出／尾石達也… 自分はいついかなるときでも、全力で作品つくりに取り組んでいるつもりです。あの当時は、さながら険しい山の頂を目指して、必死で登山しているようでした。余談ですが、ずっと文房具で統一してきたサブタイトルの写真が、この回で初めて建物（銭湯）に変わります。以降、11話で、エンパイアステートビルから見たニューヨークの街並み、12話で地球の写真になるのは、カメラがどんどん上昇していって、宇宙にでていくイメージでつくりました。



←↑銭湯「正の湯」ののれん。……右から読むのであって、けっして「ゆの様」ではありません。

↑祭りが終わったあとで淋しくなった＆ゆっくり疲れを癒やしたいということで、沙英の発案により銭湯へ。綺麗な星空の中に、銭湯の長い煙突が見えてくる。

↓ゆのが頭を洗うために外した髪留めを宮子がつける。「宮っち」誕生？

↑広い銭湯のお風呂には、ひだまり荘とはまた違った良さがある。初めて来た宮子とゆのは、大喜び。

↓ちょっと服を脱ぐのを恥ずかしがる沙英とヒロだけど、宮子は何も考えず……。

みんなの服装（11月3日）

ヒロ＆沙英（劇の衣装）

↓拳銃にくわえタバコという男装の沙英。ヒロはその相手役のヒロインとか……？

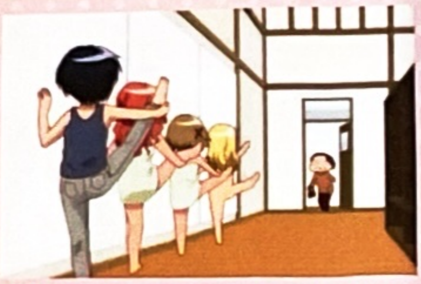
ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑吉野屋先生は文化祭で気合が入っていたのか、フリフリなスカート。ゆのたち４人の服装は帰宅後のものなので、ラフな感じだ。

↑宮子が馬役で劇に出演していたときのことを回想。みんなその名演技にびっくり？

↓→のんびりとお風呂に入りながら雑談。このとき沙英がさりげなく「妹と（お風呂に）入っていた」と、智花のことに触れている。

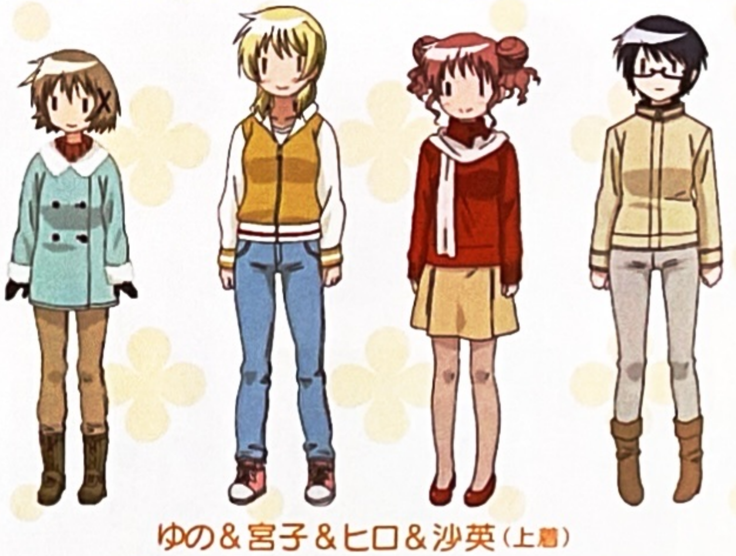
↑自室のお風呂を沸かしたまま銭湯に行ってしまっていたゆのは、自室でまたお風呂に。間違いなく心底体が温まったはず。



↑大きな全身鏡の前で、ついバレエみたいにポーズを取ってみる。でも宮ちゃん、裸でそのカッコは……。

次回予告

やまぶき高校で待ってます。きっと見に来て下さいね！



ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（上着）

↑右ページの私服の上に、みんなそれぞれ上着を羽織っている。宮子と沙英の上着はちょっと男物っぽい。

第11話

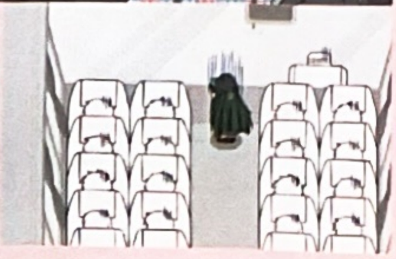
4月28日 まーるキャベツ

脚本：久保田雅史　絵コンテ・演出：森義博　作画監督：中山初絵

STORY

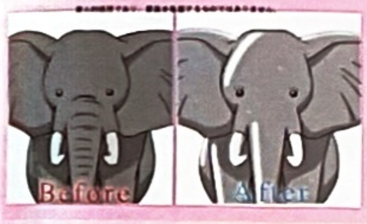
スケッチの授業でみんなで動物園へ。たっぷり楽しんだあとゆのたちが帰宅すると、ひだまり荘の前で倒れそうになっている吉野屋先生を見つける。

←楽しみにしていた校外学習の日のため、目覚ましが鳴る前からお目々パッチリのゆの。

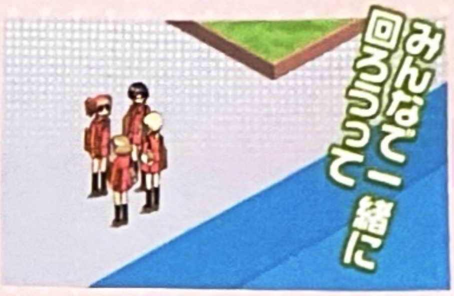


↑→おとなしくしていればいいのに、バスガイドの真似なんてするからすぐ車酔い……。

→酔い止め対策万全のゆの。俗説なんかも含まれているけど、プラシーボ効果があればOK？



↑→ゾウも角質層のお手入れは大切？でも乳液の瓶が何本くらい必要になるんでしょうか。



↑動物園に到着。先に到着した沙英とヒロは、わざわざゆのたちを待っていてくれた。

→アングルの切り替えもあってわかりにくいけど、お菓子の盆がだんだんヒロさんの方へ寄っている？

→全部で4つ出てくる「コーチョーをさがせ！」はDVDの一時停止でぜひ探してみてください。

アルバムメモ

●1期では、時系列上の一番最初のお話。まだ吉野屋先生のことをよく知らないゆのもそうだけど、先生がどんな人か分かってきているはずの視聴者も、その伝説には驚かされたはず。なんという吉野屋オンステージ回（笑）。

●吉野屋先生が話していた「天井からタライが落ちてくるような、妙な仕掛け」を作る住人とは、もちろん何かとウワサのみさと先輩のこと。ゆのは1期3話（6月17日）にこの被害に遭うことに。

●ゆのが話題にした入学式後の席決めのエピソードは、詳しくは2期7話で。

●この回もヒロの部屋の冷蔵庫の絵が変化する。気をつけて見てみよう。

うめ先生の視聴日記

行きのバスの吉野屋先生がダメダメで可愛かった…(笑)。後半も合わせて、かなり吉野屋先生回でしたね♪ 沙英さんのトラウマ昇華シーンが分かりやすくなってて有り難かったな～♪　吉野屋先生のダメさと沙英のアホさを楽しむ回、かな？(笑)

↑宮子の弁当はキャベツまるごと1個。これにかぶりつくというのはたしかに動物っぽい？

←恋愛の話となるとすぐにテンパる沙英。デートでヌーの大群を食べたくらいですから。

↑ライオンもネコ科だから、コタツで丸くなる？　確かに生息地からして、寒さには強くなさそう。

↑まだ車酔いが治らないという吉野屋先生は、バスを使わずひとりタクシーで学校へ戻るのでした。

→動物は苦手といっていたけど、「素敵」と言われてうれしさのあまり昇天してしまう沙英だった。

↑宮子は直立するカバを描いた一方で、ゆのは輪投げの的になるキリンを描いていた。

みんなの服装（4月28日）

吉野屋先生（バスガイド）

↑車に弱いとわかっていながら衣装を用意する根性は見上げたもの。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑そろそろ暖かくなってくる時期ということで、ゆのはちょっと早いけど半そで。

スタッフコメント

◆絵コンテ・演出／森義博… 吉野屋先生のコスプレとアクションは、動いていないと各方面で言われ、がんばってたのですが……。吉野屋先生のキャラにのみ注目が集まり……。※あと、「虎」と「馬」のアクションで「トラウマ」だとわからずに作業していました（汗）。

…先生って何歳？

↑学園祭で300部即完売した写真集には、保健室の先生にレースクイーン、あほし蛙（漫画『たまごなま』のお父さんとしてもおなじみ）姿などなど。実は松屋ジョナサンという名前のネットアイドルだというウワサも。

→↓乗り物酔いの吉野屋先生を、みんなでヒロの部屋に運び込むことに。

ひだまり荘かぁ…懐かしいわ〜

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

永遠の17歳♥

↓→財閥の令嬢だとか、パンチで岩を砕いたとか、数々存在する吉野屋伝説。本人もそれをあおるため、さらに話は膨らむ。

→やまぶき高校に入学して初めてのイベントを無事に楽しく終え、さらに今後の学校生活への期待が膨らむゆのだった。

これから一年間楽しく勉強できそう…

アイキャッチミュージアムⅣ号館

EYE CATCH MUSEUM #11-12

乗り物酔いにご注意

↑→スナップ写真風のアイキャッチ。結局バスに酔わなかったゆのに比べて、吉野屋先生はすっかりグロッキー。

落とし物

↑吉野屋先生の帽子。ふらついていたときに落としたのを、ゆのたちが拾ったようです。

智花ちゃん、やまぶき高校へ

↑→美術は苦手なため受験する予定はないけど、学校の雰囲気はとても気に入ったようだ。

動物園？

↑サファリパークでもまず見られないような光景も混じっている気がしますが。

智花ちゃん、ひだまり荘を堪能

←↑年齢が近いためか、ゆのや宮子とはすっかり仲良しになれた智花だった。

STORY

智花がひだまり荘に遊びにやってきた。智花のやまぶき高校見学につきあったあとは、みんなでクリスマスの買い物へ。にぎやかな一夜になりそう。

第12話 12月25日 サヨナラ…うめ先生

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ：上坪亮樹、椎谷太志　演出：飯村正之
作画監督：西田美弥子、古川英樹

↓「部屋が綺麗じゃない」「可愛くない」と憎まれ口を叩く智花。沙英もついムキになって応じてしまう。

Event 沙英の妹・智花⑤
Back 1期10話(51p)へ
Next 1期1話(19p)へ

↑今までひだまり荘に遊びに来たがっていたことが、何度か描かれてきた智花。念願かなってついにひだまり荘を訪問！

↑気にしていないようで、実は智花がいつ来るか沙英は気になっている？

Event 宮子のハンモック④
Back 1期7話 (40p) へ
Next 2期13話 (168p) へ

まだ使っているかはわからないけど、結局冬でも宮子の部屋にはハンモックがかけられている。「まさに美術科」という雰囲気がするから智花は気に入ったらしい。

→ゆのや宮子の部屋を覗く智花。どうやら一人暮らしに憧れがあるようだ。

↑智花の携帯電話待ち受け画面が歌舞伎役者なのを見て驚く、バッテンかんざし風のゆの。

→滞在中に撮影した智花の写真は、1期1話のコラージュの宿題の素材として使われることに。

→クリスマスにゆのたちが立ち寄ったお店の棚は、画面が切り替わることに商品が変わったりする。

アルバムメモ

●沙英の妹・智花は、1期『ひだまりスケッチ』最大の伏線。最終話でついに、これまで引っぱりに引っぱってきた彼女のお話が描かれたわけだ。

●帰省のためにゆのたちはしばらくひだまり荘を離れることになる。また今回は最終話でありながら、1話につながるお話でもある。ラストで、これから起こる1話の出来事がイメージとして出てくるが、まだ続くひだまり荘での日常と、最終話の余韻の両方を感じさせてじみじみさせられる。

●61ページの次回予告は、特別編1話についての予告。これは「特別編」のDVDに、映像特典として収録されている。

うめ先生の視聴日記

最終回、そして、智花登場！　この回は脚本さんにご苦労をおかけしました（汗）。智花は原作に出ていないアニメオリジナルで、しかし私の脳内に設定は存在している、という実に厄介なキャラでして。そのため設定のすりあわせが難しく、私もたくさんセリフを書かせていただいたりしました。改稿を重ねていただいて、おかげさまですごく思い出深い、好きなお話になりました♪　感謝です！　絵も声も可愛くって、智花は見事な最終兵器になれました❤　最後のゆのっちの、雪のシーンでは見事に泣きましたよ！（笑）

↓→学校には校長サンタ、そしてひだまり荘には吉野屋サンタが現れた！　吉野屋先生の衣装はもちろん自作。

↑智花にせがまれてやまぶき高校を訪問すると、吉野屋先生に遭遇。先生はデッサンの授業に使う（という名目の）衣装を見せたかったみたい。

←吉野屋先生もいっしょにケーキをいただく。智花はその衣装に興味津々。

↑沙英と智花のケンカの原因は、沙英が智花にサインを書いてくれないためだという。ちょっとしたことでついケンカになってしまう2人……。

↑→夜、沙英の部屋から飛び出してきた智花が、ゆのの部屋に。そこで宮子が発案したのは、どんちゃん騒ぎで沙英をおびき寄せる、天の岩戸みたいな作戦だった。

ひだまり豆知識　うめ先生の日常

ひだまり荘の屋根の上に住んでいる謎の生物こと、うめ先生。原作者の蒼樹うめ先生の自画像がアニメに登場した姿であること、そして先生本人が声まであてているということはみなさんご存知の通り。そんなうめ先生の屋根の上の日常から、印象深いものを、ちょっと覗いてみよう。

↑七夕の２期12話では織姫になって飛んでいった。あんまり似合ってない……。

↑智花が遊びに来た２期５話では、うめ先生も餃子を美味しくいただいてました。

↑１期特別編２話。ヒロの部屋でお菓子を食べてたりテレビに映ってたり。

↑１期11話では「（吉野屋）先生」の呼びかけに、慌てて原稿に取り掛かっていた。

スタッフコメント

◆作画監督／古川英樹… 初めて作画監督をやらせていただいたので、非常に思い入れのある作品になりました。なので、１期12話のラストで泣けます（笑）。加えて、２期もシリーズ通して、作品に関われて本当に良かったと思います。ありがとうございました。

Event 自転車少年シンヤ君①
Next 1期5話（36p）へ

↑テレビ番組の企画で、シンヤ君という男の子が福岡を目指して自転車で東京を出発！ 無事ゴールできるのか？

↑みんな明日に帰省するので、再会は年明け。その前に、すっかりクリスマスの町に、宿題用の画材を買いに出かける。

←みんな、ゆのの部屋で雑魚寝して翌朝になっちゃった。約束があるため慌ただしく出て行った智花だけど、短い滞在をとても楽しんだみたい。

↑吉野屋先生のケーキを食べつつ、お正月の話で盛り上がりながら、みんないっしょの今年最後の夜を過ごす。

↑実は沙英は、ゆのの部屋でみんな寝ていたとき、こっそりとサインを書いて智花の荷物に忍ばせていたのだった。

↑大家さんによれば、画材屋の紙は年明けになれば２割引らしい。ゆのは今は買わないことにするけど、これが失敗の元に……。

みんなの服装

12月24日～25日

ゆの&宮子&ヒロ&沙英（私服&上着）

→24日、クリスマスイブのゆのたち。コートやジャケットは翌日も上着として着るものだった。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

宮子のクジ運と景品③

Event

Back 1期7話（41p）へ
Next 2期13話（169p）へ

宮子が「冬の練り物大作戦!!!」のクロスワードの懸賞に挑戦している。これは外れたようだけど、この先もっと大物が当たるからいいよね。

ヒロのダイエットゼリー⑥

Back 2期6話Bパート（138p）へ
Next 2期13話（170p）へ

効果がないと知って、在庫処分までしたのに、ヒロの部屋にはやっぱりダイエットゼリーが。ついまた手を出してしまった？。

↑みんなでクリスマスをずっといっしょに過ごしていたけど、その日も終わり……。

→また来年元気に顔を合わせることを願って、ひだまり荘の1年が暮れていく。

ヒロ＆沙英（パジャマ）

↑夜にゆのの部屋で騒いだときは、みんなパジャマ姿だった。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑こちらは25日のクリスマスの町中に、みんなで出かけたときの服装。吉野屋先生は24日にサンタガールになる前、学校で会ったときの服。

特別編 1話

STORY

みんなでプールへ遊びに行ったゆのたち。そしてたっぷりプールを楽しんだあとは、冷えたスイカを美味しくいただいて、幸せな気分。夏って楽しい～♪

8月11日 そして元の位置に戻す

脚本：与口奈津江　絵コンテ：帆村壮二　演出：飯村正之　作画監督：中山初絵

↑今日これからプールに行こう！学校指定の水着しか持ってない宮子には、ヒロがお古の水着を貸すことに。

↓そうめんと聞いて、流しそうめんやる気満々の宮子。その竹どこから持ってきたの？

↑気合を入れてびっくり水投入！思わず「ビックリー！」と言いたくなるのはよくあること。

→スイカを持ってひだまり荘を訪れた大家さんに向かい、校長先生が大ジャンプ！……何をするかと思えば普通のあいさつでした。

Event 吉野屋先生のアサガオ観察③
Back 2期9話Aパート(148p)へ
Next 1期2話(23p)へ

↑アサガオの観察を毎日やらされて、泣きたい気分の吉野屋先生。前（1期2話）に夏休みなのに学校にいた理由はこれだったのね。

アルバムメモ

●テレビ放送時の好評を受けて制作されたのが、2つの特別編だ。どちらもテレビ（BS-i）で放送されたものだが、こちらの1話は、イベント「TBSアニメフェスタ2007」で先行上映された。
●夏らしくみんながプールで泳いで遊ぶ回ということで、ゆのたちはもちろん、吉野屋先生に大家さんまで水着で登場（校長先生もが）。特別編ということで、テレビ以上にサービス過剰？
●校長先生のジャンプは、『ひだまり』らしからぬすごいアクション。こちらも特別編ということで、テレビ以上にアクション過剰？

→冒頭のひだまり荘爆破は、シャフトと関係の深い脚本家・高山カツヒコさん（乙種火薬類取扱保安責任者の資格所持）のお仕事。

→『ラブリーショコラ』がどんな昼メロなのか、この再放送を見ればわかる？ ちなみに声優は斎藤千和さんと神谷浩史さん。

うめ先生の視聴日記

ひだまり荘爆破の回ですね！（笑）　立体ひだまり荘の制作から爆破まで、メイキングを見てみたくて仕方ありません。この回を初めて見たのはＴＢＳアニメフェスタの舞台袖で、お客さまの反応を聞きながら見ることができたので、自分にとって何だか特別な回で…、まさに特別編☆　４人が花火している絵がすんごい素敵だった〜…♥♥♥

↑大家さんからもらったスイカをお風呂で冷やす。プールから帰ってきたら冷えてるかな？　楽しみ楽しみ。

↑スイカのビーチボールをポカポカ叩いてる所を、沙英に見られて恥ずかしそうなゆの。

Event
ゆのと大家さんのすれ違い③
Back ２期10話(152p)へ
Next １期２話(23p)へ

↑大家さんがやってきたけど、タイミング悪くゆのは庭へ行ったところ。またしても会えず……。

↓寝ているゆのが浮かぶことを確認。その後、元の位置へ戻す。

←浮き輪の空気を抜かれ慌てるゆの。「トンカチ」だって言ったのに〜！

↑流れるプールでは、浮き輪から先に入れるべきか自分が先に入るべきか、それが問題だ？

→大きなプールに驚く宮子。サンオイルも塗っていざ太陽の下へ！　プールサイドでは走らないでね。

みんなの服装（８月11日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑夏らしく、みんな涼しげな格好をしている。アサガオに水遣りをしなければならない吉野屋先生は、麦藁帽子で陽射し対策。

ゆの（パジャマ）

↓ゆののパジャマは紺色のチェック柄。袖も丈も短くて涼しげ。

スタッフコメント

◆演出／飯村正之… 特別編の編集の日、スタジオへ向かう途中に交通事故。私は原付、相手は乗用車。即入院のところを、足を引きずって編集作業へ。その甲斐あってか良いフィルムに仕上がったと思います。そしてTBSフェスタの先行上映へ。お客さんといっしょに見て盛り上がるというライブ経験ができて楽しかったです。

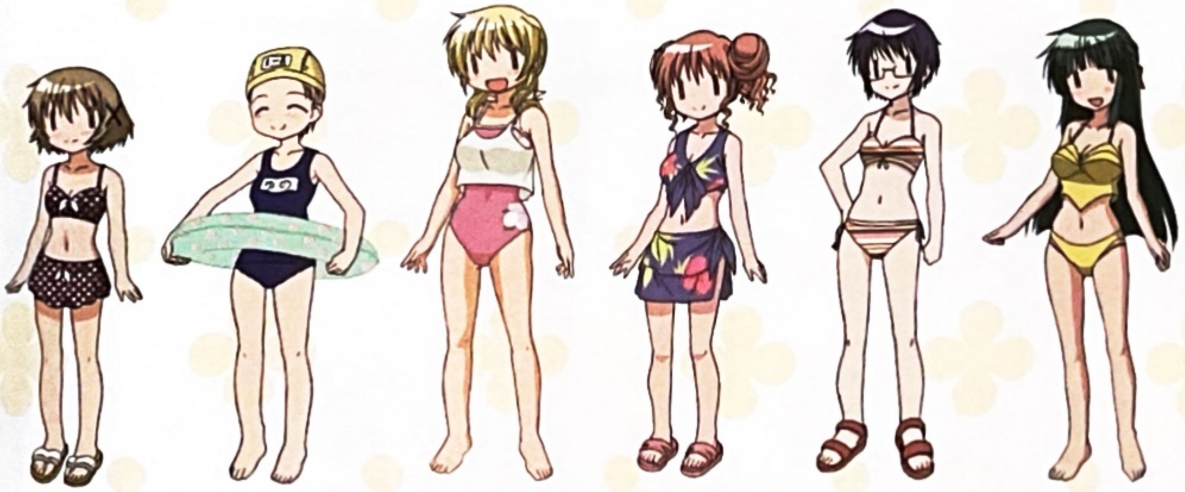
↑アサガオの観察を終えて、学校のプールを楽しむ吉野屋先生。こういうご褒美も必要だよね。

↑四者四様のウォータースライダー。なんだかんだでみんな楽しそう。沙英さんよりヒロさんのほうが水しぶきが大きいなんて、言っちゃダメ。

→プール帰りのバス停にて。もうすぐ夜だし早く帰ろう。スイカ冷えてるかな。

→カキ氷とポテトを食べながらひと休み。プールでみんなで食べるととても美味しいのはなんでだろう？ ヒロさんはお腹気にしすぎじゃない？

みんなの服装（8月11日）



ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（水着）

↑ヒロさんの水着が寒色系な理由は、最後の「おまけ」コーナーで明らかに。ゆののスクール水着は、帽子の部分だけしか実際には登場していないけど、せっかく設定画があって似合っているので掲載。

屋根の上の12か月

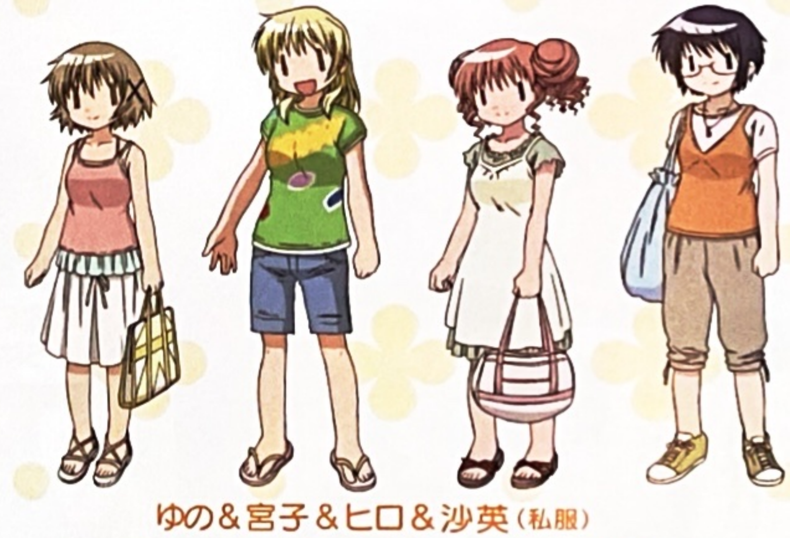
←↑スイカも食べたし線香花火をしながら夕涼み。明日からは帰省で、みんな少しの間離れ離れ。

←↑大人のみなさんも息抜き。でもこんなお遊びでも、校長先生にやりこめられてしまう吉野屋先生でした。

↑本編終了後の「おまけ」。ヒロさんが今年買った水着がなぜ寒色系だったかを話そうとした宮子教授だけど、ヒロさんの逆鱗に触れてしまう……。

次回予告

やまぶき高校で待ってます。きっと見に来て下さいね！



ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑外出のときはこの服装。宮子はヒロさんに水着を借りるから手ぶら？沙英さんだけスニーカーで、他の３人はサンダル履き。

アイキャッチミュージアムV号館

EYE CATCH MUSEUM SP01-SP02

夏だ！ 水着だ！

↑→みんな水着姿でポーズ！ ヒロは小道具に、沙英のメガネを借りてみました。

噴水？

↑なぜかひだまり荘の物置にあった、噴水らしきもの。原作のコマより。

姉妹で水着

↑本編では出番がなかったけど、智花ちゃんも水着姿でアイキャッチに登場。

夏はやっぱりみんなでスイカ

↑←みんなで食べるスイカって、なんであんなに美味しいんだろうね。夏もスイカも最高！

躍動感

←疾走する校長先生。非常に軽快なビートを刻みます。

捨てないで〜

↑もしヒロに本当に彼氏ができたら、沙英はこんな風に捨てられちゃう？ うーん、ちょっと想像つかないかも。

夏だ！ うめ先生だ！

←↑サーフィンしたり、水着になったりと、うめ先生も夏を満喫。

11月27日 そこに愛はあるのか？

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ・演出：上坪亮樹　作画監督：伊藤良明

STORY

ヒロがラブレターをもらった。ゆのと宮子は、相手はどんな人だろうなどといろいろ想像して盛り上がる。一方沙英は、ひとり動揺してしまう。

↑沙英さんがヒロさんから手紙をもらったと、ゆのと宮子は勘違い。沙英は激しく挙動不審に。

↑→ヒロの下駄箱の中にラブレター！　想像もしなかった出来事に、沙英は大々々ショック！

→恋の話をかぎつけて、話に加わろうと必死な吉野屋先生。寝てなきゃだめです。

→校長先生の世界史の授業。宮殿の絵がマリ○みたい。

↑当のヒロさんは普段通りの様子。告白の返事はどうする気？

→授業中に告白シーンを妄想するゆのは、授業内容は全く頭に入ってないみたい。告白のセリフと背景のイメージは個性あふれすぎな気が。

アルバムメモ

●特別編2話は、ヒロと沙英のお話。ヒロが誰かにとられそうで慌てる沙英にニヤニヤしてしまう。終わりの方でみんなで結婚談義をするけど、沙英とヒロが結婚すればいいのでは？と思う人も多いはず（笑）。

●今まで出番が少なめだった夏目、桑原先生が登場するのもうれしいところ。さすが特別編。

●今回は、屋根の上の「うめ先生」だけでなく、美術教師の声も原作者の蒼樹うめ先生が担当している。いつもとは違う演技が聴ける？

●ゆのの部屋の目覚まし時計が、ゆのと宮子の絵が入った実在のキャラクターグッズになっている。気になる人には残念だけど、今では入手困難なアイテム。

→ゆのの筆箱に貼られているのは両親のプリントシール。両親が訪ねて来たとき（2期10話）にもらったものだ。

→合間合間にうめ先生が表示しているのは、原作4コマのサブタイトル。原作片手に見てみるのも楽しいぞ。

うめ先生の視聴日記

沙英をニヤニヤと見守る回、ですよね（笑）。と、うめ先生が出過ぎていた回……（汗）。「そして元の位置に戻す」にもかなり出ちゃってた訳ですが、「特別編ですしね～」ということで、まいっか、と思っていたら、そのままの流れで２期に行ってしまったような気がします…。同じことが校長先生にも起こって、２期でアクティブな校長先生が増えたそうですよ～。

→接吻、チュー、キス、口づけ。言い方はいろいろだけど、実際のところヒロさんの唇はどうなる？

↑沙英は、いつもいっしょにいるヒロがいなくなることを恐れていたみたい。

↑お昼も落ちつかないままの沙英さん。ゆのと宮子にムキになって反論したり、ただごとじゃない。なぜか乱入してきた夏目の言葉にも動揺しまくり。

←↑まだ友達と「わいわいやっている方が楽しいんだもの」ということで、ヒロさんは午前中のうちに告白をお断りしちゃったらしい。ひとしきり驚いた後で、ゆのは大人だなあと感心して、沙英は気が抜けたようにホッとする。

みんなの服装（11月27日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑冬も近いのでみんな厚着。吉野屋先生は風邪をひいているので、どてらにマスクといういでたち。

スタッフコメント

◆脚本／長谷川菜穂子… ヒロのラブレターを巡るそれぞれの反応が描かれる話なので、ヒロがどう振舞ったかは伏せておかなくてはならず、これをひだまりのフォーマットに収めるのがひと苦労でした。後半はいつものお喋りですが、もしヒロがラブレターをＯＫしていれば「いつものお喋り」では済まなかったでしょう。それは女の子たちだけの親密な関係から誰かが卒業していくことを意味するのだから……と考えるとなかなかに危ういテーマではあったのです。余談ですが校長先生の「世界史？」は、アラン・コルバンの「匂いの歴史」というユニークな本を参考にしています。コルバンは現代フランス歴史学の大家なので、校長先生はなかなか勉強家なのかも知れませんね。

↑女の子は恋のお話には興味津々。でもゆのの初恋は、お父さんにニャン太……。

↓慌ててラブレターをもらった経験？　を話す沙英さん。ちょっと慌てすぎですよ。

←屋上ではり込んでいた吉野屋先生は風邪を悪化……。桑原先生も呆れ顔。

↑お風呂で今日のことを思い返すゆの。一日中ドキドキしてたから疲れたでしょう。ゆっくり休んでね。

↑→そのまま結婚のお話。みんな、将来はどんな人と結婚するんだろう……？

↑ゆのと宮子までラブレターをもらった!?　でも実はただのお手紙の交換でした。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（コート）

↑ひだまり荘がいくら学校に近くても、外はやっぱり寒いから、通学のときも帰宅のときも、コートはちゃんと着込んでおきます。

↑←↓波紋や水泡のようなイメージと、それぞれ違う場所を向いているゆのたち。どことなく儚い印象から始まる。

ひだまりスケッチ エンディングテーマ

「芽生えドライブ」

にぎやかなオープニングとは対照的に、心に染み入るような優しい旋律が心地よいエンディング。幾何学的な紋様が多く使われ、どこか幻想的な映像になっている。

Interview

作詞　micco（marble）

marbleにとっても初めてのシングルなので、「一番初めに伝えたいことは何だろう？」と思って作詞をしました。サビの最後で「手に掴んだ 光を」とありますが、「ひとかけらの夢を掴んで希望を抱いている」という意味です。「芽生える」というポジティブな言葉と「ドライブ」（動き出す）を合わせた曲名です。生きていることの素晴らしさ、引き継いだ命、動き出す力を歌っています。ボーカルレコーディングは普通は3時間以内で終わりますが、この曲はコーラスだけで3時間もかかり、特に大変だったのは間奏でした。でもその結果、広がりがある、夢の世界に誘う雰囲気が出たと思います。

↑←↓どこまでも高い空の青さ、シャッターを開けたまま撮影したような星空、ラストのみんなの笑顔と、清々しいイメージ。

Interview

作曲・編曲　菊池達也（marble）

なかなかそのときのmarbleを象徴するような曲ができなくて、「うぅ～ん……」となっていたときに、ふと湧いて（？）できた曲でした。marbleのテーマとして「日常の中にある小さな幸せ」というのがあるのですが、『ひだまりスケッチ』には何となく通じるものがあって、エンディングを見終わった後に「何か合うなぁ」と思ってうれしくなりました。この曲をきっかけに『ひだまり』やファンの方など多くの出会いが生まれたし、marbleやってて良かったなぁ……神は僕らを見捨てなかったのだなぁ、と思いました。

第1話

illustration
ヒロユキ

第2話

illustration
きゆづきさとこ

第3話

illustration
今井神

第4話

illustration
湖西晶

第5話

illustration
ととねみぎ

第6話

illustration
石田あきら

第7話

illustration
蕃納葱

第8話

illustration
あぼしまこ

提供バックイラスト集

第9話

illustration 門井亜矢

第10話

illustration MATSUDA98

第11話

illustration 氷川へきる

第12話

illustration 蒼樹うめ

ひだまり荘の屋根裏 01

アイテムセレクション

数ある中から厳選した『ひだまり』アイテムを紹介！

CD

発売元:ランティス

■『ひだまりスケッチ』オープニング＆エンディングテーマ

『芽生えドライブ』

『スケッチスイッチ』

■『ひだまりスケッチ×365』オープニング＆エンディングテーマ

『流星レコード』

『?でわっしょい』

定価：4枚とも各税込¥1,200／税抜¥1,143

『ひだま〜ぶる』

marbleによる『ひだまり』イメージソング集
定価：税込¥3,000／税抜¥2,857

キャラクターソング

Vol.6まで発売中
定価：各税込¥1,200／税抜¥1,143

DVD

発売元:アニプレックス

『ひだまりスケッチ特別編』

発売中
価格：初回版は税込¥6,825／税抜¥6,500
通常版は税込¥5,250／税抜¥5,000

『ひだまりスケッチ』

全6巻が発売中
価格：各巻とも税込¥5,250／税抜¥5,000

『ひだまりスケッチ×365』

2巻まで発売中(全7巻)
価格：各巻とも完全生産限定版は税込¥6,090／税抜¥5,800
通常版は税込¥5,040／税抜¥4,800
※ジャケット画像はともに完全生産限定版のものです

BOOK

いずれも芳文社より発売中

『ひだまりスケッチブック
ビジュアルファンブック』

定価：税込¥2,000／税抜¥1,905

『ようこそひだまり荘へ
ひだまりSchool Life』

著者/日暮茶坊 定価：各税込¥630／税抜¥600

アンソロジー・コミック
1〜3巻

定価：各税込¥860／税抜¥819

原作単行本
1〜3巻

定価：各税込¥860／税抜¥819

ALBUM さん

ひだまり荘のくすくすおしゃべり会

- キャストインタビュー -

メインキャラクターを演じた声優さんたちが大集合！　キャラクターへの想いや、演じる上での心がけなど、役に対する愛着たっぷりの座談会です。

初出：月刊ニュータイプ 2008年1月号（角川書店）
原画：伊藤良明　仕上げ：シャフト　背景：飯島寿治

たまにはこんな『ひだまりスケッチ』

歌手みたいだったり、ヒーローみたいだったり、これも『ひだまりスケッチ』なの？　というちょっとめずらしいイラスト。

初出：イベント「超ひだまつり」キービジュアル
原画：伊藤良明　仕上げ：シャフト　背景：竜美堂

蒼樹うめ×阿澄佳奈×水橋かおり×後藤邑子×新谷良子×松来未祐

ひだまり座談会

ひだまり荘の住人と吉野屋先生を演じる声優さんたちが、うめ先生と座談会を開催！
演じたキャラクターの印象や、思い出に残っているシーン・出来事などをお話ししてくれました。

守ってあげたくなる ゆのの自然な可愛さ

――みなさんの演じているキャラクターについてお聞かせください。

阿澄　ゆのは、主人公にしてはおっとりタイプですね。私は、ゆの役が初のヒロイン役だったということもあって、とても思い入れのあるキャラで、2年前のオーディションのことまで、今でもよく憶えています。

水橋　もう2年前になるのかー。

阿澄　早いですよね。ちなみにオーディションでアニメの役が決まるというのも私にとって初めての体験で……。第1回目のアフレコが終わるまで、「スイマセン、やっぱり別の人にします」とスタッフさんに言われるんじゃないかとドキドキしていました（笑）。

後藤　その気持ちは分かる。私も実際にTVで第1話が放送されるまで、全然実感できないから（笑）。

阿澄　そんな感じでゆのを演じられたことはとてもうれしかったんですが、なかなか現実として受け入れるまで時間がかかりまして。でもアフレコが始まったらそんなことを考えている余裕なんてなく、緊張とプレッシャーの中、必死に演じました。

水橋　でもラジオに出てから、あすみん（阿澄さんのこと）変わったよね。最初の印象は真面目で清楚で無口な阿澄さんだったのに、ラジオではすごくはっちゃけてて（笑）。あの後にあすみんから「ごめんなさい。私ホントはああなんです。あまりにも普段と違ってビックリしたでしょ」と言われたのを覚えています（笑）。

阿澄　どちらかと言うとラジオの方が慣れているので、面白くなるようにと思ってラジオではちょっとはっちゃけすぎちゃうんです（笑）。

水橋　その辺から、みんなに素性もバレたし、アフレコ現場でもはっちゃけてきだしたよね。

阿澄　そうですね（笑）。でも、ラジオがきっかけでみなさんのことを知ることができましたし、ラジオをや

↑声優さんたちとにぎやかなトークを繰り広げるうめ先生（右端）。

らせてもらってよかったです。

後藤　そんなアスミス（阿澄さんのこと）の演じるゆのだけど、実際にいそうな女の子だよね。ナチュラルに可愛くて、ちょっと同学年の人より遅れて走っていくような（笑）。

新谷　守りたくなるタイプですよ。

水橋　おかげで、ゆのと対照的な宮子を、中途半端にならないで演じることができたな、と。

松来　私は、ゆのと、うめ先生のイメージがダブるんですよねー。

新谷　それ、わかるー！

松来　うめ先生の学生時代って、こんなふうにあたふたしながらも、絵に一生懸命な生活をしてたんじゃないかなって想像しちゃって。

蒼樹　う～ん、そうなんですかね。ゆのと自分には近いところがあるのかな、とは思います。ゆのは、どう動かそうかと意識せずに描いているキャラだったりしますし。アニメで阿澄さんの演じるゆのは、素直に可愛い感じを出してくれていて、「可愛いでしょ」と主張しすぎていないにもかかわらず、とても可愛いところが、すごいなと思います。

「ラジオがきっかけでみなさんのことを知ることができました」（阿澄）

宮子はまるで小学生の男の子？

――次にゆのの親友の宮子ですが……。

水橋　宮子は思ったことをストレートに言ってしまうキャラで、私はこういうタイプの役を演じた経験はあまりなかったんです。ところが実際にアフレコをしてみたら、微妙にずれているところが自分の素の行動そのままで……。ですから特に意識してキャラを作らず、すごく素直に演じられたと思っています。

後藤　ゆのは、守ってあげたいキャラなんですけど、宮子はほっといてもたくましく自分で道を歩んでいきそうですよね（笑）。ひだまり荘に住んでいなければ、ヒロとは接点がなかったんじゃないかな。ただ、近くにいて視界に入っちゃったら、相手せずにいられないとは思いますが（笑）。

水橋　そうだろうね～（笑）。

後藤　宮子って、小学生の男の子のように天真爛漫で自由なキャラじゃないですか。だから宮子に対しては、お母さん目線になっちゃうんですよね。なので、ひだ

「ゆのと自分には近いところがあるのかな」

原作者・うめ先生役
蒼樹うめ先生

あおき・うめ／兵庫県出身。福岡育ち。東京都下在住。血液型はＡＢ風味。星座はしし座気味。身長57メートル。主成分は焼きビーフン……などと、原作単行本では自己紹介している。

「ゆのは初のヒロイン役なので、とても思い入れがあります」

ゆの役
阿澄佳奈さん

あすみ・かな／8月12日生まれ、福岡県出身。81プロデュース所属。主な出演作品は「PERSONA -trinity soul-」茅野めぐみ役、「セキレイ」佐橋ユカリ役、「ぼくらの」宇白可奈役、「PRISM ARK」ブリジット役など。

「宮子の行動は、自分の素そのままです」

宮子役
水橋かおりさん

みずはし・かおり／8月28日生まれ、北海道出身。アーツビジョン所属。主な出演作品は「カスミン」春野カスミ役、「魔法少女リリカルなのはStrikerS」ユーノ・スクライア役、「げんしけん2」荻上千佳役など。

まり荘のお母さんであるヒロとしては、ゆのを守んなきゃ、宮子を世話しなきゃみたいな感覚です（笑）。

新谷　お父さんポジションの沙英としては、ゆのよりも宮子といる方が、遠慮のないやり取りができるので、活き活きしているように思いますね。

水橋　男親はやっぱり、娘より息子とわかり合うみたいな？（笑）

蒼樹　今まで演じてくださっている水橋さんはおわかりだと思いますが、宮子はひとことで言うとずうずうしいキャラなんですよ（笑）。

水橋　……はい（笑）。

蒼樹　たまーに暴言も吐きますし。

水橋　…………はい（笑）。

蒼樹　ですから、そういう図々しい言動をしつつも、憎たらしいと思われないラインを守るのに、すごく気を遣っているキャラですね。たとえば、宮子が何かものをねだったときは、もらったときのありがたみを忘れないようなリアクションをとるとか。そういう微妙なラインがあるので、アニメ化されたときのキャストさんで一番心配していたのは実は宮子だったんです。演じ方によっては、嫌味になっちゃうと思っていたので。

水橋　ああ、そこは宮子を演じるときに、一番気を遣っているところかも。宮子の演技には微妙なラインがあって、ちょっと可愛さを意識すると「私、可愛いでしょ」とアピールしている感じになるし、何もしないと図々しさが鼻につくようになっちゃうんです。その真ん中のラインにある宮子の素直な部分だけを出す演技は難しかったですね。

↑何も考えていないかのような宮子の演技だが、実は極めてデリケートなバランス感覚のもとに成立している。

ヒロはひだまり荘の頼りになるお母さん

――ヒロについてお聞かせ下さい。

後藤　ヒロはこの４人を家族にたとえると、お母さん。４人の中で一番大人っぽくて、頼れるキャラクターですね。お父さんの沙英はよくキョドるし、ヒロに弱いし（笑）。

新谷　弱いよね（笑）。

後藤　そういう意味でヒロは、縁の下の力持ち的な役かなと思ったりします。

新谷　細かいところに気が付いて、その全てにフォローが行き届いているので、人付き合いがすごく上手そうですよね。一緒にいて楽しいし。

「宮子の素直な部分だけを出す演技は難しかったですね」（水橋）

後藤　私にとってヒロは、こういう女の子になりたかったなとか、こういう女の子の友だち欲しいなと想像するときの、理想の女性像ですね。

水橋　やっぱりお嫁さんにするなら、ヒロさんかな？

阿澄　ですよねー。ゆのも素敵だなと素直に憧れている感じです。ヒロって、女の子らしいことが大抵できちゃうじゃないですか。お料理もお裁縫もお父さんの世話も（笑）。唯一のウィークポイントは体重を気にしすぎることだけど、そこも可愛いですよ。

後藤　でも、私は甘いものはあまり食べないので、スイーツ大好きなところだけが共感できないんだよね。特に2期の2話でヒロが作ってた鍋汁粉。あれはちょっと無理かなー（笑）。

蒼樹　あれ、本当はプリンにする予定だったんですよ。

松来　鍋プリン？（笑）

蒼樹　実際に土鍋で作れるかどうか、一人用のちっちゃい鍋で試してみたんですけど、見てくれが悪い上に美味しくなくって……。それで鍋汁粉になったんです。

後藤　面白いのを作って美味しいものができると思うな！（笑）

蒼樹　それと私は、ヒロは一番謎が多いキャラだと思っているんですね。彼女は本性を出している場面がほとんどなくて……。

後藤　そうそう。ほかの子たちがみんな本音を言ってる中で、ヒロは人のことをすごく考えて空気も読んでるんですけど、自分の気持ちを前面に出すことがあまりないんですよね。

蒼樹　隠していたり、自分を作っているわけじゃないんですけど、よくも悪くも、よくできた子なんです。

↑優しくみんなを見守っているヒロは、声優さんたちにとっても理想の女性だという。

後藤　1期の特別編2話で、男の子に初めてラブレターをもらったときも、お断りするなら早い方が良いから、すぐに丁寧にお断りしにいくとか、この年頃の女の子らしくない手慣れた解決をしちゃうんですよね。ドキマギするとか、周りに相談するとかしない。

水橋　いったい彼女の過去には、何があったんだろう？（笑）

蒼樹　今のヒロにとって、一番大事なことは沙英を支えること。それがヒロの支えにもなっているんだけど、お互いが違う道を歩むことになったら、ヒロはどういう動きをするのか、原作者である私自身も気になっています。

純情で愛すべき お父さん役の沙英

――沙英についてはどうでしょう？

新谷　沙英は自分がやりたい将来のビジョンがハッキリ見えていて、みんなよりどこかしら一歩進んでいるような女の子だと思います。そういう我が強いというか、ハッキリしているところを持っているんですが、反面ヒロには弱かったり……（笑）。

後藤　沙英は可愛いですよ。年相応の格好良さも同居していて、同級生のお友だちが憧れる気持ちもわかります。でも純情というか照れ屋というか、男性経験がないはずなのに、あり得ない嘘をつくでしょ（笑）。

新谷　でもヒロは、そんなの全部お見通しなんだよね。

後藤　そうそう。それらを嘘だなってわかった上で、「そうなんだ」と笑いながら聞いていると思うんです。ヒロから見たら沙英は可愛らしくて仕方がないんでしょうね。沙英のことが大好きで、でもって沙英も自分のことを好きでいることも十分に知っていて。だからこそからかったりもするし、ちょっと余裕を持って見守っていられる。そんな関係だからこそ、夫婦のように強い絆で結ばれているような感じなんだろうなと。

新谷　まぁ夫婦といっても、沙英は夢ばっかり追っている、純情で可愛らしいお父さんという感じですが（笑）。

後藤　そこらへんは大丈夫。ヒロがどっしり構えているし（笑）。

「ヒロから見たら沙英は可愛らしくて仕方がないんです」（後藤）

「ヒロと沙英は夫婦のように強い絆で結ばれているんです」

ヒロ役
後藤邑子さん

ごとう・ゆうこ／8月28日生まれ、愛知県出身。ぷろだくしょんバオバブ所属。主な出演作品は「涼宮ハルヒの憂鬱」朝比奈みくる役、「俗・さよなら絶望先生」小節あびる役、「コードギアス 反逆のルルーシュR2」アーニャ・アールストレイム役など。

「沙英は、純情で可愛らしいお父さんみたいな存在」

沙英役
新谷良子さん

しんたに・りょうこ／3月31日生まれ、石川県出身。ビーボ所属。主な出演作品は「RED GARDEN」レイチェル・ベニング役、「俗・さよなら絶望先生」日塔奈美役、「紅」崩月夕乃役、「姫様ご用心」椿姫子役など。

「私と吉野屋先生は違うと声を大にして言いたいです！（笑）」

吉野屋先生役
松来未祐さん

まつき・みゆ／9月14日生まれ、広島県出身。81プロデュース所属。主な出演作品は「俗・さよなら絶望先生」藤吉晴美役、「ハヤテのごとく!」鷺ノ宮伊澄役、「AYAKASHI」薬師寺陽愛役、「乙女はお姉さまに恋してる」十条紫苑役など。

阿澄　ゆのから見ると、上級生の2人は本当に憧れの存在。沙英さんとヒロさんみたいな関係を宮子と築きたいと思っているだろうなあ。

水橋　宮ちゃんは沙英をいじるのが楽しくて仕方がないみたいです。ヒロさんもよくいじってますが。

阿澄　どれだけ言っても大丈夫というラインがきっとあるんでしょうね。

水橋　その気持ちわかる！　私も沙英みたいな純情照れ屋の人を見つけてからかうのが好きなので（笑）。照れているのを見て、それをさらにいじって怒られるのも好きだし。わざわざ余計なことを言って怒られたい！

松来　吉野屋先生が担任だったときにも、沙英はずいぶんからかわれたんじゃないかなと（笑）。ほかの生徒さんは「ハイハイまたいつものですか」と流すんだけど、沙英さんだけは色々想像して赤面しそうだし。

新谷　純情中学生みたいに、素直に感情を出しますよね。

蒼樹　隠さないし、隠せない（笑）。

新谷　沙英のような感情の振れ幅が広いキャラって、自分にとって挑戦だったんですよ。沙英の声は割と地声に近いので、最初はどこまでを沙英の声とするべきか戸惑いもありました。でも、私が演じれば沙英だと開き直れてからは、しっかりと計算して演じれば、説得力のある芝居になるなと思ったんです。

水橋　沙英は難しいんですよ。例えば私が演じると男の子になっちゃう。それだとダメなんですよね。微妙な年代の、男の子でも大人の女でもない、女の子の声。これをナチュラルに演じているのはすごいなと思います。

常に全力投球だった吉野屋先生の演技

——松来さんと吉野屋先生は、共通する部分が多いそうですが……。

松来　「松来さん、吉野屋先生にそっくりですね」と、どこでも言われるんですが、私とは違うと声を大にして言いたいです！（笑）

後藤　ええ～、違うの～？

松来　違いますよー。最初のころはみんなに「（吉野屋先生は）変な人だ」と言われてたので、それならとにかく突き抜けなきゃと、大変なプレッシャーの中でがんばってたんですよ。

↑男の子でもなく、大人の女でもないナチュラルな沙英の声は、新谷さんにしか出せないという。

「沙英役は、自分にとって挑戦だったんですよ」（新谷）

蒼樹　私的には、松来さんは吉野屋先生のイメージそのまんまでした（笑）。松来さんは、アフレコのたびに予想を超える演技を披露してくださって（笑）。1期はアドリブもすごかったですね。

松来　ホントにアドリブがビックリするぐらい多くて……でも、吉野屋先生で鍛えられたおかげで、どの現場に行ってもすぐにアドリブが出せるようになりました。

阿澄　でも演じているときは、かなり楽しそうでしたよ？（笑）

松来　生徒たちを愛しているからこそ、吉野屋先生はみんなに構ってもらおうとするんだと気づいてからは、もっともっと吉野屋先生を演じることを楽しめるようになりました。愛情なんですよ、全ての行動が（笑）。そんなこんなで毎回変なことをやらせてもらえたんですけど、とてもよい雰囲気の中で楽しく演じさせてもらっているからこそ、変な吉野屋先生がどんどん成長していったのかな、と。これもみなさんのおかげです。

後藤　いや吉野屋先生は可愛らしいですよ。すごく偏った方向ですが全力投球だし。いろいろ面倒くさいけど（笑）。でも絶対に嫌いになれない先生だと思うんです。こんな先生が学校にいたら一生忘れないはず……まあ、恩師と思うかは別として（笑）。

松来　記録より記憶みたいな！

新谷　誰が上手いことを言えと（笑）。

後藤　なんといっても、吉野屋先生を活き活きと演じているみゆみゆ（松来さんのこと）が、一番楽しそうなのはよかったですよ。

松来　がんばってるんだって！（笑）

水橋　もっとアドリブを、とか思うし。

松来　もう、いっぱいいっぱいです！

↑テンションの高い吉野屋先生を演じるため、松来さんは大変なプレッシャーの元でがんばっていた。

「最初は声の出演をすることに かなり迷いがあったんです」(蒼樹)

――「ひだまりスケッチ」では、うめ先生ご自身も、うめ先生役として出演されましたが…

蒼樹　最初は声の出演をすることに、かなり迷いがあったんです。昔から自分の声が嫌いだったので……。でも、声を当てるという体験の貴重さに引かれて、ずうずうしくもおっかなびっくり演じさせていただきました。第1話の冒頭の登場シーンを見たら、いきなり気持ちがくじけるんじゃないかとビクビクしてましたが、どうにか大丈夫だったみたいです。

水橋　キャラソンも歌ってるしね。

蒼樹　イベント「超ひだまつり」で、私がステージに出てあそこまでやってもお客さんに怒られなかったのは、キャストのみなさんのおかげです……。

阿澄　それだけ原作者のうめ先生が、ファンのみなさんに愛されているんです。

後藤　イベント会場が、うめ先生登場で揺れてましたからね。

蒼樹　みなさんが私を受け入れてくださったので、私の暴走を許してくださったんだろうなって思います。本当にいい経験でした。

ありがとうの言葉と また会えたらの願いを！

――最後にファンのみなさんにメッセージをお願いします。

阿澄　役にも作品にもホントに思い入れがあるんですが、それがこれだけたくさんの方に愛されて、色々なことをやらせていただけたのは奇蹟だと思っています。これからも「ひだまりスケッチ」の応援をお願いいたします。

水橋　素敵な作品の中で、自分が演じたかった役を演じられているという幸せを強く感じています。これからもウメス（うめ先生のこと）ががんばってコミックスをいっぱい描いて、DVDがドンドン売れたら続きがあるかもしれないので、みなさん応援してください。

後藤　アフレコは1クールずつだったので、期間としては短かったはずなんですが、すごく長い期間をひだまりメンバーと過ごしたような、そんな気がしています。またいつか会えるんじゃないかという希望を抱きつつ、みんなが長くゆるりと応援し続けてくれるとうれしいな。

新谷　キャスト陣もスタッフ陣も、みん

ひだまりスケッチ
&
ひだまりスケッチ×365

キャストメッセージ

今回、座談会に出席いただいた6人以外の出演者からも、作品終了に寄せてメッセージをいただきました。
興味深い内容ばかりなので、ぜひじっくりと読んでみてください。

コメントの内容 ❶作品及び演じたキャラクターの印象 ❷演じる上で注意したこと及び印象深いシーンやセリフ ❸読者へのメッセージ

智花役
釘宮理恵さん

❶ほんわかのんびりしていて、収録にお邪魔するたびに、心から和ませていただいております♥　智花のお姉ちゃん大好き具合も、本当に微笑ましいな、と思います。
❷ひだまり荘に行くと、いつもにぎやかで楽しくて、美味しいものをお腹いっぱい食べているな、と。そして、幸せで温かい気持ちになるな、と……そんな印象です。
❸このほのぼの感を思う存分、精一杯楽しんでいただけたら何よりです。これからも応援して下さいね♥

校長先生役
チョーさん

❶若いっていいなあ……枯れるってたのしいなあ……
❷プルプルふるえている感じが少しでも出ればなあ、と心がけましたが、無理でした。「男の子パズル」をいっしょうけんめい唄いました。シングルリリースしたらいいのになぁー。
❸「ひだまりスケッチ」の、のほほ～んとした世界にどっぷりつかって、日頃のストレスを洗い流して下さい。

なこの作品やうめ先生が大好きで、そんな私たちを好きでいてくれているファンのみなさんも「ひだまりスケッチ」のことが大好きで……。そういうとてもよいサイクルの作品に出会えたのは、やっぱりうれしいですね。こんな愛情にあふれた作品を、さらに愛情でいっぱいにしてくれたファンのみなさんにありがとうという気持ちでいっぱいです。

松来　最終回を迎えても「ひだまりスケッチ」が終わる気がしないのは、やっぱり日常を描いているせいでしょうか。最初から最後まで日常のお話だったんですが、逆に考えると日常って随分ドラマチックだなということを、この作品は教えてくれました。これからも変わることなく、この作品を愛していってくださいね。

蒼樹　キャストさんもスタッフのみなさんもホントにいい方ばっかりで、色んなことをやらせていただきました。そうしてできあがった作品をファンのみなさんに愛していただき、その結果として当初は予定のなかった2期ができまして、さらにこの2期もみなさんに喜んでいただけて、とてもとても幸せでした。みなさん本当に本当にどうもありがとうございました。これからも「ひだまりスケッチ」をどうぞよろしくお願いいたします……！

「最終回を迎えても、終わる気がしないです」（松来）

みなさんお疲れさまでした❤

大家さん役
沢城みゆきさん

❶スタジオにいて、うっかりすると完全に視聴者になってしまう、危険な癒し作品でした。……彼女のように生きられたらなぁ、と。
❷たばこを吸わない私にとって、セリフの合間合間で入ってくる喫煙の芝居が難しく、毎回試行錯誤しながらやらせていただきました。
❸毎回、色んな方々から、たばこを恵んでいただきながらのAR（アフレコ）でした。彼女の名前が明かされるまで、末永く応援よろしくお願いいたします。

桑原先生役
木川絵理子さん

❶ほんわかした作品だなーと思いました。桑原先生は、その中では引きしめ役というか、一番常識人かな、と。
❷吉野屋先生を軽く戒めるシーンが多いんですが、きつくならないように気を付けてはいました。個人的に好きなのは花火のシーンです。吉野屋先生に対する桑原先生と校長先生の愛が感じられると思いますよ。
❸程よいまったり感と、先生トリオをぜひお楽しみ下さい！

夏目役
福圓美里さん

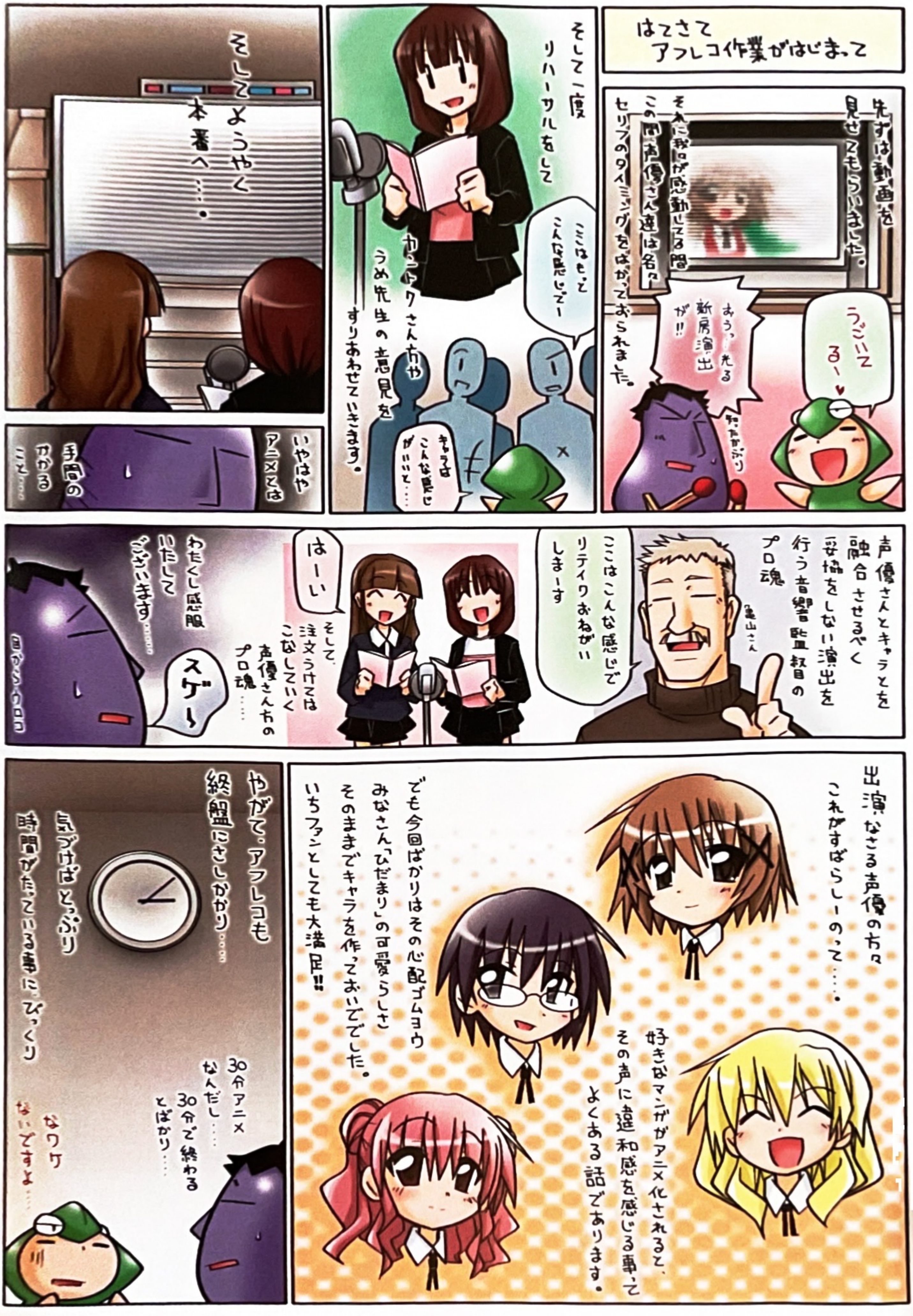
❶この作品は、噛めば噛む程味が出る……というか、とてもクセになります。ゆる〜い世界観にひたっていたくなるんですよね。その中で夏目は、出オチ的な（笑）アクセント隊長みたいな印象です。
❷最初は行動原理がわからず、ただもう勢いで、という感じだったのですが、全ては沙英の小説の大ファン故の執着だと分かってからは、とても大好きで面白い役になりました。印象深いシーンは、やはり本屋をウロウロして沙英の新刊を手にとって笑うところでしょうか。
❸毎回お腹がとってもすいて、お風呂にすごく入りたくなる現場でした（笑）。細かい部分もたくさん面白いところがありますので、是非最初から見返してみて下さい！

ひだまりスケッチ アフレコレポート漫画

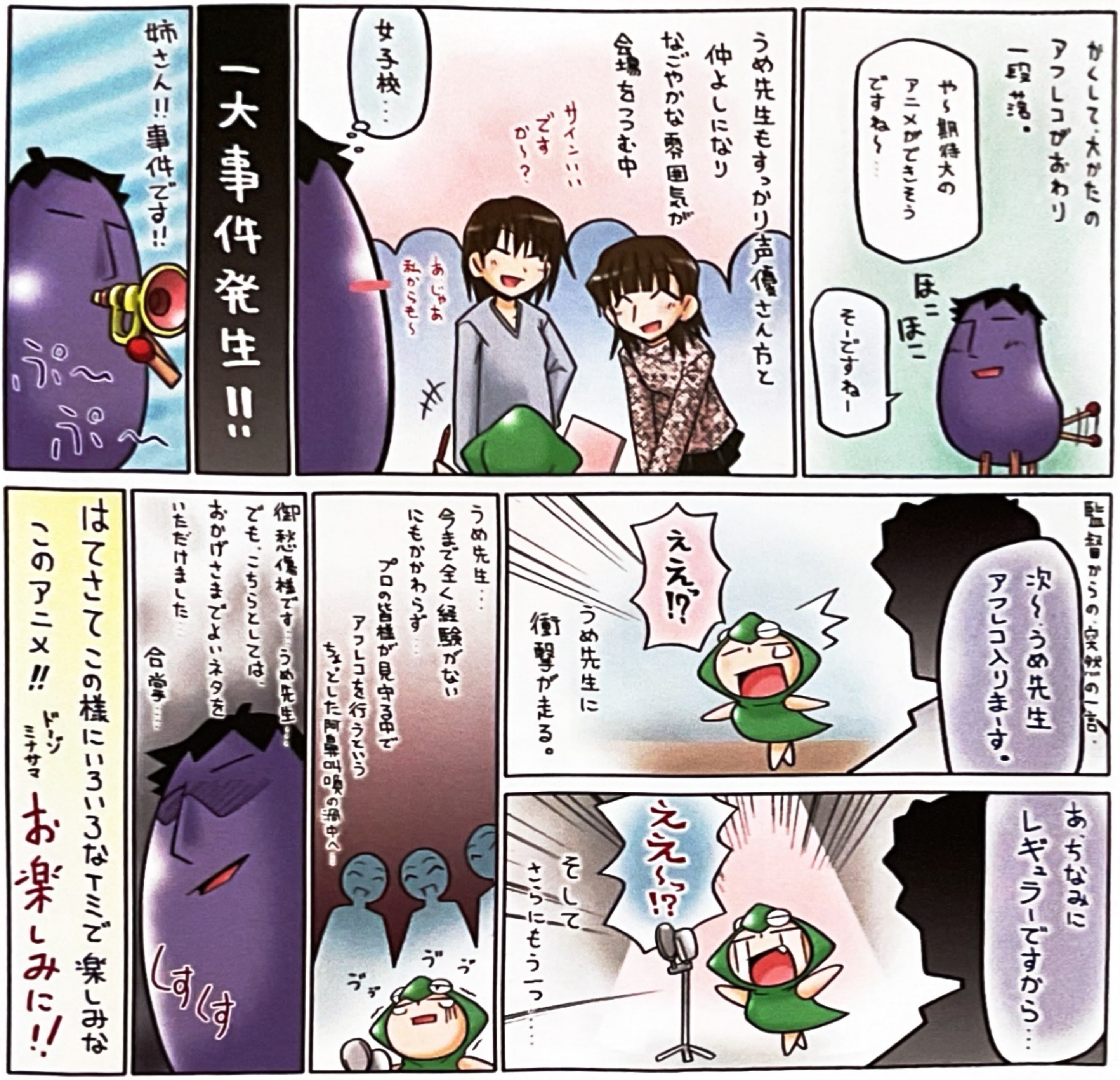
Hidamari Sketch

里好 さとよしみ

「まんがタイムきららキャラット」2007年2月号掲載



はてさて アフレコ作業がはじまって
先ずは動画を見せてもらいました。
それに我々が感動してる間 この間声優さん達は各々セリフのタイミングをはかっておられました。
うごいてる～♥
おうっ…光る新房演出が!!
知ったかぶり
そして一度リハーサルをして
ここはもっとこんな感じでー
カントクさん方やうめ先生の意見をすりあわせていきます。
キャラはこんな感じがいいと…
そしてようやく本番へ……。
いやはやアニメとは手間のかかるこって…
声優さんとキャラとを融合させるべく妥協をしない演出を行う音響監督殿のプロ魂
亀山さん
ここはこんな感じでリテイクおねがいしまーす
はーい
そして注文うけてはこなしていく声優さん方のプロ魂……
スゲ～
わたくし感服いたしてございます……
目からウロコ
出演なさる声優の方々 これがすばらしーのって……。
好きなマンガがアニメ化されると、その声に違和感を感じる事ってよくある話であります。
でも今回ばかりはその心配ゴムヨウ みなさん「ひだまり」の可愛らしさそのままでキャラを作っておいででした。
いちファンとしても大満足!!
やがてアフレコも終盤にさしかかり……
気づけばとっぷり時間がたっている事にびっくり
30分アニメなんだし…… 30分で終わるとばかり……
なワケないですよ……



おわり

里好先生もアニメに出演しています(?)

「ひだまりスケッチ」&「ひだまりスケッチ×365」

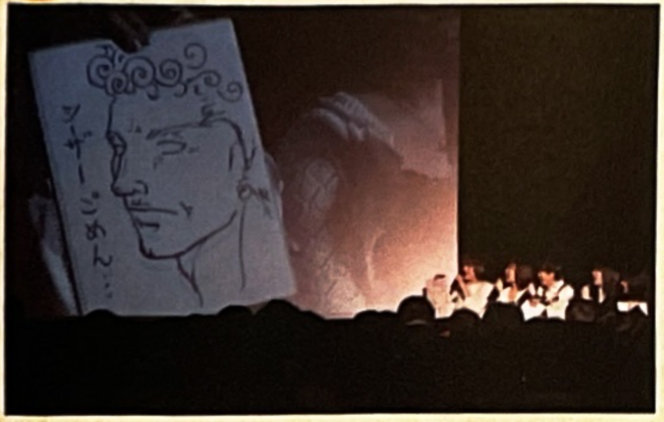
ひだまり荘の屋根裏 02

イベントレポート

Event Report

単なるファンイベントという枠を超えて、ファンの皆さんと、スタッフや声優さんたち制作側との交流の場であった「ひだまりスケッチ」のイベント。その楽しさを、ダイジェストでお届けしよう！

ひだまりスケッチ すぺしゃるイベント"ひだまつり"



↑後藤さんが描いたブルータス像のイラスト。たくましくて、不思議な迫力がある。

「ひだまりスケッチ」の記念すべき初めてのイベント

去る2007年２月17日、東京・赤坂のSME乃木坂ビルにて、「ひだまりスケッチ」のファーストイベント"ひだまつり"が開催された。このイベントには、ゆの役の阿澄佳奈さん、宮子役の水橋かおりさん、ヒロ役の後藤邑子さん、沙英役の新谷良子さん、そして原作者の蒼樹うめ先生が参加。出演者がお題に沿った絵を描く「やまぶき高校美術科期末試験実技テスト」のコーナーで様々なイラストを披露するなど、楽しいイベントとなった。

ひだまりないと

スタッフさんたちによる濃ゆ～いトークが炸裂！

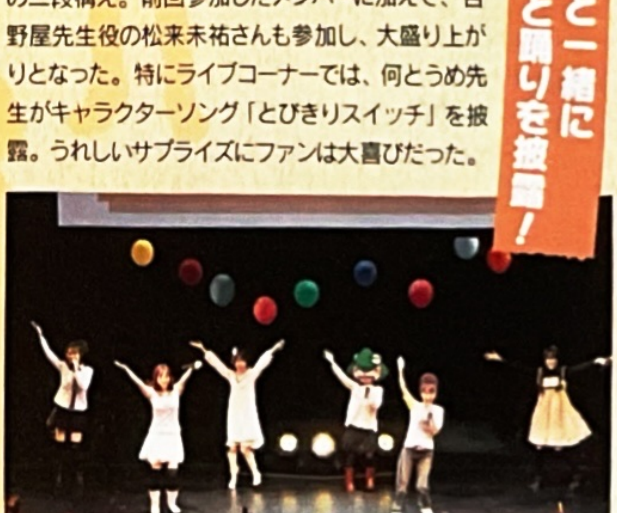
「ひだまりスケッチ×365」の放送を直前に控えた2008年６月29日、東京・新宿ロフトプラスワンで、"ひだまりないと"が開催された。ここにはプロダクション・ディレクターの尾石達也さん、演出の大沼心さん、音楽プロデューサーの斎藤滋さんらが参加。オープニングの絵コンテや背景発注書など、普段は見ることのできない資料を元に実際の映像がどのように作られていくかといった貴重なトークを聞くことができた。

↑大沼さん（左端）と尾石さん（左から２番目）で、背景の指示がどう違うかといった興味深い対談もあった。

超ひだまつり

声優さんたちと一緒にうめ先生が歌と踊りを披露！

大好評だった"ひだまつり"をさらにパワーアップさせたイベント、それが"超ひだまつり"だ。2007年11月18日に、横浜BLITZで行なわれたこのイベントは、イベントコーナーとライブコーナーの二段構え。前回参加したメンバーに加えて、吉野屋先生役の松来未祐さんも参加し、大盛り上がりとなった。特にライブコーナーでは、何とうめ先生がキャラクターソング「とびきりスイッチ」を披露。うれしいサプライズにファンは大喜びだった。



↑左から順に、後藤さん、阿澄さん、松来さん、うめ先生、水橋さん、新谷さん。

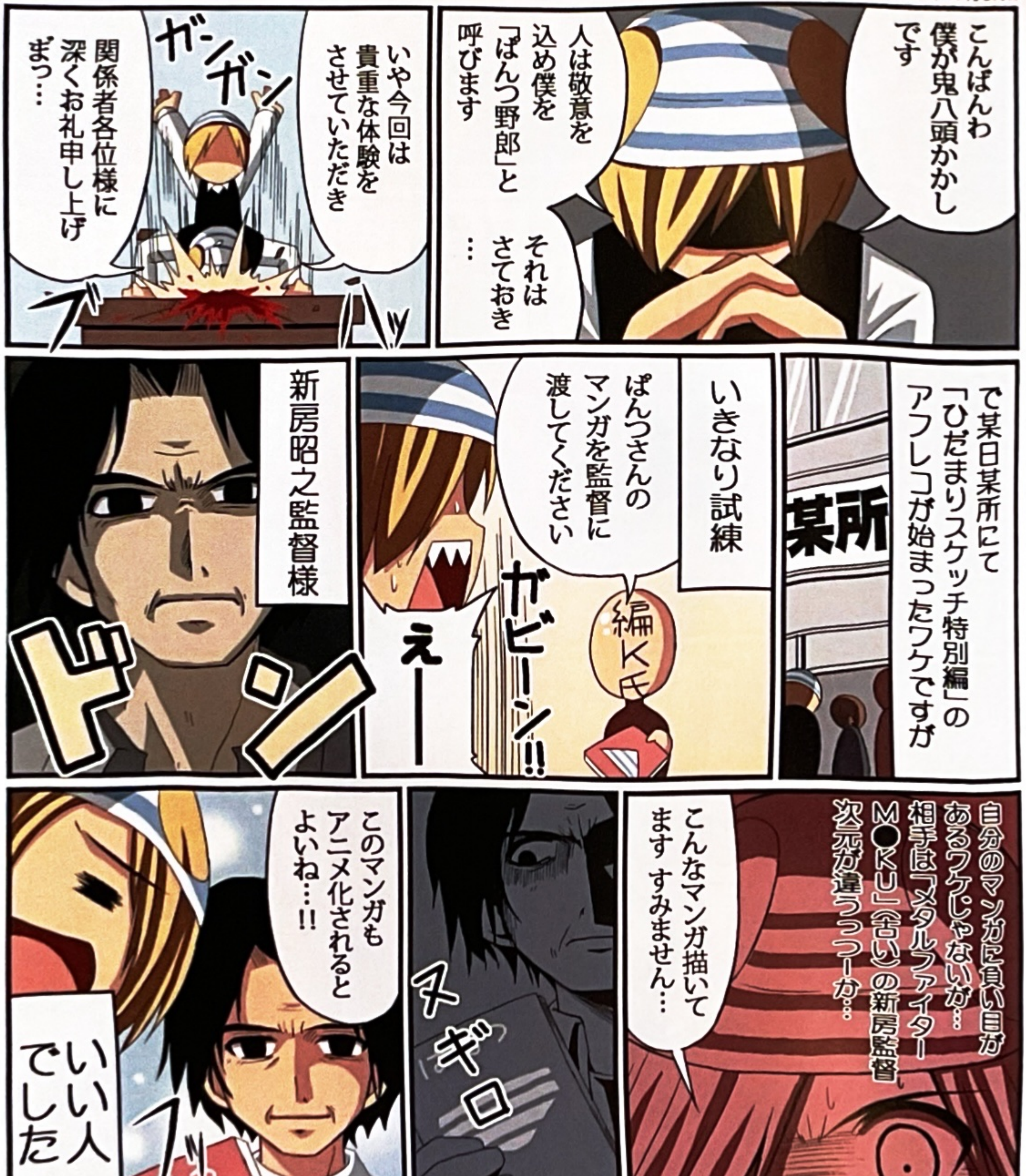
Hidamari Sketch

ひだまりスケッチ 特別編

アフレコレポート！ 漫画

鬼八頭（おにやず）かかし

「まんがタイムきららキャラット」2007年10月号掲載



おびえる僕をよそにアフレコは始まります
新房カントク様
ガタブル
ぱんつ氏
ボボ
豪華声優陣の方々
ドーン
ゆの役 阿澄佳奈さん
宮子役 水橋かおりさん
沙英役 新谷良子さん
ヒロ役 後藤邑子さん
吉野屋先生役 松来未祐さん
アフレコ開始!! やっぱりプロはすごいですよ!!
ウハー
ムガー
表情までキャラになりきっています!!
その時のぱんつ氏
プロスゲーッ!!
その時の担当Y子氏
ゴホッ
ゲホッ
うっ
※注 かぜきみ
マイクの本数に対して声優さんの方が多いワケですが
要領よく移動しアフレコは順調に進んでいきます
そして原作者蒼樹うめ先生入場オオッッ
ヤー
いや最初から入場してますが…
作風どおりのほんわかした人で安心でした
うめ先生がちいさいのですよ!!
な○ま先生っておっきな方ですよね～♪
○かま氏は僕より小さいですから!!

うめ先生がアフレコに出ます!!
てなれてる
フフーン
しかし先生の身長ではマイクに届かないので…
とどきませーん
下げてもらいます
ハイ
ありがとですー
萌へ!!
そんなこんなでアフレコ終了
素人な二人
帰っていいんでしょうか?
わかりません!!
帰り道
素人な二人
やっぱプロスゲーす
私せきをガマンするので大変で…
皆さんの和やかな雰囲気が伝わってきました「ひだまりスケッチ特別編」お楽しみにっ
ガン
ガン
ひだまりスケッチ特別編
10月18日(木)
24:30～25:30
BS-iにて2本連続放送予定!!
※この情報は今は昔の物語です

おわり

ひだまり荘での出来事を時系列順に追ってみよう。いろいろな伏線がどうつながっているかが見えてくるはず。
ストーリー解説コーナー（17～69ページ、117～171ページ）の「EVENT」アイコンがついた項目も合わせてどうぞ！

※各ページの端には、期間ものの出来事について、その期間をまとめてあります。※カッコ内には、ストーリー解説コーナー内でのページを表記してあります。
※「EVENT」アイコンで扱っていない項目でも、知っておくと楽しめる事柄については、「そのほか」としてまとめてあります。

ひだまり荘の表札(旧)

大家さんの禁煙①（119p）
→吸いかけるが我慢する

大家さんのバイト①（119p）
→宅配寿司のチラシを配っている

203号室の謎①（120p）
→203号室にヒロが住んでいる

そのほか…みさとがまだひだまり荘（201号室）に住んでいる・ゆのの隣の席で受験していた清美も合格

制服が冬服(ブレザーあり)

みさと先輩とトラップ①（121p）
→沙英が、「（201号室に）変な仕掛けが残ってなきゃいいんだけど」と言う

そのほか…ゆの・宮子・ヒロでうさぎの絵を描く

大家さんのバイト②（141p）
→野菜を売っている

203号室の謎②（142p）
→ヒロが203号室の話題に慌てる・203号室からヒロがこっそり出てくる

名前さえないお菓子①（142p）
→ゆのたちがCMを見かける

宮子の部屋の乾燥剤①（142p）
→乾燥剤がフローリングから覗いている

そのほか…みさと先輩がひだまり荘を訪ねる

そのほか…吉野屋先生が、天井にたらいを仕掛けた人（みさと先輩）の話をする

ゆのが青虫を飼育

ヒロのダイエットゼリー①（31p）
→ダイエットゼリーが届く

ゆのの青虫①（31p）
→ゆのの両親から送られてきた野菜に青虫が

そのほか…宮子は小さいころは夜にお店をまわって歌っていた・ヒロが小さい子に「（髪が）ふかふか」と言われる・子供に「小さい」と言われたゆのが大きくなるために牛乳を買う

ひだまり荘の屋根裏 03

ひだまりカレンダー

ゆのが青虫を飼育

制服が冬服（ブレザーあり）

制服が冬服（ブレザーなし）

制服が夏服

ひだまり荘の表札（旧）

大家さんのバイト③（126p）
→物件写真を撮っている

203号室の謎③（126p）
→ヒロが203号室にカギがかかっていないことを気にする

ヒロのダイエットゼリー②（127p）
→ヒロはゼリーばかり食べているらしい

ゆのと大家さんのすれ違い①（126p）
→ゆのだけでなく宮子もまだ会ったことがない

そのほか…沙英に担当の直居さんから電話

203号室の謎④（154p）
→ゆのの両親が203号室を覗き見して唖然とする

みさと先輩とトラップ②（154p）
→ゆのの父がトラップのひもを見つける

ゆのの青虫②（153p）
→訪ねて来た両親と青虫の話題

ゆのと大家さんのすれ違い②（152p）
→ゆのの両親が大家さんにあいさつする

そのほか…ゆのが両親からプリントシールをもらう

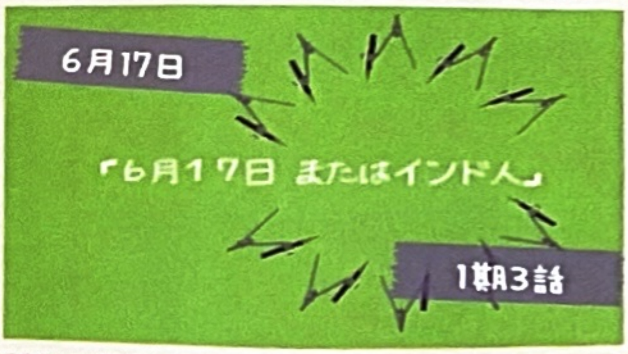
みさと先輩とトラップ③（28p）
→トラップが発動する

宮子の部屋の乾燥剤②（28p）
→部屋が雨漏りするが、まだみんな乾燥剤があることを知らない

ヒロのダイエットゼリー③（27p）
→ダイエットゼリーは効果がなかったらしい

ゆのの青虫③（26p）
→青虫はさなぎになっている

そのほか…授業でブルータスのデッサン



大家さんの禁煙②（162p）
→笹の葉に「禁煙できますように」

大家さんのバイト④（160p）
→野菜を売っている

ゆのの青虫④（162p）
→短冊に「青虫くんが無事にチョウチョにふ化できますように」

２期の放送開始前に発売されたファンディスク。「ひだまりでいず」は１期の総集編映像。「超ひだまつり」はイベントで上映された２期の告知トレーラー。ファンディスクにはそのほか「見えるひだまりラジオ×365」などが収録。

ゆのの青虫⑤（39p）
→羽化するけど、その正体は蛾

ヒロのハーブ①（37p）
→ヒロがハーブを育て始める

沙英の恋愛小説①（38p）
→宮子が沙英の部屋で恋愛モノの原稿を見つける

そのほか…ゆのの部屋にブルータスのデッサンが置いてある

大家さんの禁煙③（136p）
→吸いながら「今回は三日もったね」

ヒロのハーブ②（136p）
→ハーブに虫がついてしまう

沙英の妹・智花①（137p）
→電話で智花の受験を励まそうとするが、ケンカしてしまう

吉野屋先生のアサガオ観察①（136p）
→アサガオに水をやり忘れた吉野屋先生が校長先生に怒られる

沙英の恋愛小説②（136p）
→直居さんとの打ち合わせ。次回作は恋愛小説に決まる

大家さんの禁煙④（149p）
→吸ってから気付き「今度こそやめる」

大家さんのバイト⑤（149p）
→ラーメン屋の出前をしている

吉野屋先生のアサガオ観察②（148p）
→不満げにアサガオに水やり

そのほか…吉野屋先生が岸麻衣子に暑中見舞い

ゆのと大家さんのすれ違い③（63p）
→タイミングが悪く、会えず

吉野屋先生のアサガオ観察③（62p）
→観察日記に「もうアサガオなんか見たくありません」

宮子の部屋の乾燥剤③（23p）
→フローリングの下に大量の乾燥剤を見つける

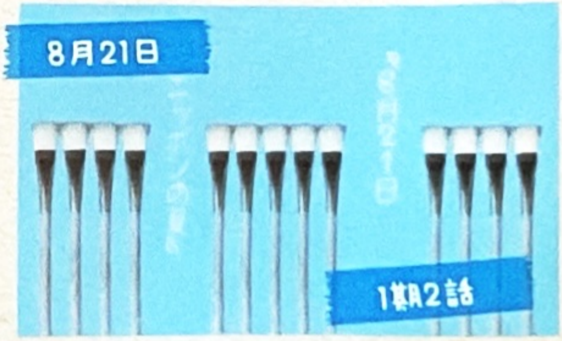
ゆのの青虫⑥（23p）
→ふと「羽ばたいて行った青虫」の話題が出る

ゆのと大家さんのすれ違い④（23p）
→ゆのは「まだ会ったことない」

ヒロのハーブ③（23p）
→ハーブティーとハーブクッキーをみんなにふるまう

吉野屋先生のアサガオ観察④（23p）
→夏休みなのに学校にいて、校門前でヒロに水着姿を見せる

ひだまり荘の表札作り①（23p）
→大家さんに頼まれてみんなで表札作り



ヒロのハーブ栽培

ゆのが青虫を飼育 → 吉野屋先生のアサガオ観察

制服が夏服

ひだまり荘の表札（旧） → ひだまり荘の表札（新）

OTEHR DAYS

ファンディスク「もうすぐ！『ひだまりスケッチ×365』」に収録

★完全生産限定版のみの発売のため、現在は販売終了
■価格／税込¥3,650（税抜¥3,476）

宮子の部屋にハンモック
制服が夏服 → 制服が冬服（ブレザーあり）
ひだまり荘の表札（新）

みさと先輩とトラップ④（49p）
→沙英の部屋にもタライが落ちる

ヒロのダイエットゼリー④（49p）
→みんなで食べて在庫処分する

宮子のクジ運と景品①（49p）
→宮子は練り物限定でクジ運が良いらしい

宮子のハンモック①（49p）
→宮子がハンモックを購入する

沙英の妹・智花②（49p）
→沙英に誰か（智花）から電話がかかってくる

そのほか…岸麻衣子がやまぶき高校に来る・宮子がセーラー服で清掃

203号室の謎⑤（157p）
→謎が解明。実はダイエット器具だらけ

ゆのと大家さんのすれ違い⑤（157p）
→大家さんと会うが、どんな人なのか見られず

宮子のハンモック②（156p）
→ゆのはハンモックに上手く乗れない

そのほか…吉野屋先生が自分に似せたモナリザの絵を抱えている

宮子の部屋の乾燥剤④（41p）
→乾燥剤を撤去する

宮子のクジ運と景品②（41p）
→宮子がクジでサンマを当てるが、大家さんに渡すことに…

ゆのと大家さんのすれ違い⑥（41p）
→大家さんとは気付かずに会って、あとで大家さんだと知る

宮子のハンモック③（40p）
→部屋にハンモックがある（放送順ではハンモック初登場）

沙英の妹・智花③（41p）
→両親からの手紙を読んだ沙英は「来るの…？」

そのほか…吉野屋先生が「美」の腹掛けを持っている・宮子がクジ引きで当てたサンマを大家さんにあげる

大家さんのバイト⑥（145p）
→バイトの理由は「お金がいるんだ、借金あっから」

名前さえないお菓子②（147p）
→またCMを見かけるが、まだ発売されていない

ゆのと大家さんのすれ違い⑦（145p）
→体育祭中に、ようやくきちんとあいさつ

そのほか…「美」の腹掛けで赤組勝利の儀

大家さんの禁煙⑤（131p）
→「よし、やめる」の前に「もう一本だけ」

大家さんのバイト⑦（131p）→ゆのたちが話題に出す

そのほか…岸麻衣子がやまぶき高校に来て上映会のチケットを吉野屋先生に渡す・ゆのと宮子が文化祭で展示する絵を描き始める・大家さんにサンマを持っていかれたことが話題に出る

2期のDVD１巻の完全生産限定版には、ドラマＣＤがついてくる。収録される２話は、どちらもシリーズ構成・与口奈津江さんによる書き下ろしのオリジナルストーリー。

★9月24日 やまぶき国際ヒダマリン ★11月4日 文化祭の準備

宮子の部屋にハンモック

制服が冬服（ブレザーあり）

ひだまり荘の表札（新）

沙英の妹・智花④（51p）
→沙英へのFAXに「なんで返事くれないの!? 行くっていったでしょ!!」

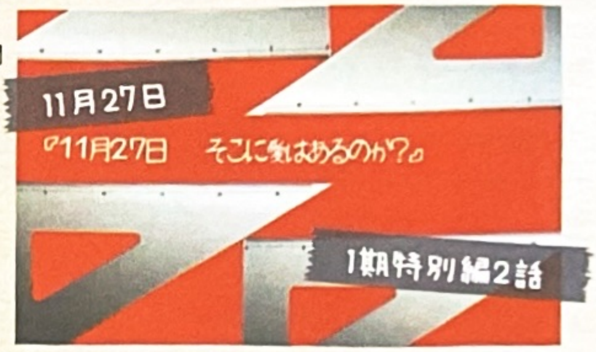
そのほか…ゆのと宮子の絵が文化祭で展示される・ゆのが岸麻衣子の言葉を思い出す

大家さんの禁煙⑥（138p）
→「やっぱり無理だわ」

構文のファン？①（138p）
→夏目が「きらら」を買ったところをヒロが見かける

ヒロのダイエットゼリー⑤（138p）
→「ゼリーはもう信じない」

そのほか…ヒロがラブレターをもらってみんなは大騒ぎ・ゆのの両親のプリントシールが筆箱に貼ってある・ゆのと宮子の間でお手紙ブーム



制服が冬服（コートあり）

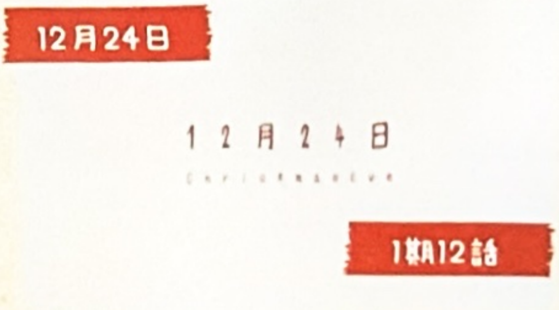
名前さえないお菓子③（151p）
→CMを見かけるが、まだ「カミングスーン」のまま

構文のファン？②（151p）
→沙英が初めてファンレターをもらう

そのほか…みんなで岸麻衣子の上映会に行く・ゆのと宮子の間でお手紙ブームはまだ続いている・宮子が「ついに沙英さんにもラブレターが」と驚くがファンレターだった

宮子のハンモック④（58p）
→智花がハンモックに興味を持つ

沙英の妹・智花⑤（58p）
→智花がひだまり荘へ遊びに来る



OTEHR DAYS

DVD 「『ひだまりスケッチ×365』1巻 完全生産限定版特典のドラマCD」に収録

■価格／完全生産限定版は税込¥6,090（税抜¥5,800）
通常版は税込¥5,040（税抜¥4,800）

宮子の部屋にハンモック
↓
ハンモックはあるが布団で寝る

制服が冬服（コートあり）
↓

ひだまり荘の表札（新）
↓

ヒロのダイエットゼリー⑥（61p）
→懲りていないのか、ゼリーを手にヒロがほほえむ

宮子のクジ運と景品③（61p）
→操り物が当たるクロスワードに挑戦

自転車少年シンヤくん①（60p）
→自転車少年のシンヤくんがテレビに出ている

そのほか…吉野屋先生から「宿題を忘れないように」というメッセージ・宮子が文化祭で描いたゆのの絵がゆのの部屋にある

ヒロのダイエットゼリー⑦（170p）
→ヒロの部屋の隅にゼリーの箱がある

宮子のクジ運と景品④（169p）
→おみくじで「超吉」をひく

橘文のファン？③（169p）
→ファンレターの送り主は夏目

宮子のハンモック⑤（168p）
→布団を干している（ハンモックは使っていない）

そのほか…大家さんからみかんをもらう・宮子が「おめでとう」と9回言う・清美ちゃんからゆのに年賀状・ゆのは牛乳を飲み続けている

宮子のクジ運と景品⑤（20p）
→「北海の恵み」が当たるクロスワードに挑戦

沙英の妹・智花⑥（19p）
→智花の写真と年賀状をゆのがコラージュの宿題に使う・ゆのへ智花からメールが届く

ひだまり荘の表札作り②（18p）
→ゆのが表札を作ったときのことを思い出す

そのほか…ゆのは宿題を忘れてしまった・みんなでみかんを食べる・宮子が10&11回目の「おめでとう」を言う

大家さんのバイト⑧（124p）
→宅配ピザのチラシを配る

沙英の妹・智花⑦（122p）
→智花の合格発表の日

そのほか…みかんが「ふかふか」になってしまった・宮子がセーラー服姿で部屋の掃除・ゆのの部屋にブルータスのデッサン・ゆのが文化祭で描いた絵がゆのの部屋に置いてある・ゆのたちが去年の春に描いたうさぎの絵を懐かしむ

沙英の妹・智花⑧（35p）
→智花からゆのにメールが届く・ヒロと沙英が、ゆのを看病しながら智花の話題を出す

自転車少年シンヤくん②（36p）
→シンヤくんの自転車の旅がスタートする

OTEHR DAYS

CD **『ひだまりスケッチ×365』ドラマCD」に収録**

発売中　■価格／税込￥3,000（税抜￥2,857）

こちらも脚本は与口奈津江さん。新しいお話を５話も収録。

★6月12日 モコモコ　★8月5日 プルータスの罠　★8月26日 ひだまり会議
★12月14日 うろ覚え名作劇場　★3月18日～19日 ねこは3日で恩を忘れる？

宮子の冷蔵庫に「北海の恵み」あり

ハンモックはあるが布団で寝る

制服が冬服（ブレザーあり）

ひだまり荘の表札（新）

大家さんのバイト⑨（166p）
→ベリマートでバイト

ヒロのダイエットゼリー⑧（165p）
→新しいゼリーが届く

沙英の妹・智花⑨（166p）
→沙英が「春休みこっち来る？」と誘う

宮子のクジ運と景品⑥（45p）
→「北海の恵み」が当たる

沙英の妹・智花⑩（44p）
→智花からゆのにメールが届く

自転車少年シンヤくん③（44p）
→シンヤくん、ズルをしたためやり直し

大家さんの禁煙⑦（129p）
→吸っているが「よし、やめる」

宮子のクジ運と景品⑦（128p）
→「北海の恵み」を猫に少しお裾分け

沙英の妹・智花⑪（129p）
→智花からのメール「おかーさんのオッケーでました!!」

自転車少年シンヤくん④（129p）
→シンヤくん、ついにゴール

★2期5話（3月25日）のサブタイトル画面はクイズになっています。答えは133ページを見てみよう。

大家さんのバイト⑩（133p）
→今日はバイトはお休み（まだバイトは続けている）

203号室の謎⑥（133p）
→ダイエット器具は近々回収されることに

名前さえないお菓子④（135p）→いつの間にか発売されていた

宮子のクジ運と景品⑧（134p）
→みんなでカニを美味しくいただく

沙英の妹・智花⑫（133p）→智花が再びひだまり荘に来る

そのほか…吉野屋先生が、吉野屋先生風モナリザと「美」の腹掛けを家に持って帰る・宮子が銭湯で歌った演歌がめちゃウマ

ALBUM よん

ひだまり荘の縁の下

-スタッフインタビュー-

新房昭之監督をはじめ、アニメ『ひだまりスケッチ』に関わったスタッフさんからお話を聞きました。読めばアニメの裏側が見えてくるはず？

初出：コンプヒロインズ Vol.2（角川書店）
イラスト：蒼樹うめ

番宣ポスターイラスト　イラスト：蒼樹うめ

うめ先生イラスト集

原作者の蒼樹うめ先生が、アニメ用に描き下ろしたイラスト。原作もアニメも、どっちのゆのたちも可愛いよね。

STAFF INTERVIEW 1

脚本のお話

1期・2期を通して作品に関わったお2人の脚本家、さらに蒼樹先生と新房監督にも参加していただいた、脚本についての座談会です。

☆蒼樹うめ 原作
☆新房昭之 総監督（1期）・監督（2期）
☆長谷川菜穂子 シリーズ構成
☆与口奈津江 シリーズ構成（2期）

『ひだまり』に女性脚本家が多い理由

——『ひだまりスケッチ』には、女性の脚本家さんが多いですよね。

新房　男では、この作品の会話がつくれないかなと思ったんです。男性と女性とでは、普段しゃべっている言葉も違うわけですから。

長谷川　でも、どういう会話をつくろうかって、最初はけっこう悩みましたね。

蒼樹　最初に女の子の会話の特徴って何だろう？ って話をしましたよね。オチがなかったり、突然ほかの話にとんでいって、そのまま戻らないとか。

与口　そうそう、意味のない会話が多いんですよね（笑）。だから基本的には、ゆのたちが盛り上がって話していれば、意味がわかんなくてもいいのかな、ぐらいで（笑）。

長谷川　特徴としては、会話をつくらない、というのがありますよね。普通は会話もストーリーに沿ったものにするし、オチもつけるけど、そういうストーリーに合わせた会話はつくらない、ということで。監督からも最初にそういうお話が出てましたしね。

新房　『やっぱり猫が好き』（１９８８年放映のドラマ）みたいな会話劇をイメージしていたんです。ああいうのを、ゆのたち４人でできればおもしろいなって。

『ひだまり』ならではのフォーマットについて

——ほかにも、時系列が入れ替わっていたり、一話で一日を描いたり、『ひだまり』ならではのフォーマットも特徴かと思います。これらについてはいかがですか。

新房　確か、一話一日というのが一番最初に決まったはずです。

蒼樹　で、『ひだまり』って、レベルアップしてボスを倒すみたいに、成長やストーリーをメインに描くお話ではないですよね。その中で、次週も見たいと思わせる「引き」をどうつくるか、って話をみなさんされてました。そこで、時系列を入れ替えるのもいいのでは、って話も出ましたよね。成長をメインにしないならできるかも、という意味でも。

新房　オリジナルキャラを出したらどうだろう、って意見も出てましたよね。でも自分は正直、それは無理だと思ってた（笑）。メインの４人を浸透させる

女の子同士のとりとめのないおしゃべりは、『ひだまり』では毎回の定番。

やまぶき高校放送部ラウンジノート 番外編

こんにちは。やまぶき高校放送部の藤堂です。いつもは「きららキャラット」でみなさんのお便りを紹介していますが、今回はアニメの中で流れていたテレビやラジオの音声をいくつか紹介します。

本編以外にも、見どころ・聴きどころが多いところがアニメ『ひだまりスケッチ』の楽しいところですね。こういう遊び心って素敵だと思います。では発声練習開始！

■新発売のお菓子のＣＭ

○その1　2期7話（4月7日）

ナレーション「あなたの舌は、あなただけのもの。なら、おやつだってあなたのためだけに……。32ビットで生み出されるあざやかな色彩の中に、きっとあなたのオンリーワンカラーがある。変幻自在のボディから、あなたが見つけ出すフォルムは？　これは自由すぎるお菓子。名前さえない」

ことがまずは大事だと思っていたので、オリジナルキャラはかなり出しにくいなあ、と。でもそんなときに、沙英に妹がいる、って話が出てきて。
蒼樹　はい、登場はしていないけど設定としてはあったので。それで智花を出すことになったんですよね。

原作には未登場の智花が、アニメ１期では最大の伏線となった。智花が誰なのか気になって観ていた人も多い？

――あらかじめ、智花の性格や外見などは、決まっていたんですか？

蒼樹　いえ（笑）、漠然としたイメージだけでした。性格は、もっと尖っていて、沙英を敵対視するみたいな感じで。名前やビジュアルは、アニメに出すことになってから決めたんです。

新房　それで智花を伏線に使って、最終話までの「引き」にしたんですよね。時系列の入れ替えにも、上手くはまったかと思います。

長谷川　でも時系列の管理は大変でしたよ。1期では何話でどのネタを回収するかってメモを作りましたけど、2期からは表を作りました。やはり1期より2期のほうがいろいろと難しくて……（笑）。この日までは、ゆのは大家さんに会えないことになっているとかね（笑）。

新房　フォーマットの話だと、1期はしばりがどれも大変でしたよね。最初に困ったのが回想シーンを入れず、会話だけでその日学校であったことを盛り込もうというところ。

――それは、たとえばどういうことでしょうか。

長谷川　たとえば、1期の1話では前半がほぼリアルタイムで進行していきますよね。学校にいる間、ゆのと宮子は同じクラスなのでいっしょにいて

「会話をつくらないことが『ひだまり』の特徴」（長谷川）

蒼樹うめ

「まんがタイムきららキャラット」で『ひだまりスケッチ』を連載中。そのほかの作品に『てつなぎこおに。』など。

お仕事＆役割

『ひだまりスケッチ』のアニメ化に当たっては、脚本会議に参加したり、アニメスタッフ用に設定資料を提供したり（112ページ参照）。原作者がここまでアニメに協力するケースはかなり珍しい。

ご存知、うめ先生の声優まで担当。

新房昭之

代表作に『さよなら絶望先生』『ぱにぽにだっしゅ！』（いずれも監督）など。

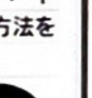
お仕事＆役割

監督の仕事はアニメによっても違うが、『ひだまり』での新房監督は、全体としての作風や仕上がりをコントロールしつつも、かなりの部分を各パートのスタッフさんの個性に委ねる方法をとっている。

スタッフをまとめて作品全体を見渡す、校長先生のような立場です。

○その2　2期8話（10月13日）
ナレーション「あなたの胃腸は、あなただけのもの。なら、あなたのためだけのおやつが、空腹を和らげ、幸福感で包む……。空気に触れただけで始まるサクセスストーリー。メイクドラマ。ミラクルマリン。あなたの口に飛び込むその瞬間まで、飲み込まれる最後の最後まで進化し続ける。これは自由すぎるお菓子。名前さえない」

○その3　2期9話（12月3日）
ナレーション「あなたの財布は、あなただけのもの。なら、あなたのためだけのおやつを買うべき……。膨張と縮小を繰り返し、経験値をためていく。そこに落とされる一滴の水。目覚める力。明かりを消すと、淡く光る。マジックでファンタジーな風景があなたを呼んでいる。これは自由すぎるお菓子。名前さえない」



このお菓子、結局いつ発売されたんでしょうね？

■1期9話（テレビCM）
（戦いの効果音ピシバシで）
ナレーション「大人気のトレーディングカードゲームの続編、遂に発売！」
少女A「行けーっ！　二十一歳独身、三流大学の四年生！」
少女B「フフフッ、甘いわね。それで私に勝てるとでも思って？　こっちは二十五歳独身、IT会社の社長よ！」

長谷川菜穂子

代表作に『ゼロの使い魔～三美姫の輪舞～』『PEACE MAKER 鐵』（いずれもシリーズ構成）、『天地無用！ 魎皇鬼（第1期）』（脚本）など。

お仕事＆役割

大まかに説明すると、シリーズ構成とは作品に参加する脚本家さんたちのまとめ役。何話目ではどんなお話を入れて……など、文字通りシリーズの構成の担当も。長谷川さんは『ひだまり』では1期2期両方でシリーズ構成を担当。

1期5話 脚本

シリーズでもオリジナル部分が多い回で、ゆのの夢の中のお話。

1期12話 脚本

インタビューでも触れられている、智花が登場する最終回。

2期1話 脚本

新シリーズ一本目。ほかに2期最終話も長谷川さんが担当した。

「1期12話の、ひだまり荘の実感がすごくよかった」（蒼樹）

やりとりもできるけど、沙英とヒロは放課後になるまで登場しません。後半になってひだまり荘で一堂に会したところで初めて、始業初日をみんながどう過ごしていたか、会話を通してお互いにわかるという。

与口　回想を入れるにしても、必ずその日の中の出来事まで、というくくりでやっていましたよね。

新房　うん、1期はそういう苦労がありましたね。

作品の最後をどう締めくくるか

——基本的に原作準拠でありながら、オリジナルの話もありました。

蒼樹　1期12話は、長谷川さんに大変な苦労をかけた記憶が……。

長谷川　12話はすごい苦労しましたね（笑）。

新房　一番難しかったのは、ゲストキャラ（智花）が出てくるという点ですよね。でも最終回だし、主人公はゆのだから、というところのバランスが大変だったと思います。正直なところ、かなり無茶なお願いをしている、とは思ってました。

蒼樹　でも、智花が来て普段とは違うひだまり荘が描かれた後、智花が帰っていつもの4人の会話に戻っていくところ。そこが、今までとは違う、こう、ひだまり荘の実感みたいなものが感じられて……。智花がいるときといないときの差を、ああ、とっても綺麗にやっていただいたなあって、うれしくなりました。

長谷川　そう言ってもらえるなら良かったです（笑）。結果的には、まとまりのある話になりましたね。

新房　でも1期が綺麗に終わりすぎたから、2期では最後はどうしようか、って最初の段階から話していた覚えがあります。

与口　1期1話の前日にしようと決まってからも、いろいろと大変でしたよね。これは最終話に限ったことではないですけど、やっぱり、すでにできたお話の前日を書くのは難しいです。翌日の話はある程度自由に書けるけど、前日はつじつまを合わせるのが大変で（笑）。

長谷川　そういう意味でも、2期の方がいろいろ大変でしたよね。

少女A「かかったわね！ 血筋カード、オープン！ 彼の父親は一部上場企業の会長よ！」

少女B「し、しまったああああっ！」

ナレーション「最強の玉の輿を目指すセレブ達が火花を散らす！ トレーディングカードゲーム『ウエディングデュエル／戸籍に七つの×（バツ）を持つ御曹司』！」

私が結婚するときは、相手はもっと慎重に選ぼうと思います。

■1期10話（ラジオ）

パーソナリティ「ここで、道路情報をお伝えします。菊池さん、お願いします」

菊池「はい、午後四時発表の道路交通情報です。トウヘイ高速は、タツタから先10キロの渋滞。トラックの横転事故によるもので、トラックに積まれていた約1トンのペンキが、道路にまかれました。ペンキが乾くまで身動きが出来ない状況です。

ミホリパーキングエリア付近は、約15キロの渋滞。ここでもトラックが横転する事故があり、麦チョコが道にばらまかれました。現場では、チョコが溶ける前に回収しようと、懸命の復旧作業が行われています。

スギカワサービスエリアでも、トラックが横転し、約50キロの渋滞が発生しています。トラックで出荷されるところだった食肉用の牛5頭が逃げ出しましたが、捕獲されたあとの彼らの運命を思うと不憫でならず、捕獲作業に

２期の制作が決まってから

―では、２期の制作が決まってからのお話を。１期のフォーマットから、変化が出た部分がいくつかあります。

与口　監督から、トータルで一か月分ぐらい話があるようにしたいという話がありましたね。だから１話のＡパートとＢパートで２本分のお話を入れる回が出てきました。

―ゆの以外の視点で一日を描く回もありました。

蒼樹　そういうのって、書いていて感覚の違いはありましたか？

与口　でも脚本としてはあまり変えた意識はないんですよ。朝起きて、夜お風呂に入って一日が終わる、というところは変わりませんから。

宮子視点で描いた２期４話Ａパートは、複数の日にまたがる特殊な回だ。

長谷川　そうですね。基本的には、そういうフォーマットは継承して、多少新しいものを入れたり、です。

蒼樹　Ａパートだけで一日が終わると、単純に長さが半分になりますよね。そこは大変でした？

与口　半分でも、描くことは描かないといけないので、（脚本の）枚数が気になったりしました（笑）。そういう意味で大変だったのは６話。

長谷川　沙英とヒロのお話を両方入れた回ですよね。確かに大変でした。

新房　でも、沙英と編集さんとのやり取りは、おもしろかったよね。

蒼樹　沙英がゆのたち４人以外としゃべってるっていうだけで、広がる感じがしました。沙英は沙英で、ゆのたちが知らない別の世界をもっているんだな、って。

新房　それぞれの世界みたいな話だと、大家さんの設定は、全部明かせなかったのが残念ですね。

蒼樹　アルバイトをしている理由は、「大きな買い物をしたから」なんですけど、それがなんなのかは、内緒のままですしね。

―大家さんや桑原先生たち、サブキャラクターの登場が、２期からはかなり増えましたよね。

新房　２期からはキャラクターをちょっと増やしたいと思ったんです。１期はゆの目線だけど、２期はひだまり荘の４人の目線と言うか、４人が全員主人公という意識なんです。だから、キャラクターを増やしても大丈夫かな、と。

与口　キャラクターが増えると、ちょっと違う視点のシーンが作れるんですよ。１期の吉野屋先生はほとんど校長先生との絡みしかなかったけど、２期では桑原先生とも話をして、１期とは違う場面を作れました。

―ほかにもみさと先輩や藤堂先輩など、原作には出ていないキャラや、意外なキャラクターが出ました。

「２期になっても脚本としてはあまり変えずに」（与口）

大家さんがアルバイトを続ける理由とは？　原作か第３期で明かされることを期待。

遅れが出ています。

以上、道路交通情報でした

パーソナリティ「菊池さん、ありがとうございました」

渋滞の理由にもいろいろありますね。ドライバーのみなさんはイラつかずに安全運転を心がけて下さい。

■**２期３話（テレビ）**

司会「宇宙人は本当にいるのか!?　スタジオでは白熱した討論が繰り広げられております」

専門家「だからぁ、宇宙人はちゃんといるのー」

教授「いるわけないですよ！　あんなのは全部トリックなんです！　全部科学で証明できるんです！　いないんです！」

専門家「いるのー　人間のフリして生活してるんだってばー」

教授「我々と一緒に生活してるっていうんですか!?」

専門家「そういうことなの」

教授「じゃあ連れて来てくださいよ！」

専門家「まりんちゃーん」

教授「連れて来てるの!?」

司会「はい。今日は、自称宇宙人のまりんちゃんと河川敷から中継をつないでおります。まりんちゃーん？」

まりん「ハーイ！　まりんでーす」

専門家「まりんちゃーん、まりんちゃんはどこから来たのー？」

まりん「まりんはー、浦安…あ、まりん星からやってきましたー」

「うめ先生といっしょにファンが喜ぶものをつくる」（新房）

与口奈津江

代表作に『ぼくらの』『S・A～スペシャル・エー～』『ドラえもん』『これが私の御主人様』『ギャラクシーエンジェル』（いずれも脚本）など。

お仕事＆役割

与口さんは１期では脚本を４話分担当し、『×365』からは長谷川さんとともにもう一人のシリーズ構成として参加。また『×365』ではシリーズのおよそ半分にあたる６話分の脚本を担当している。

体育祭前日。当日（２期８話）も与口さんが脚本を書いた。

Ａパートは、吉野屋先生の一日を描いた２期でもかなりの異色編。

おしゃべりに撮影会が加わって、普段以上ににぎやかなお話だった。

与口　原作から特徴を拾えないので、みさと先輩は口調でけっこう悩みましたね。ただ、そこはうめ先生が随時見てくださったので。

長谷川　シナリオ会議の場で、教えてくれるんですよね。

蒼樹　セリフの語尾とか、すごく細かく見せていただいたんですね。だから正直、私は脚本家の方にとっては口うるさかったのかな……とも思います。

長谷川　いえいえ、そういうのは逆にすごくありがたいです。わからないことはすぐに聞けたので、むしろ、とてもやりやすかったです。

与口　ゆのについても、まだ原作にないシチュエーションになったときに、「このときゆのならどうする」ということを直接聞けましたしね。これまでこういう現場は経験なかったので、ああ、いいなあと思いましたよ。

蒼樹　私、重箱の隅をつつく、姑みたいな立ち位置になっているんじゃないかと思っていたんですけど。そう言ってもらえると、ほっとします。ありがとうございます。

原作者がアニメに関わることの意義

――蒼樹先生は、原作を描くにあたって、アニメから影響を受けたものはありますか。

蒼樹　ありとあらゆるところだと思ってますが、定番ネタの使い方の上手さも、そうですね。たとえばヒロであったらダイエットネタとか、頻繁に登場するネタがあるじゃないですか。すべてをそこに頼りきるとおもしろくないんだけど、繰り返しであっても、その見せ方であったり、回数の程度であったり、タイミングとかですごくおもしろくつかえるんだなあと思いました。

――絵の面ではいかがですか。

蒼樹　アニメの絵ってすごくイキイキしているので、自分の絵に足りないものが非常に見えてくるといいますか（笑）。私が書いている4コマの中でも、背景の処理の仕方をアニメーターさんが解釈したときに「あっ、こういうのもあるんだと」とか。そういう点もおもしろかったです。そしてあちこちで言っていますが、声優さんの影響も大きくて、頭の中でも、セリフが再生さ

教授「今、『浦安』って言ったでしょーっっ!?」
まりん「わーれーわーれーはーうちゅーじんだー」
教授「はぁ!?」
まりん「それでは、UFOを呼んでみたいと思いまぁす。…ぴるぴるぴるぴるぴるぴるぴるぴるぴるぴるぴるぴる……」
以後、まりんはUFOを呼び続ける。
教授「あんなのどこから連れてきたんですか！」
専門家「二丁目で…」
教授「二丁目!?」
司会「だんだんと空が厚い雲に覆われてきましたね－。――あっ！　UFOです！　UFOがまりんちゃんの頭上に現れました！」
教授「トリックなんですよね!?　ねぇアレ、トリックなんですよね!?　あんなセットまで作って、馬鹿にするのもいい加減にしてください！　帰りますよ!?」
専門家「ちょっと－、黙っててよ－」
教授「なっ!?」
司会「あぁ！　まりんちゃんが天高く昇っていきます！　――今、まりんちゃんがUFOの中に入っていきました――!!」
専門家「あーあー。まりんちゃん行っちゃったよー」

こういう自称宇宙人の芸能人っていますけど、まりんちゃんは本物なんですね……。

れるようになっちゃいましたから。

――原作者がアニメにここまで協力するというのは、やはりあまりないことですよね。

長谷川　なかなかないと思います。

与口　私も今まで経験ないです。

――でも新房監督は、そういうやり方で手がけられたアニメが多いかと思います。

新房　昔とはアニメの作りも変わってきたと思うんです。昔はアニメはアニメスタッフのもので、自分達の作品として作っていました。でも今のようにアニメの数が増えると、作品の個性がより光ってないといけないと思うんです。原作自体の個性を活かすには、やっぱり先生に見てもらうのが一番ですよね。原作ファンも納得できるものが作れますし。だから我々がやっているのは、うめ先生といっしょにファンが喜べるものをつくる、ということかな。これは我々『ひだまり』スタッフだけではないはずで、そういう時代なんだと思います。

蒼樹　私もいっしょに作った感がすごくあります。参加させてもらって、すごくありがたかったです。

定番ネタのひとつとして、沙英のスレンダー体型についての話題も。ヒロも沙英も気にしすぎ。

「アニメはいっしょに作った感がすごくあります」(蒼樹)

最後に、もし3期があるなら?

――もし3期をやるとしたら、どうしましょうか?

長谷川　どうしましょうね。学年を上げて、一度リセットできるといいかもしれないですね。

蒼樹　もしくは2、3月の進級前のエピソードから始めて、そのまま4月へ……う〜ん大変。原作が足りないですね(笑)。

新房　ゆのたちが入居する前も見てみたいよね。ヒロと沙英が一年生で、吉野屋先生がその担任で。みさと先輩もいるわけでしょ。ほかの先輩もいるかもしれないし。

蒼樹　はい、もうひとりいます。

与口　時系列シャッフルはすごく大変でしたけど、いつでもいまでも、あの子たちはひだまり荘にいるんだなと思うとまだやれる話があるんじゃないかって気がしますね。

――先生、最後にファンやスタッフへ一言いただけますでしょうか。

蒼樹　アニメが終わった後、私はスタッフさんの輪から離れてひとりになってしまった……って寂しくなったんです。そういう意味でも、3期があるならすごく幸せだろうなと思います。でも今は、2期までご一緒させていただいたファンやスタッフのみなさんに改めて感謝です。本当にどうもありがとうございました。

ゆのたちの入学式もよかったけど、乃莉やなずなの入学式も見てみたい。

■2期4話Aパート(テレビ)

リポーター「自転車少年シンヤ君の旅、ゴールはもうまもなくです。もうすぐこの会場にシンヤ君が……あっ!! 見えてきました! シンヤ君です!」

シンヤ「はあ、はあ、はあ……」

リポーター「シンヤ君がんばって! あとすこし! もうちょっと!」

シンヤ「はあ、はあ……はあっ!」

リポーター「ゴール!! シンヤ君がついにゴールしました! シンヤ君、まずはお疲れさま」

シンヤ「あ、どうも、すみません」

リポーター「東京からここ福岡まで、自転車の旅を終えた、今の気分は?」

シンヤ「あ〜、うれしいですね。これでもう自転車のんなくていいんですもんね」

リポーター「いろんなことがあったと思うけど、この旅で一番つらかったことは何?」

シンヤ「つらかったというか、スタッフさんに怒られた時は怖くて、もう逃げようかと思いました」

リポーター「怒られた? 何で?」

シンヤ「なんか、休みすぎだって。三十分ごとに休憩したり、週休三日だったり、それはどうなのって」

リポーター「そっか……。じゃあ、この旅でうれしかったことは?」

シンヤ「あ、生まれて初めて飛行機に乗れたことです!」

リポーター「……シンヤ君、そのことはあまり」

STAFF INTERVIEW 2

演出と作画のお話

1期・2期を通して作品に関わってきた、演出と作画のスタッフさんたちにお話をききました。裏話もいっぱいです。

☆新房昭之　総監督（1期）・監督（2期）
☆伊藤良明　キャラクターデザイン・総作画監督
☆尾石達也　プロダクションディレクター（2期）
☆潮月一也　作画監督

4コマ漫画をアニメでどう見せるか

——『ひだまりスケッチ』をアニメにするに当たって、まずどのようなことを考えましたか？

新房　原作を読んだときに、正統派な4コマ漫画だと感じました。しかも全部読むと、ひとつ筋が通ったお話が成立しているという奥の深さもわかる。これはおもしろいアニメにできる、と思いました。それで既存の4コマ漫画のアニメ化作品とは違う形にしたいなあ、と考えて……。最初は、全部セリフこぼし（前のカットで映っていたキャラのセリフを、そのキャラが映っていない次のカットにこぼすこと）でやるくらいの方法をやってみたかったんですけど、どうしてもカット数が多くなるのであきらめました（笑）。

尾石　でも結局、カット数は相当多いですけどね（笑）。

新房　会話劇がメインの作品だからということで方法を模索したら、そうなっちゃったね。

伊藤　カット数が多くなると、自分たち作画陣はかなり大変です（笑）。アクションアニメより労力がかかるかもしれないです。

新房　普通は1話あたり200から300カットくらいだけど……。

尾石　『ひだまり』は500カット超えてますからね（笑）。

新房　手間隙と予算を考えると、たぶんシャフト以外の制作会社では絶対許してくれなかったと思います。リテイクする枚数もかなり許してくれたし、普通とは違った表現がないか粘らせてくれたのは、シャフトという環境に助けられた部分がかなり大きいですね。

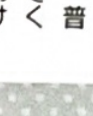
ひだまり荘とキャラクターのデザイン

——では1期のころのお話から。尾石さんは1期では設定デザイン協力という役職でした。

尾石　僕が参加したころ、最初に手がけたのはひだまり荘の外観や内部の設定です。宮子の部屋なら長机があって小物がたくさんあるといった具合ですね。そして小物を実際に買ってきて撮影して貼って……手間でしたけど、建物を自分の好きな形にデザインするのは、すごくおもしろかったです。でも、とても家賃4万5千円で住めるような

各部屋の定番アングルのうち、沙英の部屋は真上からのショット、宮子の部屋は真横だ。

シンヤ「すごいですねー。名古屋から福岡まで、たった一時間二十分ですよ。感動しました！」
リポーター「えー、実はですね、危険地帯がありまして〜」
シンヤ「ゴールに間に合ったのも、飛行機のおかげですよねー」
リポーター「シンヤ君……もういい。最後に一言！」
シンヤ「あ、はい、今までありがとうございました。これから東京に帰ります。あー、帰りも飛行機がいいな」
リポーター「シンヤ君、本当にお疲れさまでしたー!!」



シンヤ君の感動のゴールシーンですね！　私もこれ見てました。

■2期6話（テレビ）
司会「明日で7月も終わりですねー。いよいよ夏本番といったところでしょうか。暑い毎日が続いておりますが、今日は背筋も凍りつく心霊特集でお送りしたいと思います。スタジオには住職のオタムトさんにお越し頂きました」
霊能者「どうも。オタムトです」
司会「心霊写真を撮ってしまったという、まりんちゃんにもお越しいただきました」
まりん「まりん、お写真撮るのが大好きでー、この日も河川敷で皆で集まっててー、まりんがー」
司会「（遮って）早速問題の写真を鑑定していただきましょう。こちらです」
観客「キャアアアア――――ツッ!!!」

広さではなくなってしまった（笑）。
伊藤　ああ、たまに謎の空間ができたりしましたよね（笑）。
尾石　そう、最初は細かいところで抜けがあったから（笑）。あと監督からのオーダーとして、各キャラの部屋ごとに定番アングルを指定されたんですよ。ゆのの部屋はテレビ側から見たアングル、ヒロの部屋は玄関から見たアングルも必要になったので、対応するため新たに写真を撮ったりもしました。そういう増築部分（笑）も含めて、ひだまり荘の間取りやインテリアには、かなり自分の趣味が出ています（笑）。

「ひだまり荘のデザインには自分の趣味が出ています（笑）」（尾石）

――伊藤さんはキャラクターデザインを務められましたが、ご苦労などはありましたか。
伊藤　原作のうめ先生から「描きにくくないですか？」と聞かれましたが、自分としてはすんなり描けたつもりでした。第一稿のキャラクターラフについて先生から修正をいただいた以外は、ほとんど任せていただけましたし。でも今、第一稿を見返すと、まるで別人みたいなキャラクターになってますけど（笑）。
――蒼樹先生からは、絵についてご要望などはあったのでしょうか。
伊藤　要望ではないですが、最初、ゆのの髪留めがどんな形状なのか、よくわからなかったんですよ。それを教えていただきました。
新房　最初は普通の髪留めみたいに丸まったフォルムだったんだよね。先生に聞いてから、今の直線でバッテンに

こぼれ話１。次回予告４コマは、１期は上坪亮樹さん、２期は大沼心さんが担当。

伊藤良明

代表作に『さよなら絶望先生』（総作画監督）、『学園アリス』『劇場版 キノの旅 the Beautiful World 病気の国－For You-』（キャラクターデザイン・総作画監督）など。

お仕事＆役割
キャラクターデザインとは、アニメとして絵が動かせるようにキャラのデザインを起こす役職。総作画監督とは、絵柄がバラつかないよう全話を通して統一する役職。多くの人が作画に携わるアニメにおいて、どちらもとても重要。

これらの設定画を元に、作画スタッフはキャラクターを描く。

まりん「キャアアアアア――ッッ!!!」
霊能者「ギャアアアアア――ッッ!!!」
司会「だ、大丈夫ですか？」
霊能者「・わー・れー・わー・れー・ぱー・うちゅーじんだー」
司会「先生！　先生！」
霊能者「ハッ…、私としたことが…。これは凄まじい…。あなた自身から悪い霊気が感じられる…」
まりん「どうしたらいいんですか～？」
霊能者「うーん…。方法がないわけではないんだが…」
まりん「え～ん、教えてください～」
霊能者「…いや、あれはあまりにも危険で素人では…」
まりん「え～ん、お願いします～」
霊能者「…わかりました。あなただけ特別にお教えしましょう。…代々伝わる摩訶不思議な水晶を特別価格で譲り致します」
まりん「本当ですか～？」
霊能者「ええ。一般の方が取り扱うにはあまりにも危険だが、やむをえない。あなたを救いたい」
まりん「それを持ってれば大丈夫なんですか～？」
霊能者「そんな気がします」
まりん「え～ん。ありがとうございます～」
霊能者「それでは収録が終わったら楽屋の方に…」
まりん「はぁ～い」
霊能者「これで彼女は救われるかもしれません」

尾石達也

代表作に『ぱにぽにだっしゅ！』『ネギま!?』『さよなら絶望先生』（いずれもオープニングディレクターほか）、『月詠 -MOON PHASE-』（演出ほか）など。

お仕事＆役割

尾石さんは1期では「設定デザイン協力」というクレジットだったが、2期からはこちらの役職に。ひだまり荘のみんなの部屋のデザインを始め、作品の世界観作りには尾石さんのセンスがかなりの部分で発揮されている。

2期1話 演出・絵コンテ

2期は1話のアバンから動きまくりで、視聴者を驚かせた。

各話のサブタイトル画面

使われている写真の撮影や、ネタ出しまで尾石さんが担当。

ひだまり荘の設定

細部のこだわりが、ひだまり荘のリアルな生活感を醸し出す。

「原作未登場キャラは、うめ先生ならこう描くはず、と思いながら」（伊藤）

なった。

伊藤　あとは智花をはじめ、原作に出てきていないキャラについて、うめ先生からラフ画（113P参照）をいただきました。それを参考に、「先生ならこう描くはず」と思いつつ、描いてます（笑）。

――蒼樹先生の絵は、へちょ絵も特徴的かと思います。

伊藤　でも、こういうものだと思って描けば、自分はそれほど難しくなかったですね。ただ、ほかの作画さんは悩まれていたようです。

潮月　へちょ絵に限らずですが、僕は『ひだまり』の絵は難しいと感じましたよ。目のラインが独特な印象があります。伊藤さんから修正の嵐でした……。

尾石　でも潮月くんが作画監督をした2期5話の智花の回は、へちょ絵が多くてかわいかったですよね。

潮月　ありがとうございます（笑）。

新房　銭湯のシーンは楽しそうに動いていたよね。うめ先生も、5話はとにかくかわいかったと喜んでた。

潮月　智花には感情移入しやすかったので、描いていて楽しかったですね。特に髪留めがかわいい（笑）。2期5話は、作画監督をやれてうれしかったです。

伊藤　潮月さんには、ほかに2期オープニングでも協力してもらって、助かりました。

潮月　吉野屋先生がクルッとまわってキラーンのところ、宮子がINしてくねくねするところ、ヒロがINして一回転するところを描かせていただきました。

――2期オープニングは本当によく動きますよね。

伊藤　あれはオープニングディレクターの大沼（心）さんが「時間が少しとれたので動かしましょう」と。スタッフみんながほんとに細かく動かしてくれて、大沼さんも処理にこだわってくれて。監督も「これは話題になるよ」と言ってくれました。

新房　でも伊藤さんの苦労は相当だったと思います。2期はかなり前倒しだったから、伊藤さんのところにいきなり1話から10話くらいまでのカットがドーンと来て、普通では到底無理な物量でした。その中であのオープニングでしょう。1期も時間がない中で、あの高い

司会「ありがとうございました。……続いては、霊現象に悩まれている方の登場です」

霊能者「むむ！　これは凄まじい……。悪い霊気が感じられます。代々伝わる摩訶不思議な水晶がなければ、救われないかもしれない…」

司会「この方もそうなんですか？」

霊能者「仕方がない。特別価格でお譲りしましょう。さ、楽屋へ」

司会「その水晶があれば大丈夫なんですか？」

霊能者「そんな気がします。要は気の問題なんです」

司会「は、はぁ…」

霊能者「なんと今なら特別にネット販売もしています。持っているだけで救われるかもしれない、代々伝わる摩訶不思議な水晶が、今なら数珠をモティーフにしたアクセサリーもつけて限定販売中です！」

まりんちゃんは、オカルト関係の番組出演が多いみたいです。

■2期8話（テレビ）

チョコ山「ショコラさん、どうです？久しぶりのシャバの空気は」

ショコラ「最高よ～。やっと帰ってこれたのね、この街に……あっ、私のうちよ！」

チョコ山「ああっ、ショコラさん、まずお話ししなきゃいけないことが」

ショコラ「おや……？　見知らぬファミリーが上がり込んでいるわね。家具

クオリティでまとめてくれたし、伊藤さんの力は本当に大きかったです。

2期になって変わったキャラクターたち

――そのまま2期の話をうかがいたいのですが、2期からキャラクターデザインが変わりましたよね。

伊藤　実は1期特別編のときから、メインの4人と吉野屋先生は変えていたんです。そこからさらに、監督の方から密度を上げてくれと言われて2期では新規で描きました。仕上げさんや撮影さんが処理にこだわってくれたこともあって、1期とはかなり印象が違っていますよね。

――監督、密度を上げるとはどういうことでしょうか。

こぼれ話２。ゆのの部屋の時計はシャフトの社長さんの私物。今では会社にあるとか。

新房　うめ先生の絵で雰囲気のいいところをプラスしてほしいという要求をしました。わかりやすく言えば次回予告の4コマの雰囲気ですね。あと、自分の演出では「寄り」と「引き」をよく使っていて、寄ったときは密度が濃くて、引いたときは普通に見せることを重視しているのですが、作画もそれに合わせた情報がほしかったんです。

尾石　でも、僕は2期のデザインにひとつ不満があります。ゆのたちの胸が大きくなってしまった（笑）。沙英の胸に谷間があるのを見たとき、膝から崩れ落ちましたよ。あれは伊藤さんの趣味なのかと（笑）。

伊藤　僕は何とか抑えてるんですけど、作画監督さんによっては巨乳にしちゃってるんです（笑）。

潮月　智花との銭湯のシーンでは、エロくしないように意識した……つもりです（笑）。

――キャラクターデザインのほかに、2期になって変えた部分はどんなところでしょうか。

新房　ゆのの立ち位置ですね。1期では主人公的な位置だったけど、2期では4人を主人公として描いてます。それと吉野屋先生や校長先生は、思わぬ方向にキャラが広がってますが……あれはいいのかなあ（笑）。

尾石　キャラとしては成長していると言えますけどね（笑）。

新房　少し気になっているんだけど、うめ先生がニコニコしてるから、ああ、これはありなんだって思うことにしてます（笑）。

――蒼樹先生と言えば、屋根の上にはうめ先生が登場していますが、作画される上ではいかがですか？

伊藤　うめ先生はとにかくかわいくしようと（笑）。

「智花の回を作監できてうれしかったです」（潮月）

こぼれ話３。作中の像は、シャフト内で作られたものも多い（これはその実物を撮影）。

も変わってるし、壁紙まで新しくなっている！　こいつは大いなるナゾだよ、チョコ山君！」
チョコ山「いや…引き払ったんです、ショコラさんがいなくなってすぐに」
ショコラ「何ですって！」
チョコ山「だって、家賃もったいないじゃないですか。長いこと留守になるのわかってたし」
ショコラ「待ってなさいよ！」
警部「お困りのようだな、ラブリーショコラ」
ショコラ「えっ……あ!!　あなたは!!　警部!!」
チョコ山「そ、そんなわけないですよ。警部は六年前に死んだはずです！」
ショコラ「でも、警部は車ごと崖から転落しても、海の底に沈んでいっても、北極で姿を消しても、その後、生き返ったわ！」
チョコ山「じゃあ、また……いや、けど、六年前は大気圏で燃え尽きたんですよ？　さすがに……」
警部「フフフッ。君たちには、双子の弟が世話になったね」
ショコラ「双子!?　な～んだ、あなたは警部の双子のお兄さんだったのね」
チョコ山「そうでしたか。顔も声もそっくりですね」
警部「ああ、それに俺も警部なんだ」
ショコラ「じゃあ、あなたのことも警部って呼んでいいわね」
チョコ山「では、警部。どうしてここに？」

潮月一也

代表作に『ネギま!?』『ef - a tale of memories.』『さよなら絶望先生』（いずれも作画監督）、『ぱにぽにだっしゅ！』（原画）など。

お仕事＆役割

アニメは多くの人間で原画を描くことがほとんどなので、各話の中で絵柄を統一する作画監督が立てられる。絵柄だけでなく、レイアウトや芝居などの管理もするため、その話数の作画についてあらゆる面での責任者と言える。

1期7話 作画監督

体育祭の前日を描いた回。夏目と大家さんが初登場した。

2期5話 作画監督

智花と吉野屋先生も加わったお風呂シーンがとにかくにぎやか。

2期13話 作画監督

最後を締める重要な回。ゆのの「ただいま」が印象的。

「2期の1話では今までと違うインパクトを要求したかった」（新房）

新房　伊藤さんはうめ先生大好きだからね（笑）。

尾石　原画の阿部（厳一朗）くんもうめ先生が好きで、描きたいって言ってました。2期1話でも、体育館の中にこっそりうめ先生を描いてましたよ（笑）。

新房　実際のうめ先生も、スタッフみんな大好きです。原作者に協力してもらえると、やっぱり現場やフィルムに一体感が出ますから。すごくいい影響をもらってますよ。

プロダクションディレクターという役職について

――尾石さんは、2期からはプロダクションディレクターに就きましたが、どういったお仕事をされる役職なのでしょうか。

尾石　美術設定のほか、自分が絵コンテや演出で参加していない話数もチェックしたり、色々です。でも、他の話数のフォローをしているとき、演出さんに頼まれて素材を直していたら、阿部くんから「尾石さんのやってることって雑用ですよね？」って言われました（笑）。

新房　尾石さんには、1期のころよりも踏み込んだ立場で関わってほしかったんです。ひだまり荘を含めた作品の世界観作りには、尾石さんのセンスがかなり反映されてますね。

――尾石さんは、2期では1話の演出もされています。

新房　1期とは別のインパクトが、2期の最初にほしかったので、「いつもの『ひだまり』でなく、普通にベタなもので」、あと「作画アニメにしてほしい」とお願いしました。

尾石　でも、そのオーダーとはちょっと違うものになってしまいました（笑）。新生活を迎えるドキドキと期待を1話で表現するために、特殊な演出が多くなってしまって。でも教室が暗いのは、受験に臨むゆのの漠然とした不安や緊張を表したからで、そういう心象表現はベタなものになってます。だからそれほどセオリーから外れてはいないんですよ。

新房　そうだね。こちらの意図とは違う感じになったけど、確かにいつもの『ひだまり』とは違うものになっている

警部「ラブリーショコラがこの街に戻ってきたと聞いてね。実は、君に頼みたいことがある」
ショコラ「え……？」

×　×　×

ショコラ「う〜、もう食べられない〜」
警部「何を言っている、まだこんなにあるんだぞ」
ショコラ「でもずっと同じ味じゃ〜。もう飽きた〜〜」
チョコ山「へえ、警部さんも集めてるんですか、プロゲートボールチップスのカード」
警部「お、チョコ山君もか」
ショコラ「何で？　どうして？　おじいちゃんおばあちゃんのカード集めて、何がうれしいの!?」
チョコ山「あ…そっか、ショコラさんは…」
警部「ずっと社会から隔離されていたんだよな…わからなくても無理はないか…」
ショコラ「しみじみしないで！　まだ若いしやり直せるもん！」
チョコ山「ショコラさん、じゃあ、僕と結婚しませんか？」
ショコラ「えっ！」
警部「おい、そうなると君たちが結婚するのは三度目だぞ。双子の弟から聞いていたから知っている」
チョコ山「そうですけど、あなたにやり直すつもりがあるなら、もう一度……！」

し、演出的な意図としても外れていない。そして2話からはいつもの『ひだまり』に戻っている。そのギャップもおもしろいのかな。

尾石　ただギャップということだと、僕は1期2話で絵コンテと演出を担当したんですが、自分なりには手ごたえがあって、やりたいことをかなり形にできたんです。でも、ネットで反応を見ると、2話を褒めている人がいない（笑）。1話が丁寧なキャラ描写ものだったので、『ひだまり』はそういう作品だと思われてしまったのかな、と。

新房　自分も最初、2話は「すごい、これはいける」と思ったんですよ。でも視聴者の反応を聞いたら「あれ？　違うの？」と（笑）。

伊藤　でも今では、逆にその2話が人気ありますよね。

尾石　ああそうだ、あと2期1話では、小ネタですけど、合間に出てくるメーターの数字には意味があるんですよ。中央の数字が日時を表していることは気付いた人が多いみたいですけど、その下は原作単行本の出版コードなんです。

伊藤　いや、それは尾石さんにしかわからないと思いますよ（笑）。

2期1話で飛び交うこのバッテンは、CGではなく手で動きをつけているという。

『ひだまりスケッチ』を振り返ってみて

――それでは最後に、『ひだまりスケッチ』1期・2期までを終えられてのご感想をお願いします。

伊藤　1期のとき、時間が足りずにとても悔しい思いをしたんです。だから2期の制作が決まったときは本当にうれしかった。絶対に挽回する、という気合いが入りました。2期までやれて、本当によかったです。

尾石　深く関わった作品で、キャラクターひとりひとりに愛着があります。もし次があるなら、ぜひやりたい。1期で体育祭の前日をやりましたけど、当日のエピソードは2期でしたよね。そういう補完を、他にもしてみたいですね。

潮月　次があるなら、僕は沙英と智花の関係性をもっと深く見てみたいですね。そういう話があればぜひまた関わらせてください（笑）。

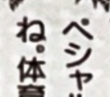
新房　アニメが終わっても『ひだまり』の世界は続いてます。日常のエピソードはまだまだあるでしょうし、過去や未来の話もありますから。原作では新しいキャラクターも出ましたし、彼女達もアニメで描いてみたいですね。

「2期までやれて、本当によかった」（伊藤）

こぼれ話4。1期3話のデッサンは、蒼樹先生が実際に学生時代に描いたもの。

ショコラ「チョコ山君……」
チョコ山「ショコラさん！」
ショコラ「うん……キープで！」

CMに入って――



「ラブリーショコラ」の2時間スペシャルが放送されたんですよね。体育祭と同じ日だったから、よく覚えてます。

■2期10話（テレビ）

ナレーション「むか～しむかし、あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました」
おじいさん「それじゃあ、ばあさんや、わしは芝刈りに行って来るだよ」
おばあさん「はいよ、じいさん。私も川に洗濯に行って来るだよ」
ナレーション「おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。おばあさんが川で洗濯をしていると、向こうから大きな桃が流れてきました」
おばあさん「あんら。おっきい桃だこと」
ナレーション「…おばあさんは桃が流れて行くのを黙って見送りました。その頃、おじいさんは竹やぶの中にいました。おじいさんは、一本だけ神々しく光っている竹を見つけて」
おじいさん「なんだべ、この竹だけ光っておる。おお、おっかねえおっかねぇ」
ナレーション「怖くなったおじいさんは、急いでおうちに帰って行きました。おじいさんは家に帰る途中、罠にかかった鶴に出会いました」

STAFF INTERVIEW 3

美術と背景のお話

『ひだまり』という作品の雰囲気を支えていた、特徴的な背景についてのお話をどうぞ。

☆新房昭之 総監督（1期）監督（2期）
☆飯島寿治 美術監督

「背景で『ひだまり』だと分かる、それだけで大成功」（新房）

はっきりと特徴的な「ひだまり」の背景

―『ひだまり』の背景は、模様になっていたり、色彩が特徴的だったり、他のアニメとはかなり違う印象があります。

新房 いわゆるイメージBG（実際の舞台ではなく、イメージで描かれる背景）が多い上に特徴的だからでしょうね。そうしたのは、原作ものは特にですが、作品ごとにカラーを変えるべきではないか、と思っているからです。原作であれば、原作者が背景も描いてるわけじゃないですか。だから、背景だけ、擬音の描き文字だけで、それが何の作品かが分かる。それをアニメでもやりたいと、ずっと思っていたんですよ。そんなときに、前に別の作品でご一緒した飯島さんが独立して会社を立ち上げていることをHPで知って。これはぜひお願いしようと。

飯島 最初のころは手探りでやっているところがあったから、いろいろご迷惑をかけたんじゃないかと（苦笑）。イメージBGだけでなく、背景では具体的な描写をしない、というのもありましたよね。

新房 4コマによくある、1コマ目に場所を示す背景があって、2コマ目からはイメージ的な背景が続くというもの。そういうのをアニメでもできるんじゃないか、と最初は本気で思ってたんです。でもそれは、映像になると据わりが悪い。だから、背景のシルエットだけを残して映像処理したり、いろいろやったね。

飯島 この作品のBGの定番、というようなものが、どんどん増えていって。

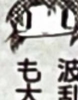
新房 特別編からは、絵的にも面白く、独特のものができてきたな、と感じましたね。どの背景を見ても『ひだまり』だと分かる。それだけで、大成功ですね。

―そういった背景を作るのは、やはり大変なお仕事でしたか？

飯島 正直に言えば、それはありますね。シンプルな分、描く手間自体は少ないのですが、デザインの面で考えて、何度もリテイクを出すのは、日常的なことでした。背景スタッフには、1話あたり何十というリテイクを出して、描き直してもらったり。それにこの作品は、イメージBGの流用がないんですよ。普通の作品だと、前に描いたBGを流用できるのですが。だから、第二

これが話に出ているイメージBG。特別編でひとつの完成形に到達したとのこと。

おじいさん「おお、かわいそうに」
ナレーション「おじいさんは鶴を助けてあげました」
おじいさん「次は気をつけるんじゃよ」
ナレーション「その夜、おじいさんとおばあさんが寝ようとすると、戸を叩く音が聞こえてきました」
おじいさん「こんな夜更けに一体誰が…」
おばあさん「どちらさまですか」
若い娘の声「どうか一晩泊めてください」
おばあさん「人里離れた山奥に娘っ子一人なんて…きっと鬼婆に違いない。おお、おっかねぇ。（戸に向かって）すまないけど、どうかよそへ行っておくんなまし」
若い娘の声「……」
ナレーション「おじいさんとおばあさんは、警戒して娘を家に泊めませんでした。こうして今日も二人の一日が終わり、仲良く抱き合って眠りに就くのでした。めでたしめでたし」



波乱のない平穏な毎日というのも大事なものですよ。

■2期11話

キャスター「今日行われました全世界ボブスレー大会は、主催者が頑なに中止を拒み、全員ゴールするまでやりましたが、結局なかったことになりました」

主催者さん、どうしたんでしょうか？ 選手のみなさん、可哀想……。

期なのに新作みたいな苦労がありました。それにみんな、イメージBGのネタが枯れてきてしまったりも（笑）。でもゆのの部屋のデッサン人形のポーズを細かく変えたり、楽しんでいる部分もありますけどね。

新房　でもイメージBGに限らずですが、おかげで『ひだまり』のBGはすばらしかったですよ。2期1話の背景なんて、劇場作品クラスでしたしね。

「背景のシルエットだけを残して～」というのは、このような画面のこと。

アニメにおける美術・背景の重要性

――一般視聴者にとってアニメの美術や背景は、あまり目が行きにくいところかとも思います。どういう点を見れば、重要さがわかりますか。

新房　アニメって、背景の善し悪しでかなりの部分が左右されるんですよ。画面の7～8割は、背景ですから。キャラをどれだけ描き込んでも、背景が死んでいたら、もう意味がない。それを考えると、背景・撮影という縁の下の力持ちにフォローしてもらった部分が大きい作品だと、心底思います。

飯島　でも背景や美術は、描き込めばよい、というものでもないんですよね。背景って、絵の細かさという以外のポイントが、あるんですよ。僕が気を配っているのは、背景がデザインとして成立していること。描く物の配置はどうか、色のバランスはどうか。そういうところまで見てもらえると、背景というもののおもしろさも、分かってもらえるんじゃないかな、と思います。

「シンプルな反面、リテイクが何十と出る背景でした」（飯島）

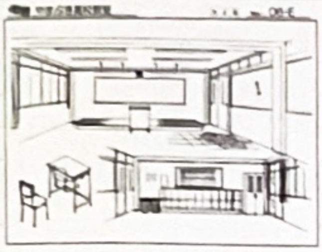
飯島寿治

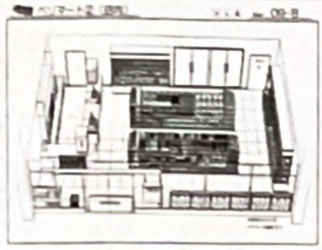
代表作に『魔法遣いに大切なこと ～夏のソラ～』『よつのは』『夜明け前より瑠璃色な』『京四郎と永遠の空』（いずれも美術監督）など。

お仕事＆役割

美術監督はまず、線画の美術設定や、美術ボード（色がついた背景の見本）を描く。これをもとに、各話の各カットごとに背景を描かれていくわけだが、『ひだまり』では飯島さんの会社・竜美堂がその背景まで担当している。

美術設定





美術設定を一部紹介。アニメに登場する場所の数だけ設定は存在する。

■2期12話（テレビ）

司会「続いては、お天気占いです。良スミさーん」

良スミ「どりゃーー!!」

ブチブチッと音がして、

司会「あぁっ!!　右の眉毛があり得ない方向に飛び散りました!!　良スミさん、これは一体…？」

良スミ「この眉毛の落ち方…おそらく、雨が降るでしょう」

司会「皆さん、今日は雨が降るかもしれませんよ」

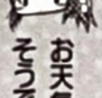
良スミ「しかも、豪雨になるかも…ならないかも、しれません」

司会「そうですか。…皆さん、お出かけの際には傘を持ってお出かけくださいね」

司会「そういえば今日は七夕ですね。星を見ることはできるのでしょうか？」

良スミ「さぁ？　この眉毛ではそこまでは…」

司会「以上、良スミさんのお天気占いでした。CMの後は森田さんの天気予報をお伝えいたします」



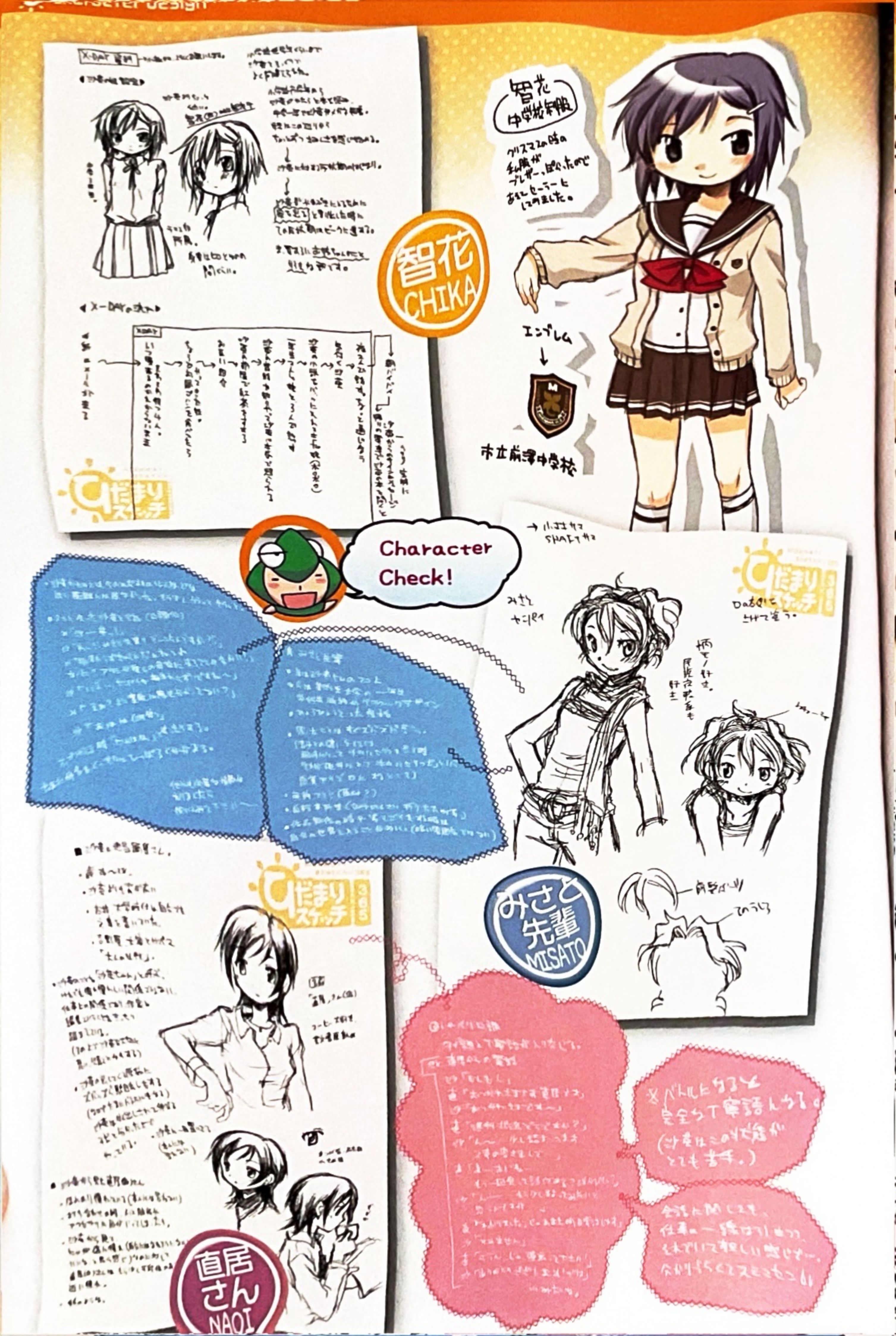
お天気占い……当てにならなさそうですね……。

放送部員として、こういう原稿は勉強になります。本当はもっとあるので、『ひだまりスケッチ』1期のホームページもご覧くださいね。

ひだまり荘の屋根裏

04 キャラクター設定資料 by 蒼樹うめ

うめ先生がアニメスタッフに渡したキャラクター設定の資料を公開。ゆのたち4人は私服デザインの参考として、智花・みさと先輩・直居さんは原作に未登場なのでキャラ原案として描かれた。



智花 CHIKA
智花 中学校制服
クリスマスの時の私服がブレザーだったのであえてセーラーにしてみました。
エンブレム
市立前澤中学校
Character Check!
ひだまりスケッチ
みさと先輩 MISATO
直居さん NAOI

ひだまりスケッチ×365 オープニングテーマ

「?でわっしょい」

聴く＆観るだけでテンションが上がる、まさに「わっしょい！」なオープニング。回によって細かく変化したカットは、「べつばーじょん」として紹介！

↑リズムに合わせて動き回るキャラクターたちがとにかくにぎやか！

べつばーじょん

5話と8話は、それぞれとある漫画と某ゲームが元になった言葉。特別編では歌詞に合わせた文字に。

Interview

オープニングディレクター 大沼 心

1期よりさらに元気な曲なので、手拍子よりも全身かな、と思い躍らせました。ゆのはがんばり屋、ヒロはしっかり者だから踊れる。宮子は勝手に踊りだす。でも沙英は踊れないだろうな……というイメージです(笑)。でも実際の動きの面では作画さんにとても助けられてますね。例えば⑧は、コンテでは「沙英が転びかける」というくらいの指示でしたが、それをヒロが支えて手をつないで回転、というのは作画さんの発想です。また今回、新房さんから言われたのは「宮子の食事を毎回変えたい」だけでした。掛け軸は、原画さんが描いてくれたので「じゃあここも変えよう」と。イメージは寿司屋の湯呑みですが、視聴者のみなさんの予想を外そうと「肉」も入れました(笑)。

オープニング原作ネタ解説

⑫ 3巻90ページ「バラバラバラ」

⑬ 3巻17ページ「♪バーグラーベ～ルバーグラーベ～ル」

←みんな楽しそうに踊るけど、沙英だけは恥ずかしそう。校長先生は平泳ぎでスイスイ。

べつばーじょん

左から順に、⑮の文字が「ぴよっ」に、⑯の後ろにうめ先生、㉒の「？」が「梅」というように変わっている。

↑原作より引用したカット。いくつかは、アニメ本編でも登場した。

ココがポイント！

↑わっしょいに合わせて飛び跳ねるへちょ絵キャラも可愛すぎる！

1期をさらに上回るほどのインパクト抜群の歌詞。最初の手拍子では、手を叩くキャラによって違うものが飛び出しているので、ぜひコマ送りで確認を。

↑体に押されたスタンプには、それぞれの名前や部屋番号が。

べつばーじょん

宮子の食事と掛け軸の文字を、毎回予想していた人は多いはず。ちなみに11話では、万国旗を出す前にはトーストを食べていた。

べつばーじょん

ともに歌詞が2番になった特別編より。「男の子」という歌詞で⑯に校長先生が登場。㉔は「398」に合わせて指が「きゅっ」になっている。

↑→掛け声だけでなく、宮子の笛でもみんな「わっしょい」！

↑歌詞の「365」に合わせて、みんなの指も「さん」「ろく」「ご～」に。

↑→ゆのが転んでしまって撮影は失敗！この後、12話まで撮影は失敗続き……。

べつばーじょん

4話はトラックが前を通り、7話はカメラが倒れ、8話は学校前で撮影失敗し、9話は吉野屋先生に遮られ、12話は沙英とヒロがケンカして……13話でついに撮影成功！（しかもオールキャスト！）特別編はちょっと特殊で、みんなのポラロイド写真が表示される。

ALBUM ごー

ひだまり荘の365日

-『ひだまりスケッチ ×365』ストーリー解説 -

第１期に続いて、『×365』のストーリーも徹底解説。90 ページからのイベントカレンダーといっしょに読めば、一年間の流れがよりいっそうわかりやすくなるよ。

初出：キャラ☆メル Vol.4（一迅社） 原画：伊藤良明 仕上げ：シャフト 背景：竜美堂

ひだまり荘の四季 ②

お花見に、節分の豆まき。ひだまり荘の四季を感じさせるイラストを、『×365』からも集めてみました。

初出：コンプヒロインズ Vol.8（角川書店）
原画：伊藤良明 仕上げ：DIGITAL@SHAFT 背景：竜美堂

STORY

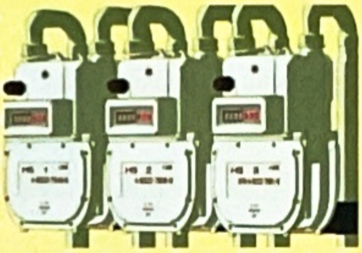
やまぶき高校を受験したゆのは、無事に合格。ひだまり荘へと引越してきた。そして早速、ひだまり荘の隣人たちの歓迎を受けるのだった。

はじめまして！うめてんてー

第1話

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ・演出：尾石達也　作画監督：伊藤良明

↓「お父さん心配してるだろうな」というゆのの言葉通り、お父さんが読んでいる新聞はすごく心配そう。



↑焦るゆのと同じく、慌ただしく回るメーターが挟まれる。この回ではたびたび出てくるが、この数字は日付と時間を表している。

↑いきなり大慌てで、どこかに急ぐゆの。『365』が始まって早々、いったいなにがあった？

→初めてくる場所、初めて会う人たちに囲まれて、焦ってしまうゆの。まるで体育館に一人きりで取り残されているような不安……。

↑なんとか受験には間に合った（宮子も風邪気味だけど間に合った）。お母さんの励ましに見送られて、ゆのは試験へ。

↑ホテルの枕では眠れないかも……というのは無駄な心配でした。ゆの、受験当日に思い切り寝坊！

みんなの服装（2月）

ゆの＆宮子（中学校の制服）

↑ゆのはブレザー、宮子はセーラー服。宮子の制服は、この後はお掃除着として使われます。

アルバムメモ

●ゆのがひだまり荘に来るまでを描いた、時系列的にも正真正銘の第1話。でも日常描写がメインのはずの『ひだまり』でまさかここまで動かすとは！　とのっけから意表をつかれた人も多いはず。特に冒頭と、宮子の「ゆのっち」という言葉で、ゆのの世界がひらけていくシーンは圧巻。

→隣の受験生は清美。後にゆののクラスメイトに。

うめ先生の視聴日記

お久しぶりのひだまりアニメだった訳ですが、いやぁ、絵コンテアニメの時点で「なんじゃこりゃ!!!」と身悶えしちゃうくらい、絵が可愛い!! 動く動く!!!!! なんかもー圧倒的でした！ 最初から最後までとにかく可愛かったなぁ♪ ホテルのベッドでゆのっちがお母さんになでなでされるとこと、そのあともたれかかるところが、特にキュンキュン!! シャフトさんスッゲー!!（笑）

ああっ……時間ないよぉ～

↑試験監督のお手伝いをしている上級生が見守る中、試験終了時間はだんだんと近づいてくる。

→練り消しじゃ文字がうまく消せない！ しかし美術科とは思えない試験問題（笑）。

←焦るあまり、テーブルクロス引きなんてどうでもいいことを想像してしまう。ゆの、大丈夫!?

遅刻しましたー!!

→↓この人は受験でもないのに大慌て。校長先生や桑原先生、このころから苦労してるんだね……。

何やってんのかな、あの人は……

←↙大家さんは、なぜか宅配寿司のチラシ配りのアルバイト中。このチラシの下には視聴者へのメッセージが書かれているので、目を凝らして読んでみよう。

Event 大家さんのバイト① Next 2期7話（141p）へ

お母さん、もしかしてずっと!?

↑ゆのが試験をしている間、お母さんはずっと手を振っていてくれた（右の画像も注目！）。なんて深い母の愛……。

Event 大家さんの禁煙① Next 2期12話（162p）へ

煙草を吸おうとする大家さんが、それを思いとどまる。どうやら禁煙をしようと考えているみたいだけど、さて成功するのか？

ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服＆パジャマ）

↑新入生を迎える年上のみなさん。吉野屋先生とヒロの私服は受験当日のもの、沙英の私服とヒロのパジャマは、合格発表の日のものだ。

ゆの（私服＆パジャマ）

↑真ん中の私服は受験前日、左の私服は受験後の家でのもの。ドキドキの状態で着ていたので、思い出深い服になったかも。

◆絵コンテ・演出／尾石達也… 小さな胸に期待と不安を一杯に詰め込んでグリーンゲイブルズを訪れた赤毛の少女のように、ゆのの「始まり」と「出会い」を描きたいと思いながら作業していました。やはりこの回は作画さんたちのがんばりに尽きると思います。冒頭のゆのとお母さんのシーンを描いてくれた今村（亮）くん、ゆのの受験は杉山（延寛）くん（課題の絵も描いてくれました）、吉野屋先生登場は斉藤良成さん、大家登場が徳永（さやか）さん、ソファーで寝そべるゆのは松本（元気）くん、合格発表が大槻（博之）さん、ゆのの引越しからAパート終わりまでが大田（和寛）さん、Bパート始めからそば打ち・バッテンミサイルまでが阿部（厳一朗）くん、沙英の手は綾部（美穂）さん、宮子の引越しが高橋（淑）さん、風呂の宮子ジャンプが砂田（茂樹）さん、サンドイッチを食べる沙英が赤井（俊文）さんです。ちなみにサバンナの動物たちは宮子になりきって自分が描きました。

今、笑ってる子たちがみんな私たちの後輩になるんだね

↑後輩たちを優しく見守るヒロと沙英。でも宮子は落ちたものだと思われちゃった。

Event 203号室の謎① Next 2期7話（142p）へ

↑あれ、ヒロさんが101号室ではなく203号室から出てきた？　このころは203号室に住んでいたみたい。

↑合格発表前日、不安そうなゆの。果たして結果は……？　ところで実家にある写真立て等は、ひだまり荘のゆのの部屋のと同じもの。引越しのときに持っていったのかな？

→ゆのよりも前（合格発表の日）に、ひだまり荘に緑色のあいつがやって来た。はじめまして！　うめてんてー！

←ゆのの201号室には「MISATO」の表札が。そう言えば1期3話で、このことを話題にしていたよね。

ホントにゆの、一人暮らしなんてできるのかしら？

↑←両親は一人娘を送り出すことに心配そう。ニャン太は気楽に大きくあくび。

みんなの服装（3月5日／4月5日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑宮子の右側の服は、3月5日にリヤカーで引越してきた日のもの。ほかはすべて4月5日の服。

スタッフコメント

◆原画／今村亮…　１話ではＯＰ前までをやらせていただきました。ゆのとお母さんが泊まるホテルはやまぶき高校より少し離れた場所のようで、尾石さんいわく「白金のようなイメージ」。吉祥寺、原宿、渋谷のおしゃれなお店の写真いっぱい撮って組み合わせてみたのですが……白金になりましたでしょうか。あと、ゆのの走りは坂本真綾さんの「マメシバ」のＰＶを参考にさせてもらってます。あんまり似てないですが……。深夜の下井草の住宅街をストップウォッチ片手に女の子走りで爆走したのもいい思い出です。

美術科の変わり者達が集うことで有名！

→変わり者その１の宮子は、前衛的な絵でゆのを呆然とさせる。ちなみにこの絵は演出の尾石さんが描いたらしい。

→↓宮子の言葉が、ゆのの不安を取り除いていく。うめ先生もなにげに祝福？

←↓変わり者その２のヒロさんは体重に敏感。その３の沙英さんは小説の仕事が大変で部屋から出ず。そしてその４は、今日入居してきました。

↑友達ができた瞬間。ゆのの新しい生活が始まった瞬間。そして『ひだまりスケッチ』が始まった瞬間。感動的なシーンの後は、「×（っち）」で少しクールダウン。

←↓ゆののひだまり荘での一日目は、こうして過ぎていく。楽しい人、優しい人ばかりで、これからが楽しみ？

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

Event みさと先輩とトラップ①
Next ２期10話（154p）へ

ゆのの201号室は、元はみさと先輩という人の部屋。「変な仕掛けが残ってなきゃいいんだけど」と沙英が心配するけど、変な仕掛けの存在は、みなさんご存知の通りです。

STORY

見事、智花が高校受験に合格した。それを祝うためのヒロの特製弁当を堪能し、夜にみんなで鍋を囲みながら、ゆのたちは智花との再会を願う。

第2話

2月6日 サクラサクラ

脚本：与口奈津江　絵コンテ・演出：森義博　作画監督：実原登

もうすぐバレンタインデーですね♪

↑バレンタインで浮き足立つ吉野屋先生に、校長先生が釘を刺す。いつもの光景と思いきや、今回は吉野屋先生が「チョコあげない」と反撃。

→ゆのたち3人を置いて先に登校するヒロ。機嫌が悪いわけではないようだけど、どうしたの?

Event　沙英の妹・智花⑦

Back　1期1話（19p）へ
Next　1期5話（35p）へ

↑沙英が落ち着かないのは、智花が合格発表を控えているからだった。ゆののメールでの励ましが通じたのか、ついに合格の2文字が!

←↑いつもは智花に対してツンツンの沙英だけど、今回は素直に祝福。うれしそうな沙英を見守っていたゆのたちも、自然と笑顔に。

みんなの服装（2月6日）

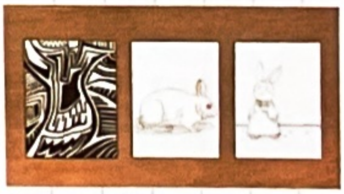
ゆの（パジャマ）

↑真冬にしてはちょっと涼しげ? 朝の寒さにゆのは思わず身震いしていた。

アルバムメモ

●早くも2話の段階で智花が登場し、めでたく受験に合格する。そんな彼女を常に見守ってきたのが沙英。1期では厳しい面が目立っていたけど、今回、智花にかける言葉はやわらかい。妹への思いを隠すことなく伝える沙英の様子に、心温まる回。

●次回予告で「違いま〜す!」と思い切り怒鳴ったヒロ。その声はヒロというより、演じている後藤邑子さんの素の声に近いかも?



↑2期1話で描いたうさぎの絵が再登場。あれから1年近く経つんだね。

↑実は今回、リーダーの「いち」の部分をうめ先生がカウントしている。

うめ先生の視聴日記

智花合格おめでと～♪　階段の上の沙英の表情がすごく優しくて好きでした。智花にも見せてあげたかったなー！（笑）　あとは宮子のにゃんこの手の場面がすごく好きだった♥　あそこは原作で書いてたネタだったのですが、ああいう、絵が動いたほうがわかりやすいネタをバッチリ動かしていただけるととてもとてもうれしかったりします♪　おまけに「たーっ！にゃんっ!!」で、もう完全に斜め上（笑）。

↓宮子は1期9話の美術クラスの掃除以来、掃除着は中学制服と決めているそうだ。

↑「屋上で何してたの？」沙英につっかかった夏目だけど、ただの昼食と分かり、ばつが悪そう。

↑屋上でヒロお手製の豪華弁当を広げ、智花の合格を祝うゆのたち。日差しも暖かくて気持ちいい～。

→いつの間にか腐っていたヒロのみかん。それを指した沙英の「ふかふか」は、ヒロにとっては引っかかる言葉だ（1期4話）。

→意地になっていた吉野屋先生、説得されてしぶしぶ渡すことに。それをこっそり聞いていた校長先生はうれしくなってスキップ♪

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑外出時、ゆのはコートのほかに帽子、ブーツ、マフラー、手袋と完全装備。逆に宮子はずっとパーカーのままだった。

スタッフコメント

◆作画監督／実原登… 自分が作監やった回（今回の２期２話）以外の原画は、すべて吉野屋先生のコスプレ原画でした……（笑）。吉野屋先生は好きなキャラなので楽しかったです。２話はキャラに最後までなれなくて苦労しました。総作監の伊藤さんには大変ご迷惑をおかけしました。トホホ……（『ひだまり』は深夜にまったりとした気分で観てるのが一番です……）。

↓「包丁を使うときはにゃんこの手」とゆのから教えられた宮子は早速実践してみる。いや、そういうことじゃなくて……。

Event
大家さんのバイト⑧
Back ２期４話Ｂパート（131p）へ
Next ２期特別編（166p）へ

↑今度はピザ屋のチラシ配り。でも、いくらゆのたち相手とはいえ、ノルマを達成するために10枚も渡そうとしちゃいけないよね。

↑智花は好物の餃子でお祝いしているようだ。機会があったら、餃子で彼女をおもてなししてみる？

↑「ちゃんこ鍋」「ごっちゃんです」「（汁が）のこったのこった」。３人の何気ない一言にヒロは大ダメージ。

↑沙英がメガネを外した！　もう少し上が見たいと思ってしまうけど、おたまを具と間違えるほどならメガネは手放せないでしょう。

→あれだけ食べたあとで鍋いっぱいのおしるこ……想像するだけでもお腹がふくれそう。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

→授業中から寝る前まで続いた智花とのメール。あとは直接「おめでとう」と言うためにも、いつか智花と再会したいね。

STORY

休日、ゆのと宮子は、吉野屋先生に教えてもらった神社へスケッチに行く。そこでゆのは、自分の絵を尊敬の眼差しで見つめる女の子と出会って……。

第3話 5月27日 狛モンスター

脚本：大嶋実句　絵コンテ・演出：本田敬一　作画監督：川元まりこ

←吉野屋先生が生徒だった時代、なんと自分そっくりのクラスメイトがいた！２人とも台風の目だったに違いない。

↑ゆのの役立つ揺れ対策。でも、がんばりすぎる姿勢だったのか、席をすすめられちゃった……。

↑ヒロと沙英から神社への行き方を聞いたあと、最寄りの岩槻駅まで電車でGO！

↓→狛犬は不吉なものから神社を守る番犬。宮子デザインの狛犬は、逆に不吉そのものでは？

↑女性なら年齢問わず「お嬢さん」と呼ぶ神主さん。吉野屋先生が「ステキな神社」と言ったのはこのこと？

↑神社までの長い階段を数えるゆの。だけど、途中で宮子が話しかけたことで真っ白に……。

→女の子から大絶賛されたゆのの絵。宮子の絵には興味がなさそうだったと聞いたゆのが、天狗になるのは無理ないね。

せっかくのお休みなのに～

↑そのころ、吉野屋先生は期日を過ぎた書類を泣く泣く片付けていた。校長先生は「念押ししたのに」と怒り爆発！

アルバムメモ

●にょきにょきと鼻が延びて天狗になってしまうゆのが、今までなかった描写で可愛い。
●大家さんのバイト、203号室の謎と、新たな伏線が固まってきた印象。青虫、ダイエットゼリーなど、1期の伏線の補強も。
●宮子が珍しくポニーテールにしていることにも注目を。

→Aパートは屋外が舞台。空の青さや緑の美しさも目を引く。

うめ先生の視聴日記

神社、絶壁の上にありましたね（笑）。めずらしいお出かけ回だったので、絵的にも新鮮でした。緑が気持ちいい♪と、幼女可愛かった！　幼女!!　…少女って言うべき？（笑）バター納豆味のポテチには非常に興味を惹かれます。食べてみたいなぁ…。

↑沙英の仕事先から電話がかかってきた。担当さんは直居という名前みたい。

Event
203号室の謎③

Back 2期7話（142p）へ
Next 2期10話（154p）へ

203号室には鍵がかかっていないらしく、ヒロはそのことを妙に心配していた。ヒロに関する何かが置いてあるらしいけど……？

ゆのと大家さんのすれ違い①

Next 2期10話（152p）へ

時期的にはひだまり荘に引越してきて2か月ほど。ゆのはもちろん、宮子も大家さんに会ったことがない状態。

↓ヒロたちが持ってきた差し入れの中には、納豆バターという不思議な味のポテトチップスが。意外とおいしいの？

Event
大家さんのバイト③

Back 2期7話（141p）へ
Next 2期12話（160p）へ

↑買い物帰りのヒロと沙英が出くわしたのは、バイトで物件写真を撮る大家さん。お遊びでヒロたちまで撮ろうとする。

→夏目がひだまり荘の郵便受けの前にいた。理由は分からないけど、いいツンデレぶり。

みんなの服装（5月27日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑宮子のみならず、ゆのも比較的珍しいジーンズ姿。今回のように長いこと歩くにはぴったりかも。

スタッフコメント

◆**絵コンテ・演出／本田敬一**… 初演出作品です。続編ということなので作品の持つ空気感を壊さないように気をつけました。

◆**脚本／大嶋実句**… 3話で初めての脚本を書かせていただきました。1期から関わってきた作品なので思い入れがあります。4人での会話は女の子っぽくなるように意識しました。いつも新房監督が納豆の悪口を言うので、ゆのたちのお菓子を"納豆味"にしたのですが、セリフでは「おいしい」ことになってるはずなのに微妙な表情にされてしまいました(笑)。沙英と夏目のシーンは書いていて楽しかったです。もっと夏目に「たまたま」言わせたかったな。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

Event ヒロのダイエットゼリー②

Back 1期4話（31p）へ　Next 1期3話（27p）へ

最近、ヒロは毎晩の食事がゼリーだけらしい。でも、練乳をかけるくらいなら同じカロリーでバランスよく食べたほうが健康的では。

→スナック菓子を指にはめて、凶悪モンスターの登場だ！　本当、宮子の発想力はたいしたものだ。

2人でやったら早いでしょ♪

→確かに早いけど……お休み中の桑原先生を頼らないで自分で片付けてください。

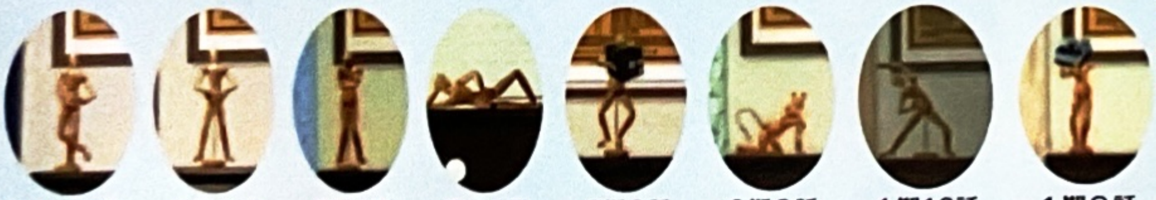
いつか私の絵で誰かを幸せにできたりするのかなぁ…

→自分の絵で人を感動させる。たとえ一人の女の子でも、それができたゆのは新たな自信と実力をつけられるはず。

ひだまり豆知識　ゆののデッサン人形

ゆのの部屋に飾られているデッサン人形は、実はポーズが変わっていることがある。そのバリエーションはかなり豊富で、唐突におかしなポーズを取るほか、ゆのの行動やそのときの話題に合わせたポーズになることも。ここでは、そんなポーズの一部を紹介しよう。同じシーンの中でも、カットが変わるとポーズが変化することがあるので見逃さないように。

→これがデッサン人形の定番ポーズ。では、これをふまえてどんなパターンがあるのか見ていこう。



1期9話　1期12話　2期2話　2期3話　2期4話　2期4話　2期8話　2期特別編

↑冬に寒がったり、猫がいるときに猫ポーズを取ったり、ポラロイドを持ったりと実に芸達者。

STORY

授業が終わり宮子が部屋に帰ると、窓から猫が入り込んでいた。野良猫か迷子猫かもわからないが、とりあえず宮子たちでこの猫の面倒を見ることに。

A 第4話

3月16日～23日 まろやかツナ風味

脚本：与口奈津江　絵コンテ：えがみきよし　演出：大沼心　作画監督：古川英樹

Event 宮子のクジ運と景品⑦
Back 1期8話（45p）へ
Next 2期5話（134p）へ

↑まだまだ残っている「北海の恵み」。だけど猫にせびられ、しぶしぶエビを食べさせる。

待ーった！5：5！

↑アジの開きを猫にお裾分け。かと思ったらほとんど取られてしまい、宮子は折半を要求する。

どちら様ですかい？

↑出会いは突然やってくる。部屋の中央にふてぶてしく座る猫とご対面～。

→捨て猫であっても札を下げているとは限らない。このように脱字で誤解されそうな札ならなおさらだ。

見たことないコよね

同じ釜のメシ、食べてきたからね～

↑数日が経って、猫が宮子に似てきたみたい。その理由は、宮子も仲良くキャットフードを食べていたから!?

↑→ゆのたちからご飯を与えられ、宮子からは体を洗ってもらう。猫にとっては幸せな環境かも。

↑宮子とゆのが飼い主を捜すも見つからない。ヒロと沙英も心当たりはないみたい。さて、どうしよう？

みんなの服装 3月16日～23日

ゆの＆宮子（私服）

↑1週間のエピソードなので、そのぶん服も多く登場する。宮子のジャージはパジャマ兼用。

うめ先生の視聴日記

宮子とおニャンコさまのお話。宮子が可愛いよー宮子～❤（親バカ？） ネコのイビキのゴゴゴの文字がポップで可愛くって大好き!!! ラスト近く、ゆのっちが泣いちゃうシーンでは、ゆのっちの涙声がすごく胸に来て、アフレコ現場ですでに少しウルっときてしまった私です。てゆか、あの水彩調の塗りになるあの演出がにくすぎですね!!! ギャー！ と、ガガガガ。ついに一期ＯＰのあのシーンが！（笑） 倒れているヒロさんの表情がセクシーすぎです…❤

↑猫が突然出ていった。それをゆのが悲しむ一方、宮子は「自由が一番」と晴れやか。

→異性であるオス猫と添い寝。両親に謝っている宮子が律儀……なのかな？

←↓猫の奇妙ないびきが宮子にもうつっちゃった……。ヒロに安息の日は訪れるのだろうか!?

Event

大家さんの禁煙⑦

Back 2期6話Bパート（138p）へ

大家さんが禁煙を決意。でも2つ前の話（2期1話・去年の2月）でも同じこと言ってたような。

沙英の妹・智花⑪

Back 1期8話（44p）へ　Next 2期5話（133p）へ

ゆのの携帯に、智花からひだまり荘に遊びに来るという連絡が。今から楽しみ～！

自転車少年シンヤ君④

Back 1期8話（44p）へ

シンヤ君の長い旅が終了！ だけど、実は飛行機で長距離移動をしてたんだって……。

→かけがえのない思い出となった猫との生活。いつか再会できるといいね。

ヒロ＆沙英（私服）

↑沙英の２番目の服は、ズボンの裾をまくりあげているのがポイント。ヒロのミニスカートとオーバーニーソックスの組み合わせは、実はレアです。

STORY

もうすぐ学園祭。演劇や映画撮影など、みんなが着々と準備を進める。そんな中、ゆのは個人展示の絵のテーマが決まらず、悩みつづけていた。

B 第4話 10月31日 ガガガガ

脚本：与口奈津江　絵コンテ：えがみきよし　演出：大沼心　作画監督：古川英樹

↓一方、吉野屋先生は後夜祭ステージ用の衣装を選別中。相談しようと思ってたのに、だめだこりゃ。

↓やまぶき祭に向けてがんばる生徒たちの姿に、校長先生はとても感動しています。

青春ですね！

やまぶき祭の個人展示、まだ決められなくて…

→個人展示は制限がなく「何でもいい」。それだけに、ゆのはあれこれ考えちゃって寝不足みたい。

↓岸さんがまた遊びに来て、上映会をやることを先生たちに報告。当日の様子は2期9話Bパートをチェックするべし。

↑悩めるゆのの参考に、沙英が去年描いたという百合の絵を披露。沙英と百合、なんか別の意味に思えてきちゃいそう？

沙英さんちょっと相談…

←↓沙英の部屋で見たものは、禁断の……!? あまりのショックに、ゆのは気が動転して言葉にならない。

が…ガガガガガ

大切なものはもう私の近くに…？

←同じ頃、ゆのも偶然岸さんのことを考えていた。岸さんの「出会うもの全てがきっかけになる」という言葉で、ゆのはハッと気付く！

アルバムメモ

●1期から通して、シリーズ初の2本立てとなっている今回の第4話。Aパートは、ゆのではなく宮子の視点で一日を追ったという点でも初。またBパートは1期10話（やまぶき祭）の3日前のお話で、1期のエピソードと併せて見る楽しみ方も。構成上での新しい仕掛けの多い回だ。

●「by〇〇〇」という文字を多く使った演出も特徴的。それにAパートのラスト近くで水彩画調になる部分も印象に残る。

→某ゴンドラ添乗員の口癖が一瞬だけ見える（Aパート）。実際には、ひだまり荘にこんな規約はないけど。

→やたら凝っている「吉野屋オンステージ」チケット。ステージの顛末は、1期をご覧の通り。

スタッフコメント

◆演出／大沼心…　猫の話は原作でも人気が高く、ちょっとしたプレッシャーでした(笑)。『ひだまり』は全てにおいて押し付けになっちゃだめだろうと思うので、猫が去っていったことを悲しいと思う人も、それはいいことだったんだと思う人もいる、というラインでつくりました。それと『ひだまり』は１期の段階で演出技法が確立されていると感じたので、それを踏まえた上でちょっと自分なりの色を出してみたのがＡパート。１期のノリをそのままやってみよう、という意識で作ったのがＢパートです。ＡＢで時系列は違っているけど、大家さんの禁煙の天丼的なネタなどで、ＡＢパートの繋がりも少し意識しました。

Event 大家さんの禁煙⑤
Back 2期9話Ａパート（149p）へ
Next 2期6話Ｂパート（138p）へ

←禁煙を決意するが「もう一本だけ」と吸い始める。ちなみにここは、Ａパートと同じ絵でセリフもほぼ同じ。五か月前にも同じことをしている。進歩のない大家さん……。

↓→ゆのが思いついた絵は、準備中の風景。みんなのおかげで決まったテーマ、お礼せずにはいられない！

→ゆのは早速、絵の制作に没頭。状況が気になっていたみんなも温かく見守っている。

Event 大家さんのバイト⑦
Back 2期８話（145p）へ
Next 2期２話（124p）へ
「色々なバイトをやっていて大変そう」と話すゆのたち。何か深刻な事情があるのかな？

↑固い決意を見せるゆのだけど、ついつい寝てしまった。当日まであとわずかだけど、がんばれゆの！

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

みんなの服装（10月31日）

吉野屋先生（ナース）
↓優しそうな雰囲気はいいんだけど、看護されたら最後、明日はない気がする……。

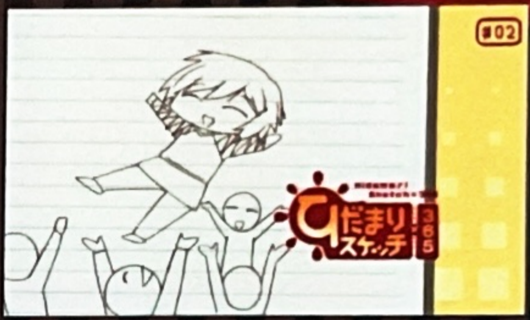
ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）
↑ショートパンツ姿の沙英はけっこう珍しい。宮子はワークシャツ風で何だか男らしく見えてしまう。

アイキャッチミュージアムⅥ号館

EYE CATCH MUSEUM 365 #01-05

合格おめでとう！

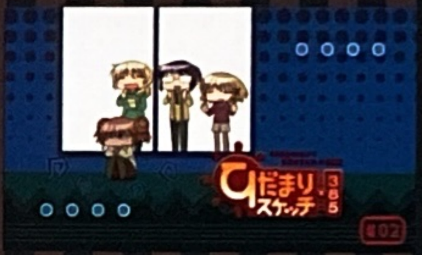
←↓受験に合格して胴上げされる智花。離れた場所でもゆのたちはヒロの料理でお祝い。



みんなで豆を撒こう！

↑節分の季節です。トラ縞ビキニというと、有名なあの宇宙人を思い出します。

気にし過ぎだってば



←お相撲さんを連想させる言葉に反応していじけてしまったヒロ。でもまた食べる……。

吾輩は猫である。化け猫ではない

↑←予期せぬ訪問者。でも別に「普通の人には見えないネコ」ではありません。

お姉ちゃんのスケッチ

↑子供の素朴な感想がゆのの心に届く。こうして見ると姉妹みたいだね。

うめ先生のおやつタイム

↑→ゆのたちといっしょにお茶とケーキ。うめ先生も智花の訪問を喜んでるみたい？

仲良し姉妹

↑沙英が実家にいるときは、こんな光景が見られるのかも。

STORY

智花が再びひだまり荘へ遊びにやってきた。智花の受験合格記念ということでカニ鍋でお祝い。さらにゆのたちから智花へのプレゼントも贈られる。

第5話 3月25日 おめちか

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ：福田道生　演出：板村智幸　作画監督：瀬月一也

→まずは智花の好物、餃子を手作りで振舞う。ゆのたちの気持ちがこもっているぶん、おいしさも格別！

→ひだまり荘での一人暮らし、小説の仕事……夢をかなえていく沙英が、遠い存在になるのが智花には心細いのだ。

→↓待ちに待った智花と再会！ クリスマス（1期12話）以来、ちょうど3か月ぶり。

Event 沙英の妹・智花⑫
Back → 2期4話Aパート（129p）へ

Event 大家さんのバイト⑩
Back → 2期特別編（166p）へ

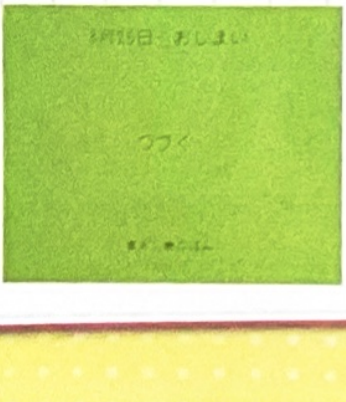
203号室の謎⑥
Back → 2期11話（157p）へ

↑何のバイトか分からないけど、今日は休みだという大家さん。それはともかく203号室で回収予定のアレとは一体!?

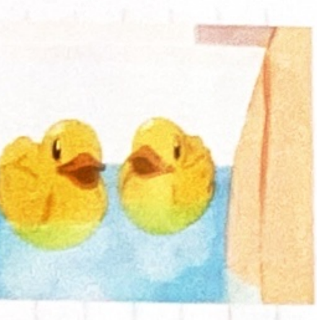
←1期8話で智花とカラオケに行こうと約束したゆのたち。しかし、実際は改装工事中……ああ不運。

アルバムメモ

●1期ではラストエピソードだった智花の訪問が、今回は早くも5話目で描かれた。でも時系列上では1期2期通して最後のエピソードなので、やっぱりちょっと特別な回。1期12話と違って一度もケンカをしないあたり、沙英と智花もお互いに素直になってきているのかもしれない？



→サブタイトル画面で密かに出題されていたクイズの答えがこれ。問題文は96ページを参照のこと。



→なぜか今回は、ゆののお風呂にはアヒルのおもちゃが2つ浮いてる。いつ増えたんだろう？

→2期8話の体育祭の「美」の腰掛けと、2期11話で持っていたモナリザ風の絵。吉野屋先生の私物って……。

うめ先生の視聴日記

この変なタイトルつけたのは私です！（笑）　そしてやっぱりこの回も会話ちょこちょこ書かせていただきました～。この回は智花がずーっと幸せ者ですね♪　最後の姉妹のシーンの雰囲気が大っ好きです❤❤　あの場面の沙英はいい男すぎる！（笑）　あと、釣り衣装の大家さんがやったらめったらステキだった。体中からフェロモンが出まくっていて、やられました（笑）。キャップに書いてあった数字「０８」は「おーや」ということですよね？シャフトさんの小ネタ仕込みは面白いな～♪

←↓校長先生から言われて私物を片付け中の吉野屋先生。お願いされた手伝いをそれとなく遠慮したかったゆのたちだけど、智花はやる気に。

元気が一番です

↑校長先生は、休み中の生徒たちとも対話を忘れない。いい先生だ～。

→みんなを銭湯に誘った吉野屋先生もだんだんノッてきた。にぎやかさなら生徒たちに負けません！

↑宮子によるプロ級のド演歌。その美声を聴いた智花は感激！

Event
宮子のクジ運と景品⑧
Back 2期４話Ａパート（128p）へ

←「北海の恵みセット」の最後のカニを鍋に！　智花のためにとっておいたという宮子、いいとこあるね。

→いつの間にか成長していた智花。胸にコンプレックスがある沙英は内心悔しそう？

→お風呂で合唱！　ゆのはちょっと音程が外れているようだけど、楽しければそれでよし！

みんなの服装（3月25日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑←ゆのたち４人は、私服の上にベストやジャケットを着て外出した。吉野屋先生はスカートでの片付け作業が少しやりにくそう？

スタッフコメント！

◆演出／板村智幸… まずギョウザやカニ鍋ですが、作画監督と仕上げのガンバリで美味しそうに出来上がっています。またお風呂や銭湯の透明感には各所にこだわっていただきました。「映り込みあっても動かすぞ」という作画の執念と「お風呂は透明だ」という撮影のリアリティ（笑）が生きていると思います。ほかにもデッサン的なカラーイラストを動かす試みなど、作画・仕上・撮影がひとつになってがんばってます。歌や踊りも声優さんの演技・作画の暴走が見逃せません。盛りだくさんなので、ジェットコースターに乗ったつもりで楽しんでください。

↑ヒロが用意したケーキで、改めて智花のがんばりを祝福。本当におめでとう！

↑ヒートアップした吉野屋先生のステージが開幕！　ゆのたちもゴキゲンで合いの手を入れる。吉野屋先生が持っている風呂桶の底には、どこかで見た猫の神様が。

Event 名前さえないお菓子④
Back 2期9話Bパート（151p）へ
発売されていることにゆのたちが驚いている、このお菓子とは？　智花によると「まずい」らしいけど……。

↑→幸せいっぱいの一日の締めは、沙英からの心のこもったプレゼント。智花にとって、何よりうれしい思い出となっただろう。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

ゆの＆沙英（パジャマ）

↑赤や青系統のパジャマが多いので、実はちょっと珍しいゆのの黄色いパジャマ。智花が泊まりに来たので、今回は沙英のパジャマも登場。

第6話 A

7月30日 さえ太

STORY

恋愛小説を書くことにしたが、自分に恋愛の経験がないため悩む沙英。さらに彼女は、夏季講習に行く智花にどう声をかけるべきかでも悩んでいた。

脚本：大嶋実句　絵コンテ・演出：石倉賢一　作画監督：横井将史

Event 大家さんの禁煙③

Back 2期12話（162p）へ

Next 2期9話Aパート（149p）へ

禁断症状なのか、苦しみもがく大家さん。そしてついに3日間の禁煙に成功！……って、短くないですか。

ヒロのハーブ②

Back 1期6話（37p）へ

Next 1期2話（23p）へ

せっかく育てたハーブに虫がついて傷んできた。ヒロは残念そうにしながらも「何とかしてあげなくちゃ」と考える。

→吉野屋先生が水やりをサボって、アサガオをしおらせちゃった。校長先生はカンカン。

↑新しい小説のテーマを決めている途中で寝てしまった沙英。夏休みとはいえ、夜更かししすぎないでね。

Event 吉野屋先生のアサガオ観察①

Next 2期9話Aパート（148p）へ

Event 沙英の恋愛小説②

Back 1期6話（38p）へ

→テーマが直居さんに認められ、沙英は念願の恋愛小説を書くことになった。直居さんは実際に恋愛経験があったほうがいいというけど……沙英、大丈夫なの？

↑←編集・直居さんとの打ち合わせ場所である喫茶店で、沙英は夏目と遭遇。広げていた原稿用紙を夏目に見られたかも……！？

みんなの服装（7月30日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑沙英は話のメインだけあって服の数も多い。みんなサンダルをはいていたようで、室内では裸足で涼しそう。

うめ先生の視聴日記

このタイトルは思い切ってますよね！（笑）　確か飲み屋で監督が「さえ太とヒロえもんでいーんじゃないー？」てな感じでサラーっと提案なさった気が。そしてそれが通っちゃうところがひだまりスタッフさんたちの良い所♥（笑）でも深く考えてみても、メガネでへっぽこの沙英さんとそれを助けるヒロさん、ってことでガッツリはまってるタイトルなんですよね（笑）。

↓→恋愛小説のリサーチをする沙英。でも、あまりに唐突すぎる質問にヒロたちはビックリ。

←沙英の買ってきたアイスをみんなで食べる。暑い夏にはたまらないということで、みんな思わず「幸せ～♪」の一言が。

→夏期講習に通う智花が心配で電話する沙英。でも、その気持ちを見透かされてついケンカになってしまう。

←恋愛が分からないゆのに対して、ヒロが一言。なるほどとうなずいてしまう意見だね。

Event 沙英の妹・智花① Next 1期9話（49p）へ

←恋愛とは違うけど、沙英は智花が好きなはず。だからこそ、素直に「がんばって」と言えればいいんだけど……。

↑バレバレの見栄を張る沙英に、ヒロや宮子はニヤニヤ。でも、ゆのは本当に信じているみたい……。

ひだまり豆知識

みんなの部屋

住人の個性が垣間見られるひだまり荘の各部屋。ここでは、ゆの以外の3人の部屋を覗いてみよう。宮子の部屋は散らかっていて、ヒロの部屋はゆのと同じように可愛くまとまっている。そして沙英の部屋は仕事の関係で本が多い。どの部屋にも定番のアングルがあり、隅には演出的なお遊び要素が入ることも。

↑みんなで食事をするときはヒロの部屋。画面左上の絵はたまに変わる（2期5話）。

↑机がいつも散らかっている宮子の部屋。エゴン・シーレの習作が置かれていたり。

↑ゆのと宮子の部屋を真上から（2期11話）。部屋の右下は某ＲＰＧの……？

↑沙英の部屋兼仕事場。似た業種のためか、うめ先生も出没（2期４話Ｂパート）。

B 第6話

11月11日 ヒロえもん

STORY

ヒロと沙英のクラスは調理実習で、シュークリームを作ることに。不慣れな沙英に対し、料理上手のヒロはてきぱきと作業をこなしていくのだった。

脚本：大嶋実句　絵コンテ・演出：石倉賢一　作画監督：横井将史

→ヒロたちに感化された吉野屋先生は、裸エプロンならぬ水着エプロンを着用。黒板右下には、今日の日直がゆのと書いてある。

↓調理実習が始まり、沙英はヒロから花柄でフリフリのエプロンを渡される。ヒロ、狙ってる？

←朝に弱いヒロさん。学校の目の前にあるひだまり荘でなかったら、きっと毎朝大変。

大人になっちゃったんですか!!? 私よりも先に…

→ゆのの成長を深読みしすぎて吉野屋先生はショック！　さらに何気なく爆弾発言まで！

→泡立てエクササイズを思いついたヒロだけど、張り切りすぎてぼってりした生クリームに。

Event

大家さんの禁煙⑥

Back ２期４話Ｂパート（131p）へ

Next ２期４話Ａパート（129p）へ

「禁煙」の貼り紙がはがされ、数々の禁煙グッズがむなしく散らばる。完全に諦めた様子の大家さん。

ヒロのダイエットゼリー⑤

Back １期９話（49p）へ　Next １期12話（61p）へ

がんばっていたのに効果がなく、「ゼリーはもう信じない」と断言してしまうヒロ。これでやめるのかと思いきや……。

Event

橘文のファン？①

Next ２期９話Ｂパート（151p）へ

→本屋で「月刊きらら」を買う夏目。それをヒロに見られて、妙に動揺しているようだけど……？

みんなの服装（11月11日）

ヒロ＆沙英（私服）

↑２人ともカーディガンを羽織って暖かそう。もうそろそろ寒くなる時期だしね。

アルバムメモ

●４話の宮子に続いて、今回は沙英とヒロそれぞれの一日。『ド○えもん』に引っ掛けたサブタイトルや、「ヒロは沙英の奥さんで、ゆのたちのお母さんみたい」というセリフから、なんとなく沙英とヒロの関係がわかる。

●沙英の担当の直居さんは、原作には未登場。今のところはアニメオリジナルキャラだ。

→教室の後ろでは、目を離すとおでんが逆さまになったり、バケツが銅像になっていたり。

スタッフコメント

◆脚本／大嶋実句… 蒼樹先生から直居さんの設定や沙英との関係をうかがいました。『ひだまり』には数少ないしっかりした大人の女性です。沙英の仕事相手でもあり、憧れの大人の女性といった距離感を表現するのが難しかったです。ヒロの話では、本屋で沙英の本の売り場スペースを勝手に広げたり、風邪気味の沙英を気遣ったり、ひとりでいるときでも甲斐甲斐しく沙英の世話を焼かせてみました。でも、沙英だけじゃなくみんなの面倒をみるのが好きなのか表現できていればうれしいです。全然太っていないのに、この話数で更にキャラが確立してしまいました(TOT) サブタイトルは会議では決まらず、その後の食事会に持ち越しになりました。酔った席での冗談だろうと思っていたら、後日の会議でも誰からも何のツッコミもなかったのでそのまま決定してしまいました(笑)。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

↓寝てしまった沙英を置いて、外に出た３人。そこに広がっていたのは満天の星。

↑ある美術教師の感性を受け止めきれないという悩みを告白する、某高校の校長先生。音声変化によるプライバシー保護はしていません。

←優しくて包容力があって世話焼き上手のヒロに、ゆのが純粋な一言。「お母さん」はちょっと早いかもしれないけど。

←いつでも沙英を気にかけるヒロは、やっぱりいい奥さん。沙英は幸せ者だね。

ヒロ（パジャマ）

↑ゆったりとした冬用パジャマ。寝起き直後のため、ヒロの髪は下ろされたままだ。

ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（エプロン）

↑かわいらしいエプロンで恥ずかしそうな沙英。それに対して、こんな格好でも堂々としている吉野屋先生はさすがというか……。

ゆの＆宮子（私服）

↑ゆのはセーターを着て暖かい服装だけど、宮子はいつものようにシンプルだ。

第7話

STORY

やまぶき高校入学式を迎えたゆのと宮子。緊張して眠れなかったゆのだが、無事に式を終える。その後、ヒロと沙英が2人の歓迎会を開いてくれた。

4月7日 入学式と歓迎会

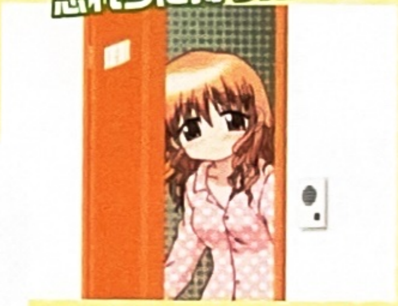
脚本：大嶋実句　絵コンテ・演出：森義博　作画監督：中山初絵

→朝からにぎやかな2人にこっちも抗議！　ゆのと沙英はこの日が初対面なのだ。

↓ゆのは目玉焼きを片面だけ焼く派。だけど、宮子がおせっかいで両面焼いちゃって猛烈抗議。

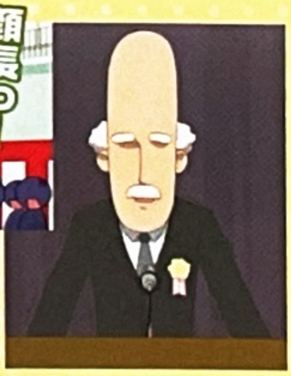
↑2人ともバッチリ早起き……と思ったら、ゆのは緊張で眠れていないだけだった。宮子は「式の途中で寝る」と予想。

↑立て襟、変な結びのリボン、ボタンのかけ間違い、そしてジャージ。入学式でこれはダメでしょう。



←↑起きぬけのヒロのちぐはぐな言葉に、ゆのは大慌て。ヒロも寝ぼけ過ぎだけど、ゆのも緊張し過ぎ。

→華やかな校門をくぐる2人。楽しみにしていた高校生活がいよいよ始まる！

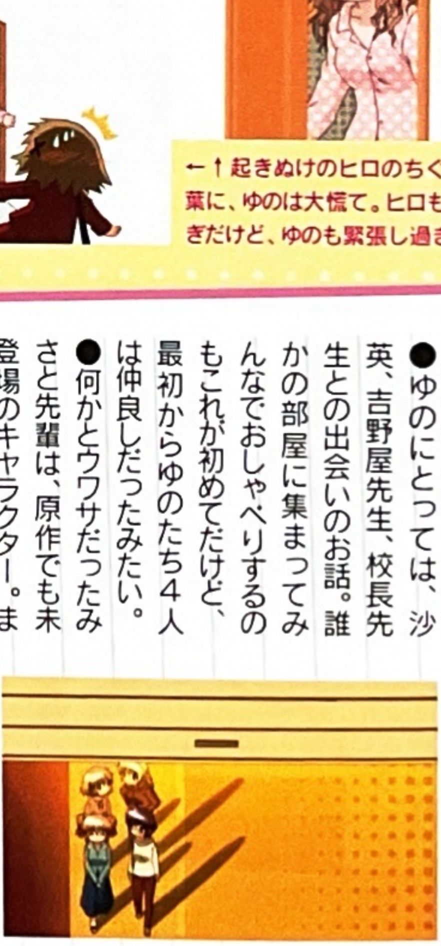


↑→入学式にて、ありがたい校長先生の祝辞。その席で宮子は、率直すぎる感想を口にしてしまう。

→ゆのに予言した宮子の方が寝ちゃってる。その頭が、ゆののしびれた足に倒れ込んできて……。

アルバムメモ

●ゆのにとっては、沙英、吉野屋先生、校長先生との出会いのお話。誰かの部屋に集まってみんなでおしゃべりするのもこれが初めてだけど、最初から仲良しだったみたい。ゆのたち4人は仲良しだったみたい。



→ベリマートの営業時間の話題でシャッターが上がって下がって。お店を身近に感じられる？

うめ先生の視聴日記

ここに来て初々しい４人。時系列シャッフルは声優さんたちにご苦労をかけた気がします(^^;)朝寝ぼけてるヒロさん可愛かった～♪

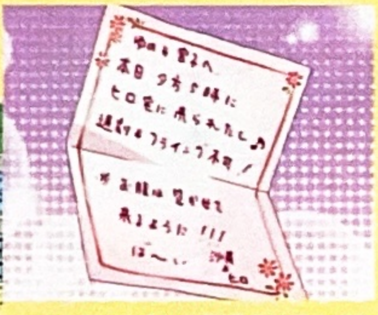
と、みさとセンパイさくっと初登場。智花、みさとセンパイ、沙英の編集直居さんなど、アニメオリジナルのキャラクターも名前のあるコたちは設定キャラデザ全部やらせていただいた気がします。ありがたやー☆

↓席決めはいい加減だわヌードモデルを募集しだすわ、吉野屋先生は初日からマイペース全開だったんだね……。

Event
大家さんのバイト②
Back ２期１話（119p）へ
Next ２期３話（126p）へ

↑今日のバイトは無農薬野菜の販売。ばったり会ったみさと先輩は、大家さんが苦手なのか一目散に逃げ出しちゃった。

→↓学校の荷物を引き取りに、ウワサのみさと先輩がやってきた。後輩をからかって楽しむこの人こそが、あのトラップの仕掛け人だ。



←↑ヒロと沙英から歓迎会に招かれたゆのたちは、４人で買い物へ。これからお世話になるベリマートをチェック！

↑眠ってしまったゆのを家まで運んだ宮子が、ゆのの体重をズバリ当てます！　原作では「？５」キロと予想していた。

みんなの服装（4月7日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑ゆのたち４人が揃って私服で出かけた初めての日。２期１話と同様に、宮子は髪を結んでいない。

ヒロ（パジャマ）

↑春にふさわしいピンク色。サンダルをはいて外まで出てきたけど、寝ぼけていてゆのたちの見送りはできなかった。

スタッフコメント

◆美術監督／飯島寿治… 一部わかりにくかった部分の説明をさせていただきます。みさと先輩が沙英のところに立ち寄る場面、本棚越しに３人をとらえているカットです。原図指示では本立てが一般的な薄いもので描かれていたため、設定に合わせて沙英愛用の地球儀型本立てを置くと、キャラが隠れてしまいました。キャラが見えるまで本と本立てをずらすと構図がだいぶ変わってしまうので、窮余の策として本立てを輪郭のみにしてみました。物体は透明ですが影はあるという不思議な世界になっています。若干キャラは見にくくなりましたが、土壇場で構図と設定を両立させるために「ピンチ」を「遊び」に転じた一コマでした。

Event 名前さえないお菓子①
Next ２期８話（147p）へ
「自由すぎるお菓子」という宣伝文句の、なんとも気になるＣＭが流れる。ゆのたちは、ぜひ買おうと思うけど……。

↓沙英が入学した当日、困っていた夏目を助けたといういい話が。それなのに、今の夏目はどうして沙英につっかかるんだろう？

↑ヒロの部屋で、ささやかながらも楽しい歓迎会が始まった。これからよろしく！

↑ゆのたちの担任が吉野屋先生と聞いて、ヒロと沙英の顔色が変わる。２人は吉野屋先生にどんな思い出が!?

Event 203号室の謎②
Back ２期１話（120p）へ
Next ２期３話（126p）へ

←↑大家さんを怖い人呼ばわりしてまで、203号室に入らないよう強調するヒロだけど、自分はなぜか203号室からコソコソ出てきたり……。

Event 宮子の部屋の乾燥剤①
Next １期３話（28p）へ

→フローリングがめくれて乾燥剤がチラリと見える。この時期は、大家さん以外にその存在を知らなかった。

←緊張の一日だったけど、先輩たちと仲よくなれて、幸先いいスタート。明日からの学校生活にも期待したくなっちゃう。

次回予告

やまぶき高校で待ってます。きっと見に来て下さいね！

アイキャッチミュージアムⅦ号館

EYE CATCH MUSEUM 365 #06-08

いつもと違った格好で

↑・パティシエ風ヒロさんに、ハードボイルド（？）なゆの＆宮子。沙英の衣装は、某メイトさんアニメ風。

日常の一コマ？

↑沙英はベリマートでお買い物。ヒロは朝は弱いみたい。下のゆののポーズは原作より。

先生たちのコスプレの秋

↑シュークリームのおいしさに、家庭科の先生も天使に変身？ 有名テレビ雑誌風の吉野屋先生は、まあいつもと変わらず。

大家さん想像図

↑「大家さんは怖い人」と言うヒロ。そんなに203号室の秘密を知られたくない？

絶対に負けられない戦いがそこにはある

↑赤組vs白組の因縁の対決！ 今年は赤組が勝ったけど、夏目も来年またがんばれ！

吉野屋先生カレンダー

↑吉野屋先生を担任にもつと、こういうカレンダーがつくれるほど、いろいろな格好に付きあわされます。

第8話

10月13日 お山の大将

STORY

天候も回復して体育祭が無事開催された。赤組になった4人は、白に勝つために大はりきり。そして最後の競技のリレーで、ゆのがアンカーに……。

脚本：与口奈津江　絵コンテ・作画監督：本田敬一　演出：飯村正之

えと……　戦いますっ！

→選手宣誓の言葉は、宮子には長過ぎた？　惜しかった昨日より、良かったのか悪かったのか微妙なところ。

↑昨日（1期7話）とはうってかわっての晴天。赤組の鉢巻を締めて、ゆのも気合が入る！

↑楽しく一生懸命に、競技に挑むゆのたち赤組。吉野屋先生の応援も効いている……わけないか。

→ランニング＆半ズボンという格好は、一日あけても生徒たちはなじめなかったみたい。

←メラメラと対決の炎を燃やす沙英と夏目。ここ何年も赤組は白組に負け続きらしいけど、今年の結果は？

アルバムメモ

●体育祭前日を描いた1期7話の翌日。ゆのたちには一晩だけど、視聴者には1年半あいた体育祭となった。

●見所のひとつは放送席の藤堂先輩。「きららキャラット」で連載を追っているファンにはうれしいサプライズ。

●お風呂に入るうめ先生の「見ちゃダメ」は、もちろんうめ先生のキャラソンより。イベント「超ひだまつり」は、このセリフで大盛り上がりだった。

●次回予告の「ナツヤスメナーイ」は、ゆのと言うより素の阿澄佳奈さんが読んでいる感じが面白い。

→原作でも本編には未登場の藤堂先輩。まさかのアニメ出演だった。

→キャラクターの名前の文字が喋る演出。字は口ほどにものを言う？

→サブタイトル画面の跳び箱に書かれているのは、「桃太○侍」の決め台詞だ。

うめ先生の視聴日記

ヒロさんのドンけっつが見れたので思い残すことはありません（笑）。赤組勝利の儀の歌が金太郎の歌だということが通じていなくて、アフレコ現場に行ってみたらあの歌詞に別の曲がついていて、声優のみなさんと慌てて金太郎の歌の練習をする、というハプニングがあったりしました（笑）。曲を作ってくださった方には申し訳なかったー…（汗）

↑意外に似合っている応援団姿。そして何より身体能力を活かせる競技は、ヒロの独壇場？

→↑白にリードされたまま午前は終了。午後に備えて、ヒロさん謹製の真っ白なお弁当で元気を補充。

←↑勝負の行方はリレーの結果次第。その大事な実況をする放送席が、吉野屋先生にジャックされちゃった。

Event 大家さんのバイト⑥

Back 2期9話Aパート（149p）へ
Next 2期4話Bパート（131p）へ

大家さんは、でかい買い物をしたために借金があるらしい。アルバイトはそのためだと言うけど……？

Event ゆのと大家さんのすれ違い⑦

Back 1期7話（41p）へ

↑昨日会ったけど、あいさつはできずじまい。ここでようやく、ちゃんと大家さんにあいさつができたゆのでした。

みんなの服装（10月13日）

吉野屋先生（チアガール＆体操着）

↓どっちの格好も本人のテンションは高かったけど、周りの人たちはついていけなかった。

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑体育祭後、沙英やヒロの部屋でのおしゃべりしたときのもの。秋らしい落ち着いた感じの色とデザイン。

スタッフコメント！

◆演出／飯村正之… 今回、体育祭の話ですが、1期で担当した7話がその前日の話で、つながっています。『ラブリーショコラ』がスペシャルになって帰ってきました。チョコ山くんは○○先生か？

ギーッタギッタケチョンチョン♪

↑吉野屋先生が昨日持っていた腹掛けは、勝利の儀に使うものだと判明。1期からの視聴者はこの謎の答えを、1年半待ったのでした。

ゆのっちよく逃げきった！

←↑みんながつくったリードを守り、ゆのがそのままゴール！赤組勝利の瞬間！

↑片付けもせずに、この人は体操着なんか着て何をやってるんでしょ？

↓かくして体育祭は無事に終了。あとは甘いものでも食べながらのんびりタイム。

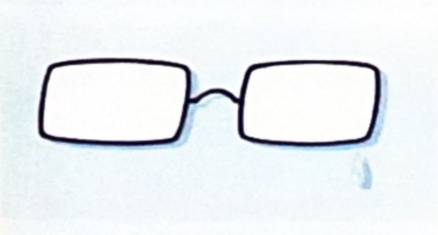
やはり普通科は相手にならんなー

↑白組には勝ったけど、総合では下位でした……というオチ。でも父兄席の色や、右に続きがありそうな得点板、走る生徒たちの色など、ヒントはたくさんあったけどね。

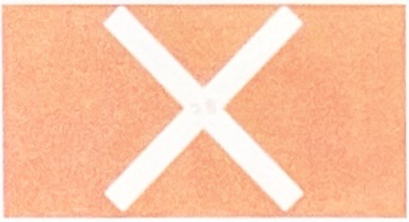
ひだまり豆知識

キャラクターのイメージ画像

記号や文字がところどころで挟み込まれるのは、アニメ『ひだまり』の特徴のひとつ。特に多く使われるのはキャラを象徴するような記号で、ここに挙げたような画像を入れ込むことで、映像に独特のテンポを生んでいる。宮子だけは定番の記号は本編中にないけど、『365』のエンディングでは猫の足跡が使われている。



↑沙英はもちろんメガネ。この画像では困って汗をかいている。



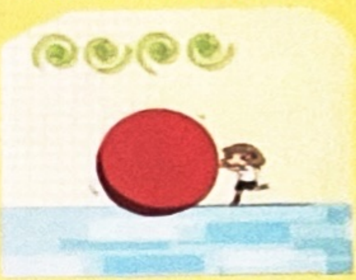
↑ゆのを表す記号は髪留めの×。筆で書かれたような線になったり、模様がついたりも。

↑これもゆの……と思いきや、沙英にお仕置きされた宮子の絆創膏でした。

↑くせっ毛のヒロは髪の毛で表現されることが多い。でもこれはちょっとうねり過ぎ？

↑沙英に負けた夏目は、涙目で駆け去っていった。そんな夏目のことが、沙英にやっぱりよくわからない。

↓体育祭を思い出すゆのたち。ゆのは大玉転がしで失敗しちゃった。



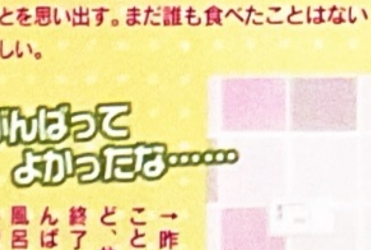
←騎馬戦では校長先生vs吉野屋先生の戦いも！　もちろんいつものように返り討ちにあう吉野屋先生でした。

→お弁当の材料の余りで晩ご飯。食卓のとんかつらしきものは、増えたり大きくなったり、果てはまんが肉になったり。

次回予告

やまぶき高校で待ってます。きっと見に来て下さいね！

Event
名前さえないお菓子②
Back 2期7話（142p）へ
Next 2期9話Bパート（151p）へ



↑春にCMを見て気になっていたお菓子のことを思い出す。まだ誰も食べたことはないらしい。

↑DVD-BOX発売を記念してか『ラブリーショコラ』2時間スペシャルが放映。でも時の流れを感じてしまうゆのたちだった……。

→昨日はどうなることかと思ったけど、体育祭は無事終了。一生懸命がんばったから、お風呂の心地よさもいつも以上のはず。

第9話 A

8月5日 ナツヤスメナーイ

脚本：与口奈津江　絵コンテ・演出：藤本ジ朗　作画監督：古川英樹

STORY

夏休み中だが、吉野屋先生は校長先生に仕事を命じられる。しかし、どうしても今日はダメだと吉野屋先生は逃げ出してしまった。そのわけは……。

↓溜まっている仕事を今すぐやるように校長先生に言われたけど、逃げ出す吉野屋先生。その理由が暑中見舞いを作るためだなんて……。

Event 吉野屋先生のアサガオ観察②
Back 2期6話Aパート（136p）へ
Next 1期特別編1話（62p）へ

↑夏休みの吉野屋先生といえば、もはやおなじみのアサガオの観察。今日はいつになく不満そう。

↑夜中までゲームをしていてそのまま寝落ち？　しかし「ふっか○のじゅもん」とは懐かしいゲームで遊んでいたようで。

→↓保健室も撮影スタジオに。桑原先生は呆れ顔だけど、吉野屋先生には何がいけないのか理解できない。「公私混同」って知ってる？

↑→暑中見舞い写真用の背景が完成！　さてロッカーを開けて着替え……と思ったら校長先生が！　ちなみにロッカーの中にはどこかで見た衣装がいっぱい。

↑「びっかりんこ！」と思い立った吉野屋先生がコスチュームチェンジ。書類仕事よりも、こうやって生徒を応援する方が大事……？

アルバムメモ

●Aパートは吉野屋先生の主役回らしく、コスプレオンパレード。ゆのたちがほぼ登場しないことや、貫禄ありまくりのナレーション（数々のテレビ番組でもおなじみの立木文彦氏が担当）も含めて番外編的な回。

●Bパートでは、1期9話で話に出ていた岸麻衣子作「裏新宿の狼」の内容が明らかに！

→グラビアアイドルちっくな吉野屋先生。背景の海は自分で描いた書割だけど。

→自分の年齢を考えない吉野屋先生。でも違和感がないのがこの人のすごいところ。

→水と戯れる吉野屋先生。ここまでセッティングをする努力は立派と言えなくもない。

うめ先生の視聴日記

Aパートは吉野屋先生の回。よっしーかわゆい。最後の花火のシーンが和みます。校長先生いい人…♥　Bパートでは料理紹介をするちっこいヒロさんがすんごいかわいかった！　一家に一匹ほしい！　そしてゴハンを作ってほしい……。

沙英に見つかりでもしたら大変だわ！

↑在校・卒業問わず全生徒に送られるという暑中見舞い。吉野屋先生が岸さんの宛名を書いていたときに夏目がたまたまやってきて、ハガキ配達の手伝いをさせられる。

Event

大家さんのバイト⑤

Back　2期12話（160p）へ

Next　2期8話（145p）へ

大家さんの禁煙④

Back　2期6話Aパート（136p）へ

Next　2期4話Bパート（131p）へ

↑大家さん、今日は中華料理店の出前のバイト。そしてみんなが食べている前で一服。あとで禁煙中だと気付いたようだけど遅かった。

→ひだまり荘に戻ってきたゆのが、さっそく暑中見舞いを受け取る。もちろん、他の人には違う写真が届いているわけですが……。

↑吉野屋先生の仕事が終わったら花火をやりましょうという校長先生。怒るだけじゃない、校長先生の優しい一面。

生徒たちを大切にし、美術への情熱をいつまでもなくさない人です

←↑子供のようにはしゃぐ吉野屋先生を見て、桑原先生も校長先生も今ばかりは笑顔。

みんな喜んでくれたらいいんですね♪

↑→生徒たちに暑中見舞いを配ったのも、喜んでほしいから。やっぱり生徒思いな吉野屋先生でした。

みんなの服装（8月5日）

吉野屋先生（私服＆レースクイーン）

↑私服は、意外に落ち着いたワンピースの夏服。でもレースクイーンはかなり露出度高め？（特に胸の谷間が）

STORY

岸さんの自主映画を見て、すっかり感動して感化させられたゆの。さらにゆのは、沙英が小説の読者からファンレターをもらっているのを見て……。

12月3日 裏新宿の狼 PARTII

脚本：与口奈津江　絵コンテ・演出：藤本ジ朗　作画監督：古川英樹

→とても自主映画とは思えない完成度。ゆのたちは画面にすっかり魅入られて、ヒロの目からは涙も。

↓４人で岸さんが制作した映画の自主上映会を見に出発！　今からみんな楽しみにしています。

↑朝９時と平日より遅めながら、張り切って起きたゆの。いつもなら眠たそうにしているけど、今日は違う。

→映画を見終わったあと、余韻に浸りながらひだまり荘に戻ってきたゆのたち。みんなで映画について語り合う。

→「犯人が歌いながら追ってきたり、主人公がピンチになると踊り出す」。宮子監督のそんな映画はけっこう見てみたいかも。

↑→ゆのは岸さんに会いにいって、直接感動の言葉を伝えていた。さらに岸さんの両親までやってきて、熱く握手！

みんなの服装（12月3日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑真冬にお出かけということで、みんなコートやマフラーで厚着してます。ゆの、ヒロ、沙英が持っているバッグにも、それぞれの個性が表れている。

スタッフコメント！

◆絵コンテ・演出／藤本ジ朗… Aパートの吉野屋先生の「ちっとも、これっぽちも～」の言い方がステキでしたね。演出家はこういうお芝居に出会うと、本当うれしいものです。うめ先生の「ワンタンメ～ン」もよかった！ ちなみに吉野屋先生の保健室でのコスプレネタは、大昔の薬師丸ひろこが出ていたオーディオ機器CMからの引用でした。Bパートの岸さんの自主映画、脚本上ではセリフしかなかったので、『カルメン故郷○帰る』と『喜びの○暇』を足して『WT○』で割ったような話を勢いででっちあげました。コンテ描いてたときは「直されるよな～」と思ったんですが、そのまま戻ってきてびっくり!!

↓→映画がきっかけで「何かを作りたい」と感化されたゆのたち。宮子のパラパラ漫画は魚、ご飯、肉と次々と変わっていく超力作！

→夢に向かって着実に進んでいく岸さん。それに対して、ゆのは目標が定まらないままで悩んでいる。

Event 名前さえないお菓子③

Back 2期8話（147p）へ Next 2期5話（135p）へ

4月からCMをやっているのに、まだ「カミングスーン」のまま。いつ発売するの？

Event 橘文のファン？②

Back 2期6話Bパート（138p）へ
Next 2期13話（169p）へ

←沙英のもとに「橘文先生へ」というファンレターが！ いったい、どんな人がくれたのかな？

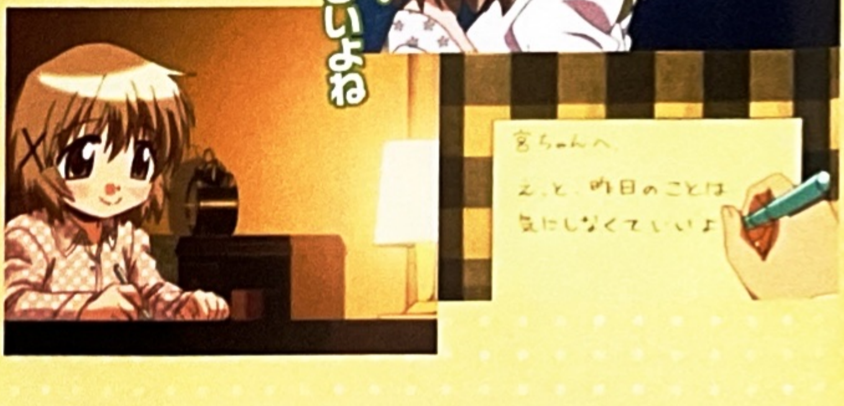
次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

→仕事に打ち込む沙英をいつも見守ってきたヒロにとって、ファンレターは自分のことのようにうれしいんだね。

→絵でも映画でも小説でも、自分が作ったもので人を感動させられたら素敵なこと。自分たちもいつかそんな作品を作りたいと願う2人だった。

→ヒロのラブレター騒動以来、文通を続けているゆのと宮子。その中でゆのは、絵に対する思いをつづる。



STORY

ゆののもとに、母親から電話がかかってきた。電話では何も言っていなかったのに、その日にゆのの両親がひだまり荘へ突然訪問してきた！

第10話 6月8日 まーるニンジン

脚本：大嶋実句　絵コンテ：森義博　演出：板村智幸　作画監督：田中穣

→思い出のスケート靴は、課題には使えなかった。そこで男子の靴を借りたら……。まあ臭い物を嗅いでみたいという気持ちはわからなくもない？

↑吉野屋先生の靴は14,700円。「これより高価な靴は没収」って理不尽すぎる……。

↑朝起きたばかりのゆのに、お母さんから電話が。……あ、後ろの写真がうめ先生に変わってる。

↑ゴミ捨て場にいた沙英をからかおうとした夏目だけど、そこには校長先生が。沙英との関係を「友達」と言われて、夏目はデレっとうれしそうだったけど、やっぱり最後はツンツンしてしまう。

↑ゆのの靴のサイズは、小学生時代のクラスメイトよりも小さい21.5cm。それだけに、少し見栄を張りたいようです。

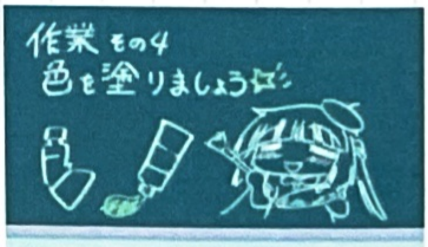
→ゆのの両親に対して、ゆののことを褒める大家さん。実は一度も会ったことないのに、また適当なことを……。

Event
ゆのと大家さんのすれ違い②
Back 2期3話（126p）へ
Next 1期特別編1話（63p）へ

←帰宅したゆのと宮子は、ヒロに粘土の靴を披露。ヒロが一瞬本物と見間違ってしまうほどの出来映え。

アルバムメモ

●横浜でデートをした帰りに、ゆのの両親が突然の来訪。その仲良し夫婦ぶりも、ちょっとした親バカぶりも、いかにもゆのの両親という感じで、ほのぼのする。ちなみにゆのが両親からもらったプリントシールは、11月27日（1期特別編2話）でゆのの筆箱に貼られているぞ。



→粘土で靴を作る授業中、黒板に描かれている吉野屋先生のへちょ絵がなんとも可愛い。

うめ先生の視聴日記

ゴミ捨て場での夏目の顔の緩みっぷりが酷かったですね！（笑）　靴作りは私自身が予備校でやった課題です。面白かった♪　後半はゆの父とゆの母襲来。このネタを原作で描いたときには、私の両親から「ついに私たちが出たわ！　わーいわーい」的な旨のメールが来ました（笑）。父さん母さん、アニメにもなったよ!!　……意識的にモデルにはしてないのだけれども（笑）。肩たたき券は普よく作りました。なんでもします券などという恐ろしいものも作った気がします。もう持っていませんように！（笑）

←↑ゆのの両親から、肉まんをお裾分けされる宮子。「親にも食べさせてあげたい」という言葉で、宮子の第一印象はばっちり？

↑ゆのが親から届いたメールに返事をしながら自分の部屋に戻ろうとすると、そこには当の本人たちが！

→デビル宮子が沙英の布団にイタズラ。布団の中には、沙英役の新谷良子さんが某ラジオでもらった「さの○け」のぬいぐるみも。

←やたらとかしこまったあいさつをする沙英たち。まるでお見合いの席みたい。

←↑父が沙英の短い髪の毛を発見。さらに、沙英を男だと勘違いして怒鳴りつける。ビックリした沙英からは猫耳が！

Event ゆのの青虫②

Back 1期4話（31p）へ　Next 1期3話（26p）へ

ゆのが青虫を飼っているのを両親が見つけて話題に。そもそもこの青虫は、両親が送ってきた野菜についてきたんだよね。

みんなの服装（6月8日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑もうすぐ夏なので、みんなスカートorパンツは短め。沙英の服は男物っぽいので、ゆのの父が男だと見間違えたのも無理はない？

ゆの（パジャマ）

↑ちょっとサイズが大きめらしく、裾があまり気味。でもかえって似合っている？

スタッフコメント

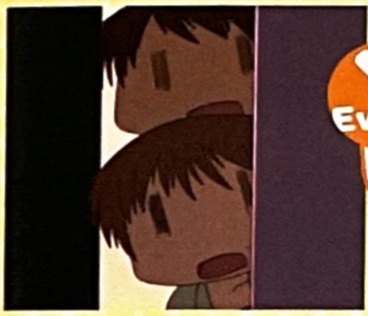
◆演出／板村智幸… 前回担当した２期５話が速いテンポでしたので、ひたすらゆるく、ゆるく、ゆるくするように心がけました。原作がある話数でしたので、原作を生かしつつ、自然な演技を目指しました。美術が原作の雰囲気を守って、柔らかな色彩で本当にすばらしいです。日常生活の芝居や感情の細やかな変化は、作画にとっては非常に大変でしたが、今回の話数でゆのと両親のうれしい気持ち、さびしい気持ちの入り混じった気持ちが少しでも視聴者の方に伝わるとうれしいです。

お父さん、どう？

←↑ゆのが幼稚園のときに作った肩たたき券を持ってきたお父さん。成長した娘に力を込めてたたいてもらい、感無量？

Event みさと先輩とトラップ②
Back ２期１話（121p）へ
Next １期３話（28p）へ

↑天井のヒモに父は気付いたみたいだけど、結局ゆのは気付かないまま。



Event 203号室の謎④
Back ２期３話（126p）へ
Next ２期11話（157p）へ

←たまたま開いていた203号室の中を覗き見るゆのの両親。何に驚いてるの!?

←名残惜しいけど、プリントシールを残してゆのの両親は帰宅。母が作ってくれたきんぴらは、ひだまり荘のみんなで美味しくいただきました。

次回予告

やまぶき高校で待ってます。きっと見に来て下さいね！

みんないい子たちで良かったわね

←↑ゆのがみんなと写った写真を渡された両親。娘がいい友人たちに恵まれていることに顔をほころばせる。

↓ひだまり荘にすっかりなじんだゆの。心配だった一人暮らしをこなしている娘に、両親も満足しているはず。

↑この発言のせいで、吉野屋先生はゆのの両親にとっての「いい人」カテゴリから外されちゃったみたい。

第11話

9月28日 パンツの怪

STORY

体育の授業の後、体育館に忘れ物を取りに行ったゆのは、体育館そばの地下通路で倒れているヒロを発見。いったいヒロに何が起こったのか？

脚本：与口奈津江　絵コンテ・演出：森義博　作画監督：中山初絵

→こっそりと、立ち入り禁止の屋上に向かう。スパイ気分だからサングラス？

↑きれいに晴れ上がった空を見上げるゆの。そこでひとつ思い立ったことが。

↑→ひとり青空の下でひなたぼっこ。まるでこの素敵な空を独り占めしているかのよう。

←つい寝過ごしてしまったゆのがあわてて校舎内に戻ると……モナリザを持った吉野屋先生と遭遇。自画像と思えるくらいに似てる。

←↑更衣室でスカートを外されてしまったゆの。……いつもこんな柄というわけじゃないらしい。

→ゆののクラスは体育館でバレーボールの授業。それに混じって校長先生も強烈なアタックを披露。

↑体育館のステージ裏で不審な物音を聞いたゆのが確かめに行ってみると、そこにはヒロが倒れていた！

アルバムメモ

●屋上でゆのが歌っていたのは「夢グライダー」という挿入歌。1期4話、2期5話と、ゆのは三度歌っているが、三度とも調子はずれ……。

●パンツがはけなかったり（&脱げたり）、203号室の中がバレたり。ダイエット関係で散々な目に遭うヒロさんを、温かく見守って楽しむ回、と言ってもいいかも。

→毎朝の定番と言える、はばたくハトやうめ先生のあいさつ。今回は真上からご覧下さい。

うめ先生の視聴日記

ゆのっちハトに襲われるの巻。こんなタイトルでアニメになると先に分かってたら、ハトに倒されるシーンでもパンツ見せておいたのに！　冗談ですが!!（笑）　しかし、ヒロさんのパンツをはかせたのは誰なんでしょうかねぇ。脱がせた宮子がそのまままたスポッとはかせた、が有力でしょうか。そして203号室の謎解明。宮子の「内緒にしとくの？」「あいっ」がやたらと可愛かった♥♥♥　それと、同じく宮子の形態模写。校長先生の物まねのときといい、宮子は才能がありすぎる……！

あそこってやまぶき七不思議の場所なんだよね…

→ヒロを保健室に運んだあと、沙英はやまぶき高校の「七（人の犠牲者を出した）不思議」を語る。うめ先生も犠牲者のうちのひとり……　いや一匹？

Event 宮子のハンモック②

Back 1期9話（49p）へ　Next 1期7話（40p）へ

→買ったばかりのハンモック。珍しげにゆのも乗ってみるけど、うまくいかない。

ジャンプしたら頭打っちゃって…

↑事件の真相は、パンツをはこうと伸び上がったら頭を打って倒れたというものでした。

→再び保健室では、桑原先生が困っていた。ヒロがなぜかパツパツのパンツをはいているので、脱がせて楽にしてあげたいみたい。

さすが、ヒロさんの全てを知る女！

↑ヒロの倒れた理由を推理した沙英。宮子は感心＆絶賛したようだけど……？

中のパンツもいっしょに脱げた

←沙英と宮子が協力して一気に引っ張ったら、中のパンツまでズルッといっちゃった……。

みんなの服装（9月28日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑もう10月も近いので秋物の服の色。だけど、この日はいいお天気のため暖かかったのか、みんな比較的涼しげな服を着ている。

スタッフコメント

◆脚本／与口奈津江… ついに、203号室の秘密が明らかになります。このことをナイショにしておきたかったヒロの気持ちも分からなくはないですが、ひとりだけ教えてもらえないゆのは、ちょっとかわいそうかも……。この日はまだ、ゆのは大家さんと会えないので、会えそうで会えない理由をどうしようか悩みました。結局すごく簡単なことで会えなかったのですが……。この日のゆのは、ドキドキしたり、怯えたり、怖がったり。最後はホッとさせてあげたかったので、お風呂は宮子と一緒に入れることにしました。

→空き部屋の203号室から物音？室内を確認すると、そこにはダイエット器具の数々が。2期最大の謎（？）がついに解明された。

Event 203号室の謎⑤

Back 2期10話（154p）へ
Next 2期5話（133p）へ

↑吉野屋先生も地下通路の鏡でヒロと同じ目に……。誰にも気づかれず、夜の学校に閉じ込められて、8つめの不思議が誕生したのでした。

Event ゆのと大家さんのすれ違い⑤

Back 1期2話（23p）へ
Next 1期7話（41p）へ

←ようやくゆのが大家さんと初対面……と思ったけど、203号室のことでヒロがゆのを目隠ししたため、惜しくもまたもや対面かなわず！

↑ヒロが203号室に住んでいたときダイエット器具のモニターをしていて、それが未だに放置されていたというわけ。

←すすり泣く女性の声……それがまさか吉野屋先生のものだとは思わず、ゆのは青ざめる。

↓→ひとりでいるのが怖くなっちゃったゆの。でも、宮子がいっしょにいてくれたので、ぐっすり寝ることができただろう。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

アイキャッチミュージアムⅧ号館

EYE CATCH MUSEUM　365#09-12&SP

うめ先生と夏

←↓お昼寝して、プールでたそがれて、ワンタンメンで泳いで……。うめ先生流の夏を満喫中。

お肌のお手入れ

↑心はまだ10代のつもりでも、油断は禁物。先生も気を使う年齢です。

宮子に男の影……!?

↑男物の靴（の粘土模型）があり、さらに宮子は寝起き。しかも奥には人影（ゆの）が……。

みなとみらい

←横浜の遊園地ということで、みなとみらいを満喫中のゆのの両親。中華街も近くです。

みんなで実習

↑粘土造形の実習をするクラスのみなさん。こうして見ると、意外に男子も多い。

でんでん虫虫

↑うめ先生が屋根でティータイム。梅雨の時期ということでカタツムリといっしょ。

中華服でポーズ

←ゆのと宮子のチャイナドレス姿も見たかった？　でも宮子、ヒゲが似合ってる……。

ぶつけちゃった

↑氷でしっかり冷やして、頭の大きなコブをダイエット中（違うって）。

宮子、気付いて！

↑屋上ではゆのが宇宙人に遭遇して大ピンチ！　宮ちゃん助けてー！……って、あ、夢だっけ。

知らないっ！

↑仲の良い２人が、ふとしたことでケンカに……。やっぱりお父さんとお母さんには仲良くしてほしい、とゆのも宮子も願っています。

にゃーん

↑誰がはいていた何の柄なのかは、聞かないであげてください。

屋上にて……

↑広くて青い空の下でハトと戯れて（？）、解放的な気分になったゆのでした。

宮子、野球選手になる

↑ヒロさんに打たれてベランダまで飛ばされることの多い宮子だけど、たまには打つ側になってみました。

↑沙英の買ったポラロイドは、みんなが普段と違う格好をしたり、怪獣ポラロイドンの撮影をする、よいきっかけになりました（？）。

家事も忘れずに

↑朝干した洗濯物を、日が暮れる前に回収。楽しい一日でも、家事もちゃんとします。

ポラロイドカメラで遊ぼう

STORY

沙英とヒロがケンカした。沙英が寝ている間に、ヒロが沙英の仕事の電話を取ってしまったことが原因だ。ゆのと宮子は、２人の仲直りを手助けする。

7月7日 見ちゃダメ

第12話

脚本：大嶋実句　絵コンテ：帆村壮二　演出：石倉賢一　作画監督：伊藤良明

→「ひだまり荘がバラバラになっちゃう」という宮子の言葉を聞いて、ゆのが想像。しかし、バラの花園は飛躍しすぎでしょう。

↑→宮子が、ヒロと沙英のケンカの理由を推測して一言。吉野屋先生、聞き間違いとはいえ自覚はあったんだ……。

→朝、ゆのが食べているのは……１期４話で登場した「チクリン」パンですか？

↑ひとりで登校しようとしていた沙英に、ヒロはどこかと声をかけるけど……。

←↑怒ってやけ食いに走るヒロ。早く仲直りさせないとヒロ（の体重）が大変なことに……！

Event 大家さんのバイト④

Back ２期３話（126p）へ
Next ２期９話Ａパート（149p）へ

←野菜販売のバイト中に笹をもらった大家さん。その笹はゆのたちのためにと、ひだまり荘の前に置かれた。

アルバムメモ

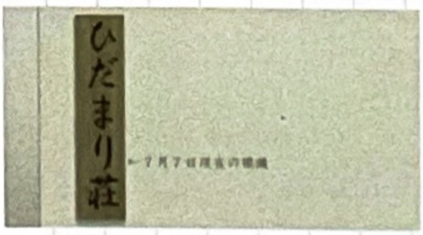
●ヒロと沙英の夫婦喧嘩と仲直り、そして七夕の願いごと。盛り上がりといい、締めくくりと言い、まるで最終回のような見応えの回。

●ヒロのヤケ食いを始め、動きの面でも見所が多い。ヒロと沙英がクッションごしに仲直りするシーンほか、アニメではなかなかやらない（難しい）カメラワークもすごい。

●この回は、第２期が全12話だった場合は、「ポラロイドン」と同じく特別編となる予定だった。「ポラロイドン」と同じく翌日の出来事まで描かれているのは、その名残かも。

↑いつもは数字が並んでいる沙英の部屋の絵が、今回はわずかの間、別のものに。

↑夏目の願いは「沙英に勝つ！　あと友達になりたい」、うめ先生は「旅に出たいな」。



↑一瞬だけ新しい表札が映るけど、実際にはまだ旧表札。だまされちゃいけません。

うめ先生の視聴日記

沙英ヒロのケンカと七夕、という取り合わせが素晴らしいハマリっぷりで！　ヒロがヤケ食いしながら話すシーンの長ゼリフがすごかった～！　あんなに長いセリフで、食べながらで、さらに動きに合ってる！　めちゃプロ!!!　ちっこい沙英とヒロが、ゆのの想像の中でプンスカしてるとこもかわいかったなぁ～♥　ヒロが泣いたシーンは、やっぱり私も泣きました（笑）。日が暮れてからもすごく綺麗でしたね！　光や空気がとてもとても素敵だった♥♥♥　星の字が引いていってホントに星になる演出にやられました。

とりあえず謝っちゃえばいいんですよ♪

→ケンカを知った吉野屋先生からアドバイス。でも、「とりあえずでいいわけがない」と校長先生はお怒りの様子。

これ、食べて

↑夏目になぐさめられた沙英は、余ったサンドイッチを渡す。夏目、うれしそう……。

よかったらお使いください

→ケンカの事情を沙英に確認するゆのと宮子。沙英は謝りたいと思いつつ「どんな顔をして謝れば……」と不安。

ゆのりん元気ですか？今のわた…

←↑「私たち、まだケンカしたことないよね」というゆのに対し、宮子は試しにゆのの恥ずかしい文集を暴露。……成功したようです。

↑宮子作「申し訳」お面でズバッと解決!? いや、こんな顔で来られたら余計こじれそう。

みんなの服装（7月7日）

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英＆吉野屋先生（私服）

↑服はもちろんサンダルも涼しげ。ただ、吉野屋先生は薄いストッキングをはいているようだ。

ゆの（パジャマ）

↑夏らしく裾が短いパジャマ。胸元のリボンがポイント。

スタッフコメント

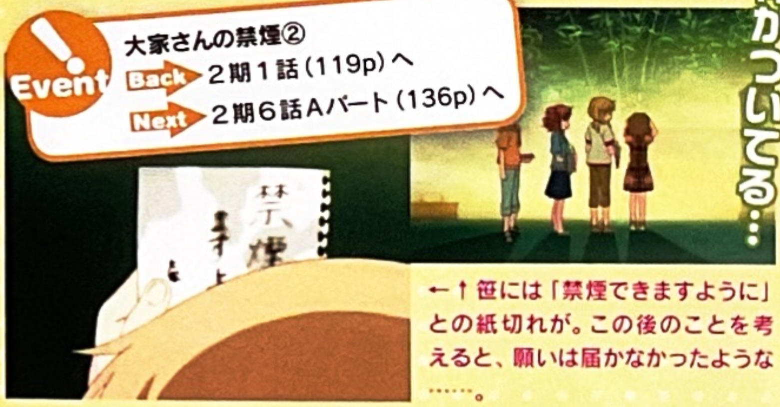
◆**絵コンテ／帆村壮二…** 沙英とヒロのケンカという、原作でも人気の高いエピソードでしたので、シナリオの雰囲気を壊さないように気を遣いました。今度はゆのと宮子がケンカをしたら声をかけてください。

↑←お互い謝ることができて、めでたく仲直り成功！ 直接抱きしめるのは恥ずかしいからクッション越しで。

↑→沙英を説得し、みんなでヒロの部屋へ。はたして、2人は仲直りできるのかな……？

↑一件落着したあとは、みんなで七夕の飾りや短冊を作る。よく見ると変な飾り（？）も混じってるけど。

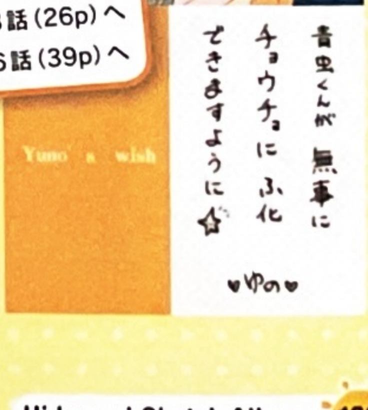
Event 大家さんの禁煙②
Back 2期1話（119p）へ
Next 2期6話Aパート（136p）へ



←↑笹には「禁煙できますように」との紙切れが。この後のことを考えると、願いは届かなかったような……。

↑吉野屋先生と校長先生もやってきて、よりにぎやかに。2人にも願いごとを書いてもらった。

Event ゆのの青虫④
Back 1期3話（26p）へ
Next 1期6話（39p）へ



↑→字を間違えたのが原因……ではないだろうけど、ゆのの青虫は羽化してもチョウチョになりませんでした。

屋根の上の365日

みんな同じこと書いたんですね

↓→短冊に書いたことは４人ともいっしょ。言葉がなくても心は通じ合っている証拠だ。これからも仲良く過ごしましょう！

本音をぶつけ合えるって素敵だな〜

→ヒロと沙英のような、自分の本心をさらけ出せる関係にあこがれるゆの。宮子ともいつかそうなれるといいね。

↑→今日はちゃんといっしょのヒロと沙英。さらに沙英は、昨日のお詫びにとお弁当を作ったという。

←「お弁当が原因でまたケンカになっちゃう」とからかう宮子。こうして、ひだまり荘にいつもの朝が戻ってきたのだった。

次回予告

ひだまり荘で待ってます。きっと見に来て下さいね！

STORY

沙英が中古のポラロイドカメラを買ってきた。せっかくだからということで、ヒロの寝顔やみんなの服＆髪型を変えた姿を撮ったりして遊ぶことに。

特別編

2月24日 ポラロイドン

脚本：与口奈津江　絵コンテ・演出：森義博　作画監督：中山初絵

←↑沙英がカメラで２人を激写！突然のフラッシュに、ゆのはビックリしてこんな顔に……。

↑朝食を済ませたゆののもとに宮子が。宮子の食欲は相変わらず底無し？

私のミニライブ、たっぷり聴いていって下さいね♪

↑→吉野屋オンステージ in カラオケ。観客が桑原先生ひとりでもお構いなしだ。

↑→沙英のイタズラ心により、ヒロはいちばん撮られたくない寝顔を押さえられちゃった。

→そして撮ってもらった写真を見比べて「違うでしょ？」とヒロ。それは本人にしかよくわからない違いです。

アルバムメモ

●1期と同じく、2期でも制作された特別編。「TBSアニメフェスタ2008」で上映されて、DVD7巻にも収録される予定だ。

●ファンディスクで、ゆのが夏目について「美味しいお菓子を教えてくれた」と言っているが、それは今回のみたらしスナックのこと。

●校長先生がカラオケで歌ったのは、「ひだまりラジオ」の主題歌としておなじみの「おんなのこパズル」の校長バージョンで、その名も「おとこのこパズル」。校長（中の人：チョーさん）渾身のカオス過ぎる歌。

↑いつもと違う雰囲気の４人を見ることができるのも、特別編ならではで楽しい。

↑写真の中のみんなが喋ったり動いたり。わいわい面白がっている様子が伝わる。

↑『ひだまり』には珍しい大仰なイメージシーン。ま、特別編ということで。

うめ先生の視聴日記

ボラロイドンが暴れるシーンが本格的でしたね～♪　２期12話の短冊同様、写真に書かれている文字はそれぞれのキャストさんが書いてくださってます。字がキャラのイメージに合っているのが凄い。奇跡？　２期４話（宮子ニャンコの回）とかもそうですが、この回も「365」で一話一日制限をとっぱらったゆえにアニメ化できた話ですね。ラストのあの何とも言えない空気感がとても好きです（笑）。

まさかカラオケ大会だったとは…

↑→校長先生はマイクを離さない。ノリノリな歌いっぷりに吉野屋先生は涙目だけど、桑原先生が一番可哀想なのでは。

→宮子に「お肉」と書かれたヒロ。あまりに黒歴史だったので、紙袋を……って怖っ！

←撮った写真にひと工夫してもっと楽しく。思い出に残るものがたくさんできたね。

→髪を下ろしているヒロを見て、ほかの3人もイメチェン。ゆのはヒロの封印していた服を借りて、ちょっとはじけた感じに。

Event ヒロのダイエットゼリー⑧
Back ２期13話（170p）へ

→宅配便の人が来たことで一気に現実に戻った4人。ちなみに荷物は新しいダイエットゼリーだけど、ヒロ、またやるの？

みんなの服装（2月24日）

ゆの＆沙英（私服）

↑濃いメイクで、いつもと雰囲気が違う２人。ゆのの髪型は、髪質がガンコで変えられなかった。

スタッフコメント

◆原画／阿部厳一朗… カラオケシーンを2カット担当しました。今回も校長先生を描くことができたのでよかったです。吉野屋先生はフリフリの服を描くのが大変でした。

→ベリマートへ買い出しへ出たゆのと宮子が戻ってきた。ご飯の前に、ちょっとだけおやつを。

→ベリマートでは、大家さんが一日だけバイトをしていた。そこにやってきた夏目は、親切にもオススメのお菓子を教えてくれた。

Event 大家さんのバイト⑨

Back 2期2話（124p）へ
Next 2期5話（133p）へ

↓→「フィルムが一枚160円くらい」と聞いた宮子は大ショック！　まるで晴天のひだまり荘に雷が落ちるかのよう。

Event 沙英の妹・智花⑨

Back 1期5話（35p）へ
Next 1期8話（44p）へ

→春休みに智花をひだまり荘に招こうと電話をすると……即答！

→3人にささやかな復讐を実行するヒロ。意外と根に持つタイプだね……。

みんなの服装（2月24日）

吉野屋先生（私服＆ドレス）

↑フリルのついた私服はいいけどドレスはやりすぎ。その姿を目にしたカラオケ店員のお兄さんが驚くのも無理はない。

宮子＆ヒロ（私服）

↑三つ編みにヒゲ＆タスキというミスマッチな宮子。また、ヒロの着たはんてんには「shaft（シャフト）」と書かれている。

アイキャッチミュージアムⅨ号館

EYE CATCH MUSEUM 365#13

おめでとうございます

←↓校長先生、大家さん、夏目も、新年のあいさつ。今年も一年、良い年でありますように。

お正月からこの人は…

↑水着になったり、おみくじを口の中で結ぼうとしたり、いったい何をしているのやら。

お参りの作法

←年の功というべきか、吉野屋先生は作法をちゃんと知っていた。お稲荷様、合ってますよね？

みんなとの思い出

↑→最後はみんなでお別れしましょう。いつか第３期があることを祈りつつ、さようなら。

第13話

1月10日 おかえり…うめ先生

脚本：長谷川菜穂子　絵コンテ・演出：飯村正之　作画監督：潮月一也

STORY

ゆのたちは、お正月の里帰りからひだまり荘に帰ってきた。みんなは吉野屋先生の家に年始参りに行き、さらに先生といっしょに初詣に行く。

↑12月26日に帰省したゆのがひだまり荘に戻ってきた。ここはすっかり第二の我が家。

Event Back　宮子のハンモック⑤　1期12話（58p）へ

↑「夢グライダー」を歌いつつ、ゆのの帰りを待つ宮子。布団を干してるってことは、もうハンモックは使わない？

↑ベッドで寝ているのは、くまのぬいぐるみ。そう言えば、ゆのはまだ帰省中だっけ。

↑←初詣に行く途中で、吉野屋先生に新年のごあいさつを……と思ったけど、「親戚の子供から逃げ回っていた」とか「姫始め」とかこの人は……。

↑←ヒロと沙英はもう帰ってきていた。宮子は、今日一回目と二回目の「おめでとう！」。

みんなの服装（1月10日）

吉野屋先生（私服＆着物）

↑初詣に行くときには、私服から着物へ一瞬で早着替えした。あれ、着物の柄が、1期1話の写真よりゴージャスになってる？

アルバムメモ

●最終話だけど、いつも通りの『ひだまりスケッチ』。いつも通りのゆるゆるほのぼのが、いつも通りに楽しくもあり、いつもと違って寂しくもあり……。ぜひこのまま続けて1期1話を観てみて下さい。

●ゆの宛に「清美ちゃん」から年賀状が来ているけど、これは2期1話でゆのの隣で受験をしていた子のこと。

↑初詣には、シャフト制作のアニメ『ef』をペイントした車があったり。

うめ先生の視聴日記

最終回、ということで、テレビの前でいつもより少し緊張して見始めたのですが、ひだまり荘のみんながものすごくいつも通りで、いつも通り始まって、いつも通り終わって。一期の時以上に終わる感じがしなかったです。ポカンとしました（笑）。と言いつつ、OPのラストカットで早々にやられたりもしたんですけどね！（笑）　写真がゆっくり流れていくシーンもしみじみしましたー…。あ、あと絵馬！　嬉しかった…(*^^*)　キャストさん制作さん関係者のみなさま、見ててくださったみなさま、それからちょこっと自分にも、…お疲れさまでした、ありがとうございました!!!

←5円と間違って50円をお賽銭箱に入れてしまって、宮子はがっくり。でもその分、きっとご利益も大きいはず。

↑柄杓を渡されながら「はい、横綱」。宮子とヒロによる、新年初のドッキ漫才でした。

↓吉野屋先生と初詣へ。絵馬にはたくさんの願いごとが書かれてるけど、生徒一同の願いは、ぜひかなってほしい……。

Event 宮子のクジ運と景品④

Back 1期12話（61p）へ
Next 1期1話（20p）へ

Event 橘文のファン？③

Back 2期9話Bパート（151p）へ

→沙英にとってファンレターは本当にうれしいものだったみたい。それを聞いた送り主らしき人は、隠れながらドキドキ。

↑「練り物限定」と言っておきながら、宮子はおみくじにも強かった！　くじの通り「超吉」な一年になるか？

ゆの＆宮子＆ヒロ＆沙英（私服）

↑冬真っ只中なので、外に出るときにコートやジャケットは必須。でも宮子は、そのままでも平気そうだった。……ところで最後に豆知識。2期の設定画は、パラパラ漫画にすると動いて見えるようにポーズがつけられているものが多い。1話から見直してみよう。

スタッフコメント

◆作画監督／潮月一也… 5話を引っ張ってしまい、13話の作画監督スタート時にほぼ全カットが机の上にありました。絶望しました。作監打ちして一ヵ月後に作業に入れました。周りが12話をみんなでやっていて孤独でした。

◆脚本／長谷川菜穂子… 1期1話でヒロが宮子に「宮ちゃん、それ10回目よ」というようなことを言います。第2期でその穴埋めをしているのですが、どう補完したかはきっとシリーズ通してご覧になった皆さん、もうお気づきのことと思います。この作品に参加できたことを大変嬉しく思っています。ありがとうございました。

→さっき行ってきた初詣の話題も。ゆのは「絵が上手くなりたい」、そしてヒロさんの願いは想像通り……。

→沙英は受験生の智花を励まして、宮子は美味しいものをたくさん食べて。それぞれのお正月を楽しんだみたい。

ヒロさん家が一番落ち着くにゃ～

↑食べ物が美味しいヒロさんの部屋は、第二の我が家の中でも別格。実家もいいけど、ここも最高～♪

Event ヒロのダイエットゼリー⑦

Back 1期12話（61p）へ
Next 2期特別編（165p）へ

↑いろいろおしゃべりをする脇では、画面の隅に置かれた箱がいろいろと変化していく。中には、おなじみのダイエットゼリーも。

↑初詣の帰り、ゆのが牛乳を買ったダダマート前では大家さんにも会った。いつになく上機嫌で、みかんをどさっとくれた。

↓→初詣では、夏目とばったり会ったっけ。例によってわたわたしてたけど、とにかく今年もよろしく！

ひだまり豆知識 ひだまり荘前の道路標示

全話を観たみなさんならご存知の通り、ちょこちょこと色々なところに加えられた変化を探すのも、『ひだまりスケッチ』の楽しいところ。今回はひだまり荘の中だけではなく外に目を向けてみよう。ひだまり荘の前の道路標示も、回数は少ないけど変化することがある。ひだまり荘の前以外のものも含めて、変わった道路標示を紹介。

↑1期1話や3話では、車の速度が「30」と表示されていた。

↑基本的には横断歩道。学校の目の前だし、横断歩道は必要だよね。

↑2期13話より。某Gメン風に初詣に向かう途中での表示。

↑七夕のお話だった2期12話では、道路も合わせてみました。

屋根の上の365日

→帰っていくみんなを引き止めて、ゆのには言いたいことがあった。それは……。

↓→ゆのの部屋でお雑煮を食べながら。思い出の写真もずいぶん増えたけど、明日からの新学期ではもっと増えるといいな。

↑→ヒロと沙英とはまだ交わしてなかった言葉、宮子には改めてもう一度の言葉、これからもよろしくの意味を込めての「ただいま」と「お帰りなさい」。

↑この翌日の1期1話へつなげるように、ゆのたちの終わらない日常を表すように、最後はみんなで「スケッチスイッチ」でした♪

ひだまりスケッチ×365 エンディングテーマ

「流星レコード」

透き通るような曲調と優しい歌詞のエンディング。ちなみにそれぞれを表している記号は、ゆのは髪留め、宮子は肉球、沙英は眼鏡、ヒロはくらげ（＝お団子）だ。

Interview

作詞　micco（marble）

最初に「自由にmarbleのカラーで作ってください」という、うれしいお言葉をいただきました。届きそうで届かない人。色褪せない恋。その人を想うだけで、心がドキドキするって、すごく素敵だと思います。そんな想いを抱きながら、できた詩です。「芽生えドライブ」の最後の4人のアップの前に、真っ暗な空に流星が流れて輝くシーンがあります。これがレコード盤に見えたのも、ヒントになりました。たくさんの煌めく想いを「流星」に見立てて、「レコード」の盤をぐるぐる廻り続ける人生の流れとして、「流星レコード」が生まれました。

↓→さまざまな形のオブジェが並ぶ中、一人たたずむゆのたち。みんな、本編ではあまり見せないような表情。

←↑駆けてきて振り向くゆのたち。足元や空に浮かんだ波紋と同じように、その笑顔が周囲に広がっていくようだ。

Interview

作曲・編曲　菊池達也（marble）

もう自分の中で『ひだまり』のイメージが根付いていたこともあり、変に意識せず自然に取り組めました。サビは走ってる感じだなぁ……と思っていたら、絵でも実際に4人が走っていたことに驚き＆感動しました。実はギターのレコーディング直前に手を痛めてしまって、仮で入れておいたギタートラックを使おうということになったのですが、やはり「俺はやる！」と思い立ち自宅で必死に弾き直しました。どうしても弾けない1小節だけはデモのテイクですが……誰もわからないと思います……。今なら弾けます（笑）。

提供バックイラスト集

第1話

illustration
ヤス

第2話

illustration
長月みそか

第3話

illustration
未影

第4話

illustration
すか

第5話

illustration
異識

第6話

illustration
藤真拓哉
協力：田中研太郎　青木陽彦

第7話

illustration
湖湘七巳

第8話

illustration
爆天童

提供バックイラスト集

第9話

illustration
秋★枝

第10話

illustration
遠藤海成

第11話

illustration
小林尽

第12話

illustration
久米田康治

第13話

illustration 蒼樹うめ

DVD第7巻(最終巻)では、特別編「ポラロイドン」用に伊藤良明さんによるイラストが描かれる予定です。お楽しみに!

STAFF

編集・構成	木澤行人(株式会社セブンデイズウォー) 中本宗応(株式会社セブンデイズウォー) 柳悠一
編集・執筆	入山修司(株式会社セブンデイズウォー) 桝谷直俊 川畑剛 早川清一朗
撮影	辺見真也
装丁・デザイン	OverDriveDesign
協力	有限会社シャフト 株式会社アニプレックス 株式会社東京放送 株式会社81プロデュース 株式会社アーツビジョン 株式会社ぷろだくしょんバオバブ 有限会社ピーボ 株式会社アイムエンタープライズ 東京俳優生活協同組合 株式会社マウスプロモーション 株式会社シグマ・セブン 株式会社角川書店 株式会社一迅社 株式会社アスキー・メディアワークス

©蒼樹うめ・芳文社/ひだまり荘管理組合

MANGA TIME KR COMICS

KIRARA MENU 240

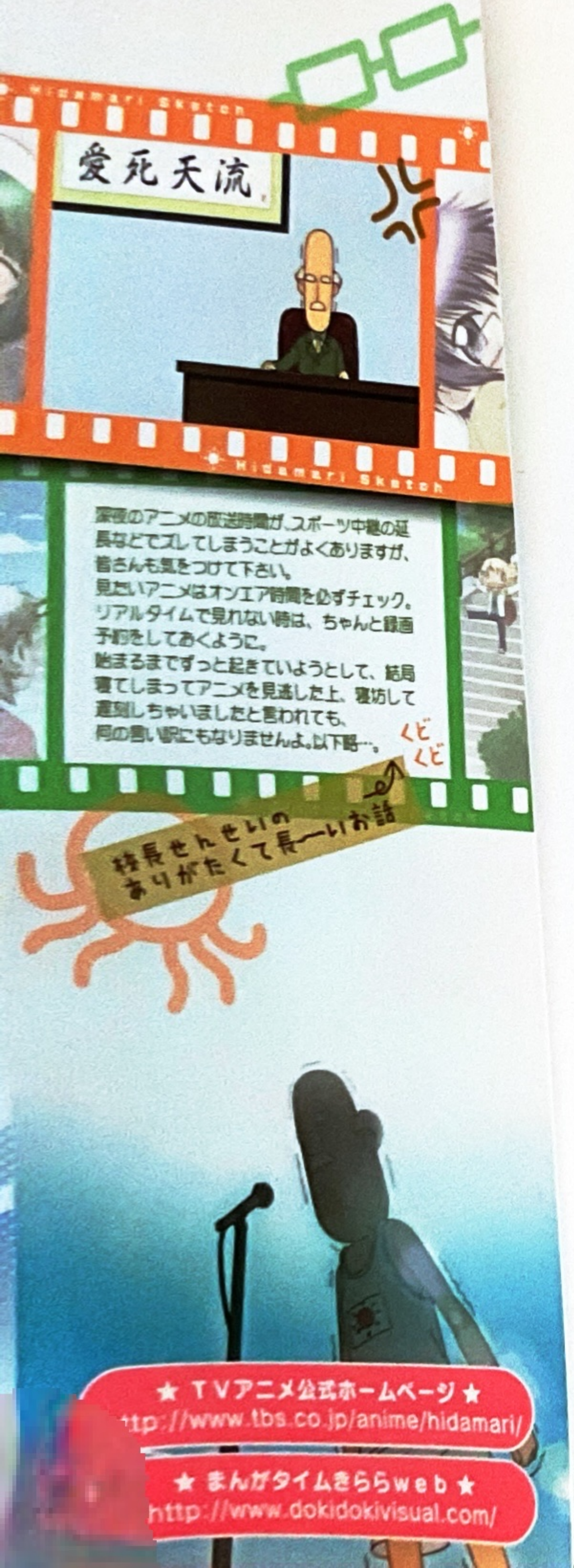
ひだまりスケッチアルバム
―TVアニメ公式ガイドブック―

原作:蒼樹うめ　編:まんがタイムきらら
2008年11月29日　第1刷発行
Printed in Japan 2008

発行者　伊東朋視
発行所　株式会社芳文社
〒112-8580　東京都文京区後楽1-2-12
電話　代表 03-3815-1521
振替　00110-8-174056
印刷所・製本所　大日本印刷株式会社

※造本には十分注意しておりますが、万一、落丁、乱丁などの不良品がありましたら、「業務部」宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。

ISBN978-4-8322-7740-3


Hidamari Sketch
愛死天流
Hidamari Sketch
深夜のアニメの放送時間が、スポーツ中継の延長などでズレてしまうことがよくありますが、皆さんも気をつけて下さい。
見たいアニメはオンエア時間を必ずチェック。リアルタイムで見れない時は、ちゃんと録画予約をしておくように。
始まるまでずっと起きていようとして、結局寝てしまってアニメを見逃した上、寝坊して遅刻しちゃいましたと言われても、何の言い訳にもなりませんよ。以下略…。
くどくど
校長せんせいのありがたくて長～いお話
★ TVアニメ公式ホームページ ★
http://www.tbs.co.jp/anime/hidamari/
★ まんがタイムきららweb ★
http://www.dokidokivisual.com/

& コーチョーをさがせ!
Where is the principal?
やまぶき高校校長先生写真集

ISBN978-4-8322-7740-3

C9979 ¥1429E

雑誌　52202-42

定価：本体1429円 +税

Hidamari Sketch album

9784832277403
ISBN978-4-8322-7740-3
C9979 ¥1429E
19299979014292
雑誌　52202-42
定価：本体1429円 +税

Hidamari Sketch album